

平成27年度
授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全体集計 －

第I部

平成28年3月

拓殖大学 FD委員会

はじめに

現代社会の大学教育に対する厳しい評価に対応し、斬新で充実した教育実現への要望に応えるために、我が国の多くの大学で学生アンケートを実施し、その授業改善への活用がなされております。

本学では、他大学に先駆けて全学的な「授業改善のための学生アンケート」を実施してきました。アンケート結果にもとづく学生の意見や授業効果を分析し、これらを各種の教育改善につなげ、学生の学修意欲の向上、効果的学修の推進、国際化・情報化などに対応した教育方法の工夫・改善等に積極的に取り組んでまいりました。

また、平成19年度からは、各学部の「FD委員会」に加えて、全学的な「FD委員会」を設置し、アンケート結果に基づいた授業改善の方策を検討しております。

本報告書は、昨年度同様に、平成27年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」について、「全体集計」（第Ⅰ部）と、「科目別集計」（第Ⅱ部）の2分冊としました。第Ⅱ部には「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見、ならびにこれに対する担当教員の所見を掲載しています。さらに、「分野別集計」を加え、学部・学科目別にきめ細かな評価分析を試みております。

本報告書を活用し、教員各位が今回のデータを過去のデータと比較検討し、他の教員や他学部の状況をも参考にしながら、今後の改善に役立てて下さるようお願いいたします。

大学・学部の教育目標の達成を目指して、学生の効果的学修のため、教育方法を工夫・改善されるよう願っています。

平成28年3月

拓殖大学 学長
川 名 明 夫

目 次

はじめに

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の課題	4

II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数（延べ人数）	8
5. 学科目別実施科目数	8

III 全体集計

1. 学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差	10
2. 教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差	
(1) 専任教員所属別	11
(2) 講師(非常勤)所属別	12
3. 履修登録者数別比較表	13
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
(1) 学科目別平均値	
①商学部専門科目	14
②政経学部専門科目	15
③外国語学部専門科目	16
④工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	17
⑤国際学部専門科目	19
⑥教養教育科目	20
⑦外国語科目	21
⑧スポーツ・トレーニング科目	22
⑨教職・社教・日語科目	23
⑩ゼミ・外書講読科目	24
⑪全体（講義等科目）	25
(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義等科目）	
①学年別	26
②学科別	27
(3) 満足度平均値	
①学科目別	29

②所属別	-----	3 0
③身分別	-----	3 1
④年齢別	-----	3 2
5. 学科目別 回答の分析	-----	3 3
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	-----	3 7

IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目 (コース別)	-----	3 9
2. 政経学部専門科目 (分野別)	-----	4 0
3. 外国語学部専門科目 (学科別)	-----	4 1
4. 工学部専門科目		
(1) 実験・実習科目 (学科別)	-----	4 2
(2) 学科・学科目別 (講義等科目)	-----	4 3
5. 国際学部科目		
(1) 英語群	-----	4 4
(2) 地域言語群	-----	4 5
(3) 基礎科目群	-----	4 6
(4) 専門共通科目	-----	4 7
(5) 専門コース科目	-----	4 8
6. 教養教育等科目		
(1) 講義等科目 (群別)	-----	4 9
(2) 外国語科目 (1 2カ国語)	-----	5 0
(3) スポーツ・トレーニング科目	-----	5 1
(4) 教職課程・社会教育主事講座科目、日本語教員養成基礎講座科目	-----	5 2

V 評価及び課題

1. 商学部	-----	5 4
2. 政経学部	-----	6 2
3. 外国語学部	-----	6 9
4. 工学部	-----	7 5
5. 国際学部	-----	8 1
6. 教養教育	-----	8 8
7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	-----	1 0 7

参考資料

実施要領	-----	1 1 3
アンケート様式	-----	1 1 8
科目別集計様式	-----	1 2 2

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針

拓殖大学における教育内容と方法の改善を目的とした組織的な取り組みは、1992年（平成4年）の拓殖大学自己点検評価委員会の設置から始まり、各学部で自己点検評価委員会を設置、P D C Aを実施するなかで教育改革に取り組んできました。具体的には、1994年（平成6年）から始まった「学生による授業評価（現・授業改善のための学生アンケート）」の実施、全学的なFDワークショップの開催、教育・研究等業績報告書の作成、新任教員研修会の開催、教員相互の授業参観の実施などです。このうち「授業改善のための学生アンケート」は、これら一連の教育改革の柱となるものであり、次のような特色を持っています。

- (1) 大学（5学部）全体の取り組みとして実施していること。
- (2) 全教員が参加していること[平成27年度は講師（非常勤）を含め99.8%の実施率]。
- (3) 授業科目ごとの集計表には、統計処理したデータだけでなく学生からの要望・担当教員の所見及び改善に向けた取り組み方針を記載し、改善に向けて取り組んでいること。
- (4) 結果を公開し全教員が参照できるようにしていること。

平成27年度の「授業改善のための学生アンケート」は、文京再開発事業が完了し同年4月より商・政経学部の文京一貫教育が行われるようになったため、隔年実施を変更し2年続けて後期に実施した。

2. 実施状況

平成27年度「授業改善のための学生アンケート」は、専任教員では対象となる教員233名全員が実施し、講師（非常勤）については対象者385名のうち1名を除く384名が実施した。全体の実施率は、99.8%であった。

実施科目数は専任教員で497科目（前年度509科目）、講師（非常勤）で710科目（前年度709科目）、合計1,207科目（前年度1,218科目）と前年度と比べやや減少したが、学生からの述べ回答数は37,586人と、前年度を1,739人上回った。

3. 集計結果の概要

全教員の「満足度」の平均は3.99で、昨年度と比べ0.01ポイントアップしたが、同じく後期に実施した平成24年度（4.02）と比較すると0.03ポイント減少している。ただし、この数値は学部別、学問分野別では大きく異なってくる。たとえば専任教員の学部別では、外国語学部が最も高く4.24、続いて国際学部が4.19、政経学部4.08、商学部4.04、最も低いのが工学部で3.71となってい

る。

分野別では、ゼミ・外書講読（4.56）が最も高く、次いで教職関係科目（4.23）、以下外国語学部専門科目（4.12）、各学部の外国語科目（4.08）、国際学部専門科目（4.06）、商学部専門科目（4.06）、政経学部専門科目（4.00）、教養・総合教育科目（3.78）、工学部専門科目〔講義科目〕（3.73）と続いている。

こうした評価の差は、学問分野別に加え、授業規模や授業方法の違いによっても異なってくる。たとえば、講義科目の履修登録者数別比較表をみると、履修者数が100人以下では満足度4.02に対して、301人以上では3.97と0.05ポイントではあるが、後者の方が低くなっている。

学生の学年別「満足度」をみると、高学年になればなるほど高く、また教員の身分別では特別非常勤講師が最も高く、以下准教授、教授、助教、講師（非常勤）の順となっている。教員の年齢別では、最も高いのが40歳代で、逆に最も低いのが60歳代である。60の大台を超えると、加齢とともに知識や経験は豊富である一方、「満足度」が低くなっていく傾向がみられる。熟練教員には、この点も念頭において今後授業改善に取り組んでいくことが求められる。

「満足度」以外の項目については、今後の課題も含め学部別あるいは学科目別に詳細に分析されているので、本報告書「V評価と課題」をご覧ください。

4. 今後の課題

（1）客観性が担保できる学生アンケート実施方法の継続。

平成26年度から始めた学生アンケート実施方法の変更がまだすべての教員に浸透していないため、これを引き続き継続して実施していくこと。

（2）「授業改善のための学生アンケート」結果が低い科目への対応。

拓殖大学の教育力の底上げを図るため、「授業改善のための学生アンケート」結果が2年連続2.9以下の科目については、前年度と同様学部長と各学部FD委員長が改善方に努める。

文京ルネサンス事業が完成し、これからは中身の教育力の改善が求められる。本学FD委員会に課せられた課題は多いが、「授業改善のための学生アンケート」を中心に積極的に取り組んでいく。

今後ともご協力のほどお願い申し上げます。

平成28年3月

拓殖大学FD委員会
委員長 芦田 誠

Ⅱ 実施状況

1. 実施期間

平成27年11月16日（月）～12月22日（火）

[予備日：平成28年1月6日（水）～12日（火）]

2. 実施教員数

1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（%）
商 学 部	47	47	0	100.0%
政 経 学 部	49	49	0	100.0%
外国語学部	40	40	0	100.0%
工 学 部	55	55	0	100.0%
国 際 学 部	34	34	0	100.0%
兼 担	8	8	0	100.0%
合 計	233	233	0	100.0%

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

2) 講師（非常勤）

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（%）
商 学 部	123	122	1	99.2%
政 経 学 部	113	113	0	100.0%
外国語学部	40	40	0	100.0%
工 学 部	49	49	0	100.0%
国 際 学 部	50	50	0	100.0%
兼 担	10	10	0	100.0%
合 計	385	384	1	99.7%

（注）講師（非常勤）：客員教授を含む

3) 全体

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（%）
専 任 教 員	233	233	0	100.0%
講 師（非常勤）	385	384	1	99.7%
合 計	618	617	1	99.8%

3. 実施科目数

所 属	専任教員	非常勤講師	合 計
商 学 部	98	213	311
政 経 学 部	112	171	283
外 国 語 学 部	75	75	150
工 学 部	100	60	160
国 際 学 部	101	171	272
兼 担	11	20	31
合 計	497	710	1,207

4. アンケート回答数（延べ人数）

回答者の所属	1 年	2 年	3 年	4 年	無回答	合 計
商 学 部	3,607	2,938	2,173	828	16	9,562
政 経 学 部	3,875	2,917	2,426	933	34	10,185
外 国 語 学 部	1,196	769	306	129	17	2,417
工 学 部	1,913	2,291	1,610	100	89	6,003
国 際 学 部	2,684	2,356	1,128	287	162	6,617
無 回 答	83	124	101	35	2,459	2,802
合 計	13,358	11,395	7,744	2,312	2,777	37,586

（注）「無回答」は、「所属学科」「学年」についての未記入を示す

5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部 専門科目	134	3			1		138
政経学部 専門科目	7	122	1		3	3	136
外国語学部 専門科目	3	3	94				100
工学部 講義				91			91
工学部 実験実習				29			29
国際学部 専門科目	1	1	1		66	5	74
教養科目・総合教育科目	26	26	8	8	18	7	93
外国語科目	116	103	36	26	180	15	476
スポーツ・トレーニング科目	7	5		2			14
教職・社教・日語科目	6	11	6	4	4		31
ゼミ・外書講読	11	9	4			1	25
合 計	311	283	150	160	272	31	1,207

（注）教養科目・総合教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

Ⅲ 全 体 集 計

1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部 専門科目	政経学 部専門 科目	外国語 学部 専門科 目	工学部 専門科 目（講 義）	国際学 部専門 科目	教養科 目・総 合教育 科目	外国語 科目	教職・ 社教・ 日語科 目	ゼミ・ 外書講 読	全体
		科目数： (138)	科目数： (136)	科目数： (100)	科目数： (91)	科目数： (74)	科目数： (93)	科目数： (476)	科目数： (31)	科目数： (25)	科目数： (1164)
I-1	平均値	4.53	4.41	4.58	4.66	4.43	4.46	4.54	4.55	4.51	4.51
	標準偏差	0.74	0.84	0.67	0.67	0.78	0.83	0.72	0.66	0.72	0.76
I-2	平均値	4.06	3.97	3.88	3.62	3.67	3.59	4.06	4.14	3.79	3.89
	標準偏差	1.12	1.13	1.17	1.26	1.25	1.29	1.06	1.04	1.23	1.18
I-3	平均値	1.73	1.69	1.97	1.79	1.71	1.58	2.00	1.59	2.43	1.78
	標準偏差	1.06	1.03	1.10	1.03	1.10	1.03	1.08	0.85	1.31	1.07
I-5	平均値	1.60	1.51	1.59	1.70	1.65	1.48	1.70	1.52	2.13	1.61
	標準偏差	1.08	1.03	1.07	1.08	1.15	1.02	1.16	0.97	1.28	1.09
II-1	平均値	4.10	4.01	4.13	3.83	4.01	3.74	4.10	4.22	4.40	4.00
	標準偏差	0.96	0.98	0.97	1.01	1.03	1.14	0.96	0.91	0.84	1.01
II-3	平均値	4.11	4.04	4.19	3.89	4.06	3.89	4.14	4.27	4.28	4.05
	標準偏差	0.88	0.91	0.89	0.93	0.95	1.01	0.90	0.84	0.86	0.92
II-5	平均値	4.20	4.13	4.26	4.01	4.14	3.88	4.23	4.34	4.64	4.13
	標準偏差	0.97	0.99	0.97	1.01	1.04	1.18	0.95	0.88	0.67	1.02
II-6	平均値	4.13	4.03	4.16	3.91	4.06	3.82	4.13	4.21	4.34	4.04
	標準偏差	0.97	0.99	0.97	1.01	1.05	1.15	0.94	0.91	0.89	1.01
II-7	平均値	4.13	4.04	4.17	3.83	4.10	3.78	4.15	4.34	4.41	4.04
	標準偏差	0.95	1.01	0.93	0.97	1.00	1.12	0.94	0.87	0.85	1.00
II-8	平均値	3.87	3.74	4.00	3.71	3.82	3.57	4.07	3.95	4.22	3.84
	標準偏差	1.04	1.04	1.02	0.97	1.11	1.13	0.95	0.98	0.97	1.04
II-9	平均値	3.81	3.73	3.99	3.51	3.88	3.59	3.92	4.05	4.35	3.78
	標準偏差	1.00	0.98	0.97	1.03	1.07	1.13	1.01	0.91	0.80	1.03
II-10	平均値	3.85	3.79	3.87	3.54	3.96	3.65	3.81	4.08	4.41	3.79
	標準偏差	1.00	0.99	1.03	1.04	1.07	1.13	1.04	0.96	0.87	1.04
III	平均値	4.06	4.00	4.12	3.73	4.06	3.78	4.08	4.23	4.56	3.99
	標準偏差	0.95	0.94	1.00	1.02	1.03	1.13	0.99	0.88	0.75	1.01

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.42	3.44	3.33	3.53	3.38	3.42	3.40	3.34	3.30	3.42
	標準偏差	0.71	0.74	0.71	0.77	0.70	0.81	0.75	0.62	0.61	0.74
II-4	平均値	3.24	3.25	3.22	3.28	3.19	3.24	3.23	3.11	3.13	3.24
	標準偏差	0.61	0.64	0.62	0.65	0.57	0.67	0.62	0.51	0.49	0.63

(注) I-4は、複数回答項目のため、「5. 回答の分布」を参照

2. 教員所属別（講義等科目）

（1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数： (98)	科目数： (111)	科目数： (75)	科目数： (74)	科目数： (101)	科目数： (11)	科目数： (470)	科目数： (694)	科目数： (1164)
I-1	平均値	4.56	4.44	4.63	4.66	4.49	4.47	4.53	4.49	4.51
	標準偏差	0.72	0.81	0.65	0.67	0.75	0.80	0.75	0.78	0.76
I-2	平均値	4.13	4.12	4.02	3.72	3.81	3.67	3.98	3.80	3.89
	標準偏差	1.07	1.03	1.08	1.22	1.21	1.17	1.13	1.22	1.18
I-3	平均値	1.75	1.74	2.03	1.80	1.90	1.66	1.80	1.77	1.78
	標準偏差	1.07	1.04	1.13	1.03	1.14	1.09	1.07	1.06	1.07
I-5	平均値	1.61	1.54	1.67	1.69	1.77	1.57	1.63	1.58	1.61
	標準偏差	1.09	1.04	1.13	1.09	1.22	1.09	1.11	1.08	1.09
II-1	平均値	4.08	4.07	4.22	3.83	4.17	4.11	4.06	3.94	4.00
	標準偏差	0.96	0.96	0.94	1.03	0.96	1.00	0.98	1.04	1.01
II-3	平均値	4.08	4.07	4.23	3.91	4.17	4.10	4.08	4.03	4.05
	標準偏差	0.88	0.90	0.87	0.93	0.92	0.91	0.91	0.94	0.92
II-5	平均値	4.15	4.17	4.33	3.99	4.25	4.33	4.16	4.11	4.13
	標準偏差	0.99	0.97	0.94	1.03	0.97	0.95	0.99	1.04	1.02
II-6	平均値	4.12	4.10	4.25	3.89	4.24	4.11	4.11	3.98	4.04
	標準偏差	0.96	0.95	0.92	1.02	0.93	0.99	0.97	1.05	1.01
II-7	平均値	4.09	4.07	4.29	3.82	4.25	4.07	4.08	4.01	4.04
	標準偏差	0.96	1.00	0.88	0.98	0.93	0.95	0.98	1.02	1.00
II-8	平均値	3.87	3.83	4.09	3.72	4.03	3.65	3.87	3.81	3.84
	標準偏差	1.04	1.02	1.00	0.98	1.05	1.13	1.03	1.05	1.04
II-9	平均値	3.80	3.80	4.09	3.50	4.05	3.93	3.81	3.75	3.78
	標準偏差	1.00	0.96	0.92	1.05	0.97	0.97	1.00	1.06	1.03
II-10	平均値	3.83	3.87	4.00	3.50	4.08	3.98	3.84	3.73	3.79
	標準偏差	1.00	0.96	1.00	1.05	0.99	1.04	1.01	1.07	1.04
III	平均値	4.04	4.08	4.24	3.71	4.19	4.15	4.04	3.94	3.99
	標準偏差	0.96	0.91	0.94	1.04	0.93	0.95	0.97	1.05	1.01

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.43	3.41	3.32	3.54	3.33	3.32	3.42	3.42	3.42
	標準偏差	0.70	0.73	0.70	0.78	0.68	0.72	0.72	0.76	0.74
II-4	平均値	3.24	3.23	3.21	3.30	3.16	3.17	3.23	3.24	3.24
	標準偏差	0.61	0.62	0.60	0.67	0.55	0.62	0.62	0.64	0.63

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

(2) 講師（非常勤）所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数: (206)	科目数: (167)	科目数: (75)	科目数: (55)	科目数: (171)	科目数: (20)	科目数: (694)	科目数: (470)	科目数: (1164)
I-1	平均値	4.52	4.45	4.43	4.58	4.49	4.48	4.49	4.53	4.51
	標準偏差	0.75	0.80	0.80	0.75	0.76	0.74	0.78	0.75	0.76
I-2	平均値	3.86	3.82	3.77	3.46	3.85	4.17	3.80	3.98	3.89
	標準偏差	1.20	1.19	1.24	1.30	1.20	1.06	1.22	1.13	1.18
I-3	平均値	1.79	1.67	1.79	1.66	1.91	2.20	1.77	1.80	1.78
	標準偏差	1.06	1.00	1.03	1.00	1.14	1.30	1.06	1.07	1.07
I-5	平均値	1.61	1.48	1.52	1.58	1.67	2.32	1.58	1.63	1.61
	標準偏差	1.09	0.98	1.01	1.03	1.18	1.48	1.08	1.11	1.09
II-1	平均値	4.08	3.87	3.87	3.69	4.02	4.19	3.94	4.06	4.00
	標準偏差	0.97	1.07	1.04	1.06	1.02	0.94	1.04	0.98	1.01
II-3	平均値	4.12	3.96	4.03	3.86	4.10	4.20	4.03	4.08	4.05
	標準偏差	0.89	0.97	0.94	0.93	0.94	0.85	0.94	0.91	0.92
II-5	平均値	4.25	4.01	4.07	3.89	4.18	4.35	4.11	4.16	4.13
	標準偏差	0.95	1.10	1.05	1.09	0.99	0.98	1.04	0.99	1.02
II-6	平均値	4.09	3.87	3.96	3.88	4.04	4.22	3.98	4.11	4.04
	標準偏差	0.99	1.09	1.02	1.04	1.05	0.97	1.05	0.97	1.01
II-7	平均値	4.15	3.98	3.80	3.82	4.04	4.25	4.01	4.08	4.04
	標準偏差	0.94	1.03	1.08	1.02	1.03	0.91	1.02	0.98	1.00
II-8	平均値	3.92	3.70	3.82	3.62	3.94	3.97	3.81	3.87	3.84
	標準偏差	1.02	1.09	1.00	1.00	1.05	1.02	1.05	1.03	1.04
II-9	平均値	3.87	3.63	3.65	3.48	3.92	4.13	3.75	3.81	3.78
	標準偏差	1.00	1.08	1.08	1.07	1.05	0.98	1.06	1.00	1.03
II-10	平均値	3.84	3.64	3.63	3.52	3.86	4.08	3.73	3.84	3.79
	標準偏差	1.02	1.10	1.07	1.07	1.07	1.04	1.07	1.01	1.04
III	平均値	4.08	3.85	3.88	3.67	4.04	4.19	3.94	4.04	3.99
	標準偏差	0.97	1.07	1.08	1.05	1.05	0.97	1.05	0.97	1.01

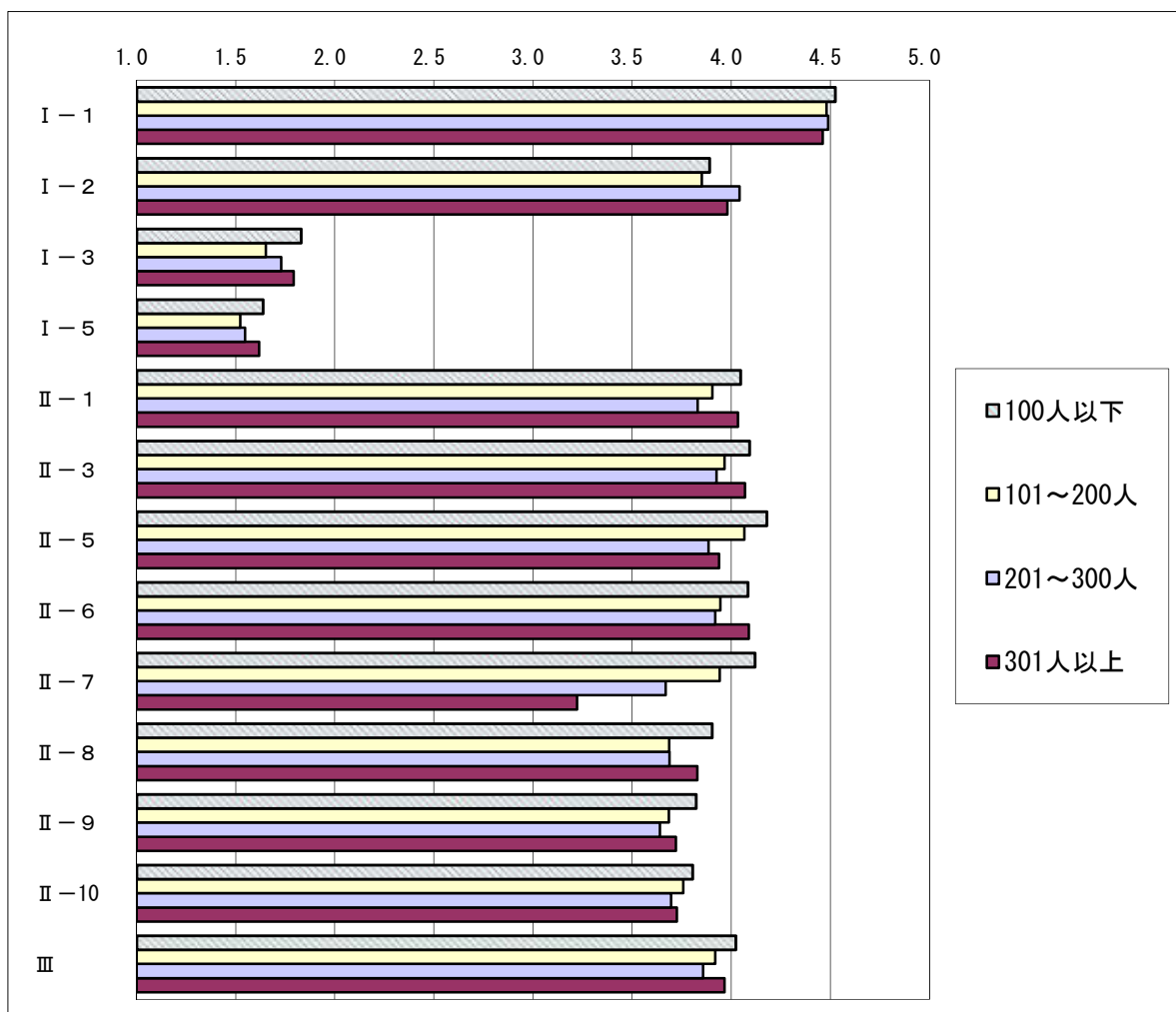
○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.39	3.45	3.50	3.49	3.37	3.36	3.42	3.42	3.42
	標準偏差	0.75	0.78	0.77	0.80	0.75	0.67	0.76	0.72	0.74
II-4	平均値	3.23	3.25	3.31	3.23	3.24	3.24	3.24	3.23	3.24
	標準偏差	0.61	0.65	0.69	0.66	0.65	0.59	0.64	0.62	0.63

(注) 講師（非常勤）：客員教授を含む

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) I-4受講動機(複数回答)、II-2難易度、II-4進度(3の回答が適切)は回答の基準が異なるため、掲載していない。

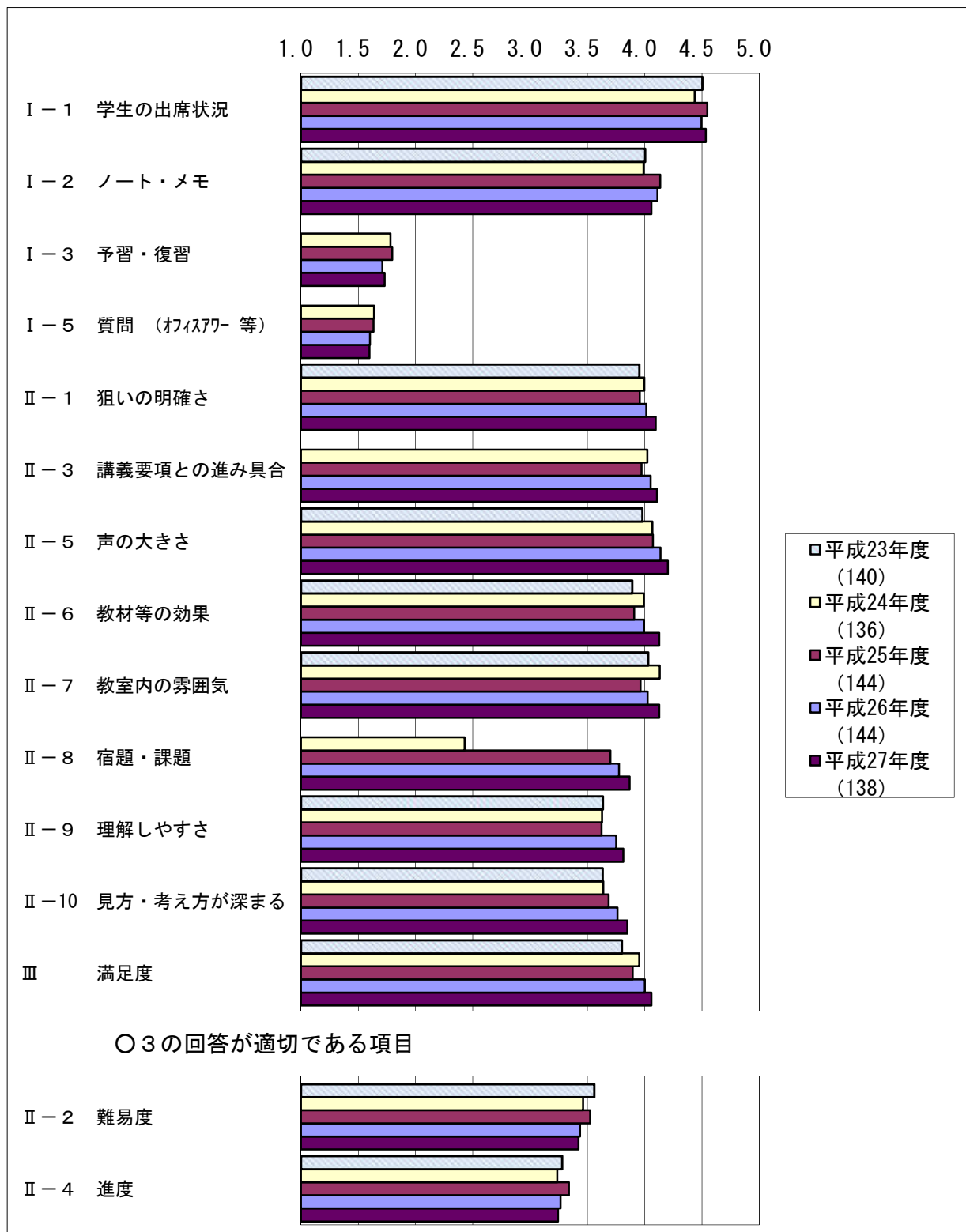
○ 平均値

区分		100人以下	101~200人	201~300人	301人以上
科目数		1,048	98	15	3
I-1	学生の出席状況	4.52	4.48	4.49	4.46
I-2	ノート・メモ	3.89	3.85	4.04	3.98
I-3	予習・復習	1.83	1.65	1.73	1.79
I-5	質問(オフィスアワー等)	1.64	1.52	1.55	1.62
II-1	狙いの明確さ	4.05	3.90	3.83	4.03
II-3	講義要項との進み具合	4.09	3.97	3.93	4.07
II-5	声の大きさ	4.18	4.07	3.88	3.94
II-6	教材等の効果	4.08	3.94	3.92	4.09
II-7	教室内の雰囲気	4.12	3.94	3.67	3.22
II-8	宿題・課題	3.90	3.69	3.69	3.83
II-9	理解しやすさ	3.82	3.69	3.64	3.72
II-10	見方・考え方が深まる	3.80	3.76	3.70	3.73
III	満足度	4.02	3.92	3.86	3.97

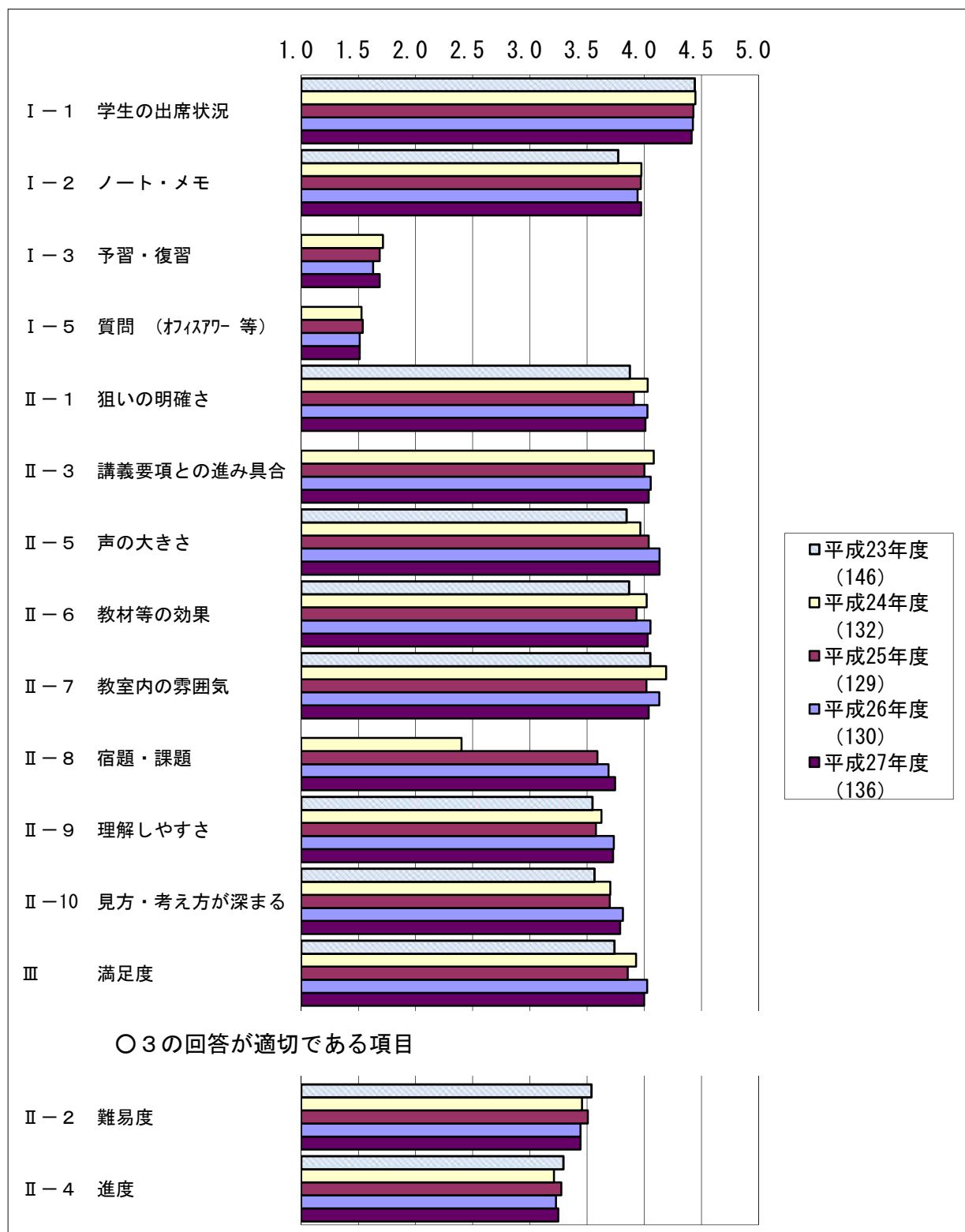
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

（1）学科目別平均値

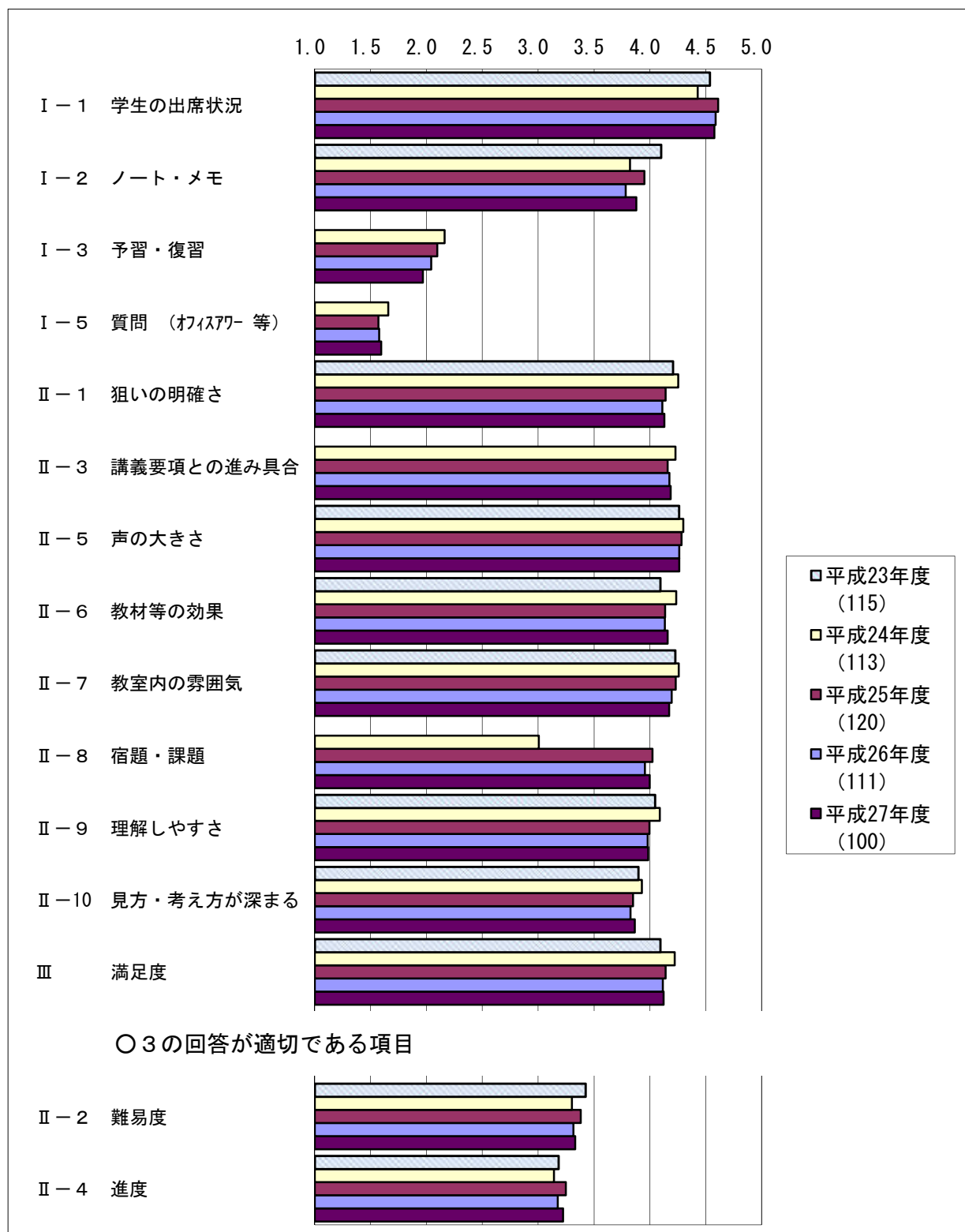
① 商学部専門科目



② 政経学部専門科目

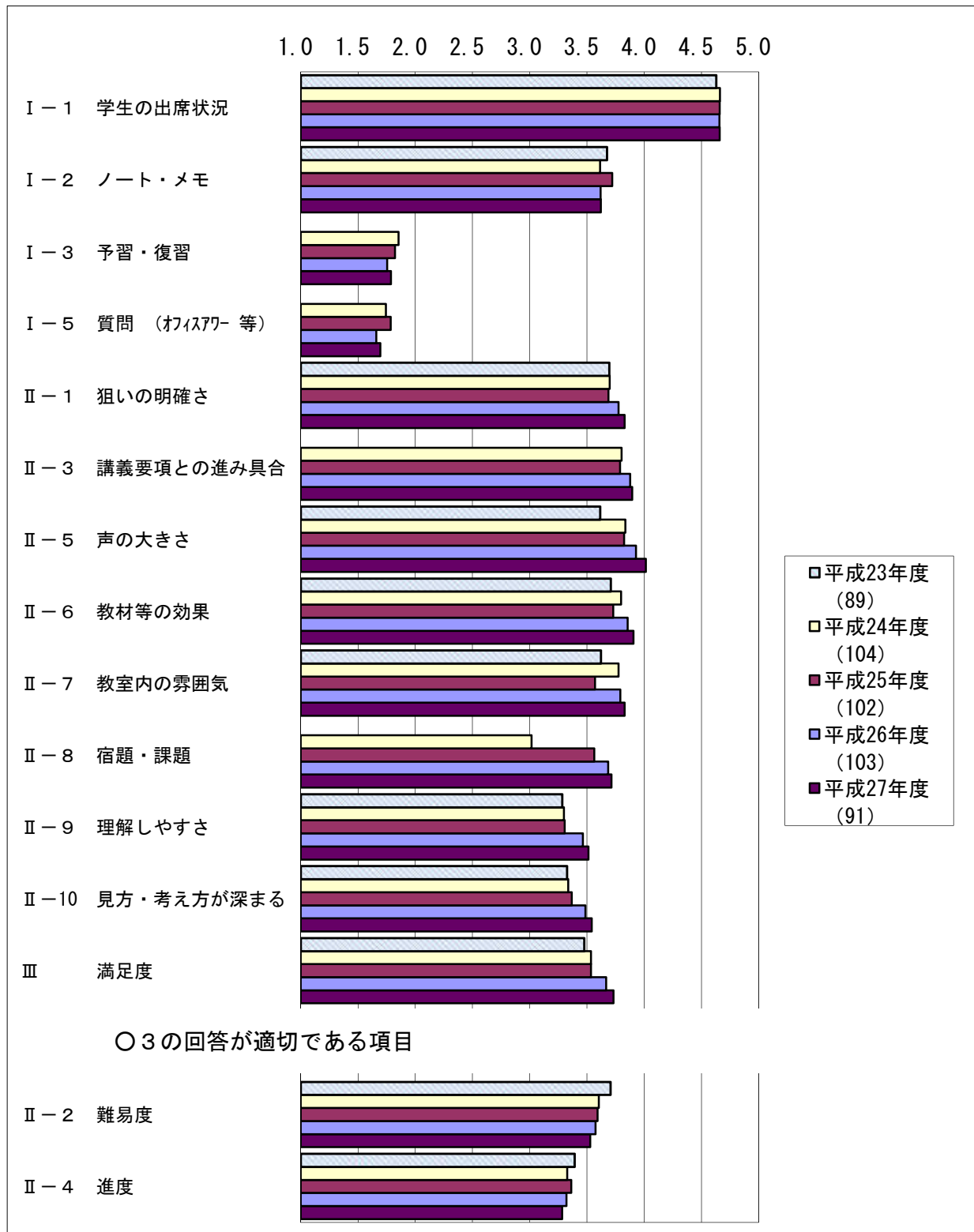


③ 外国語学部専門科目

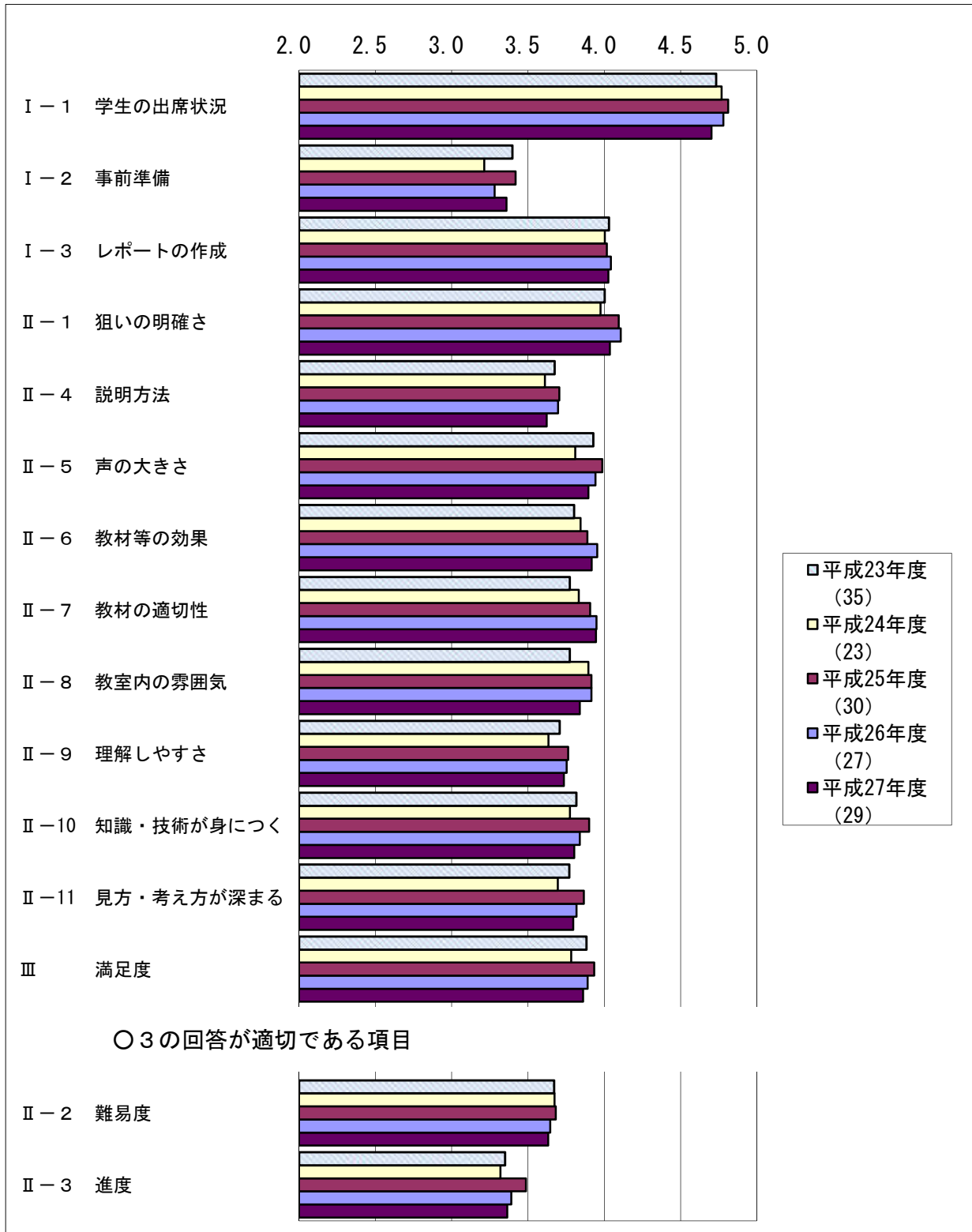


④ 工学部専門科目

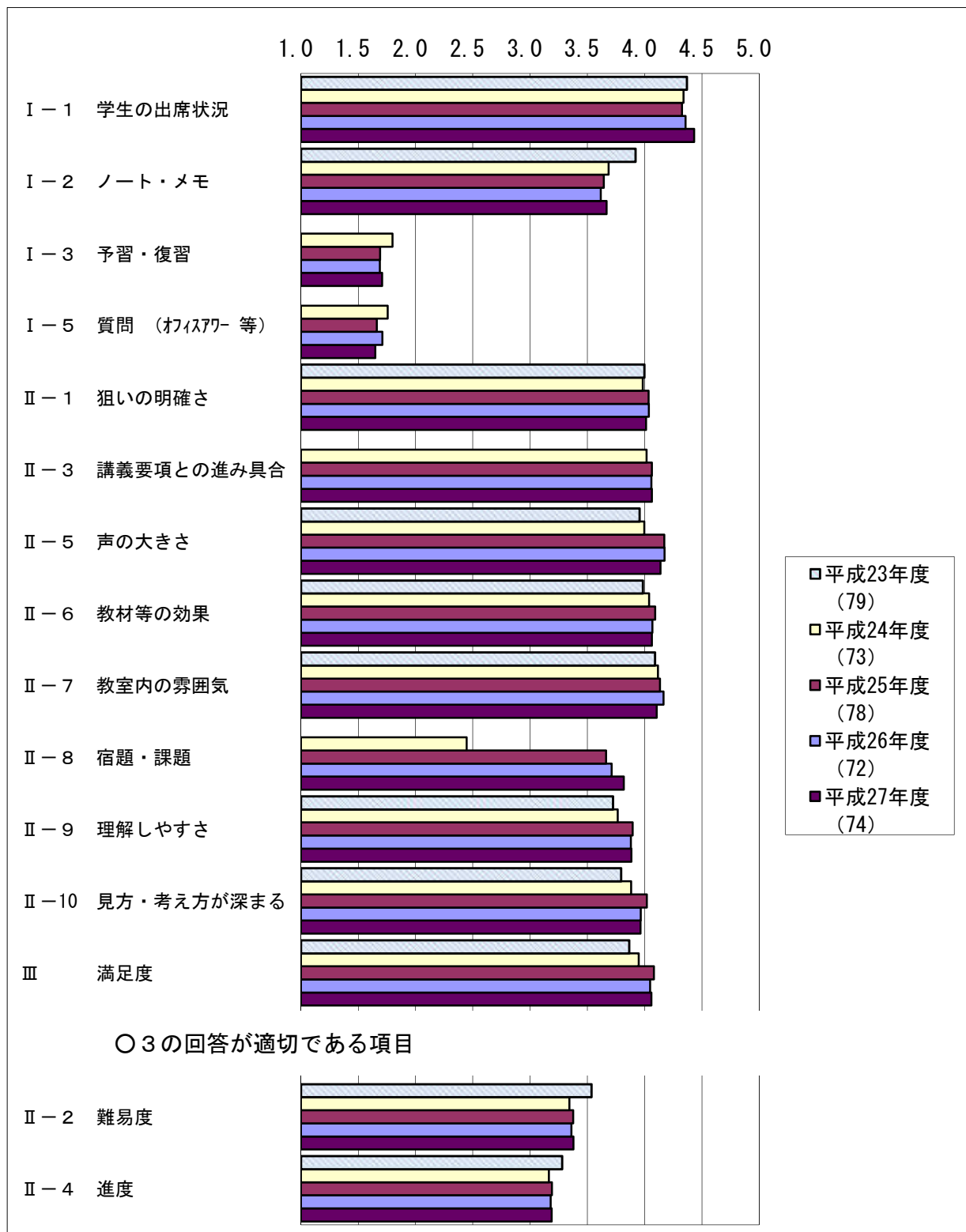
・ 講義等科目



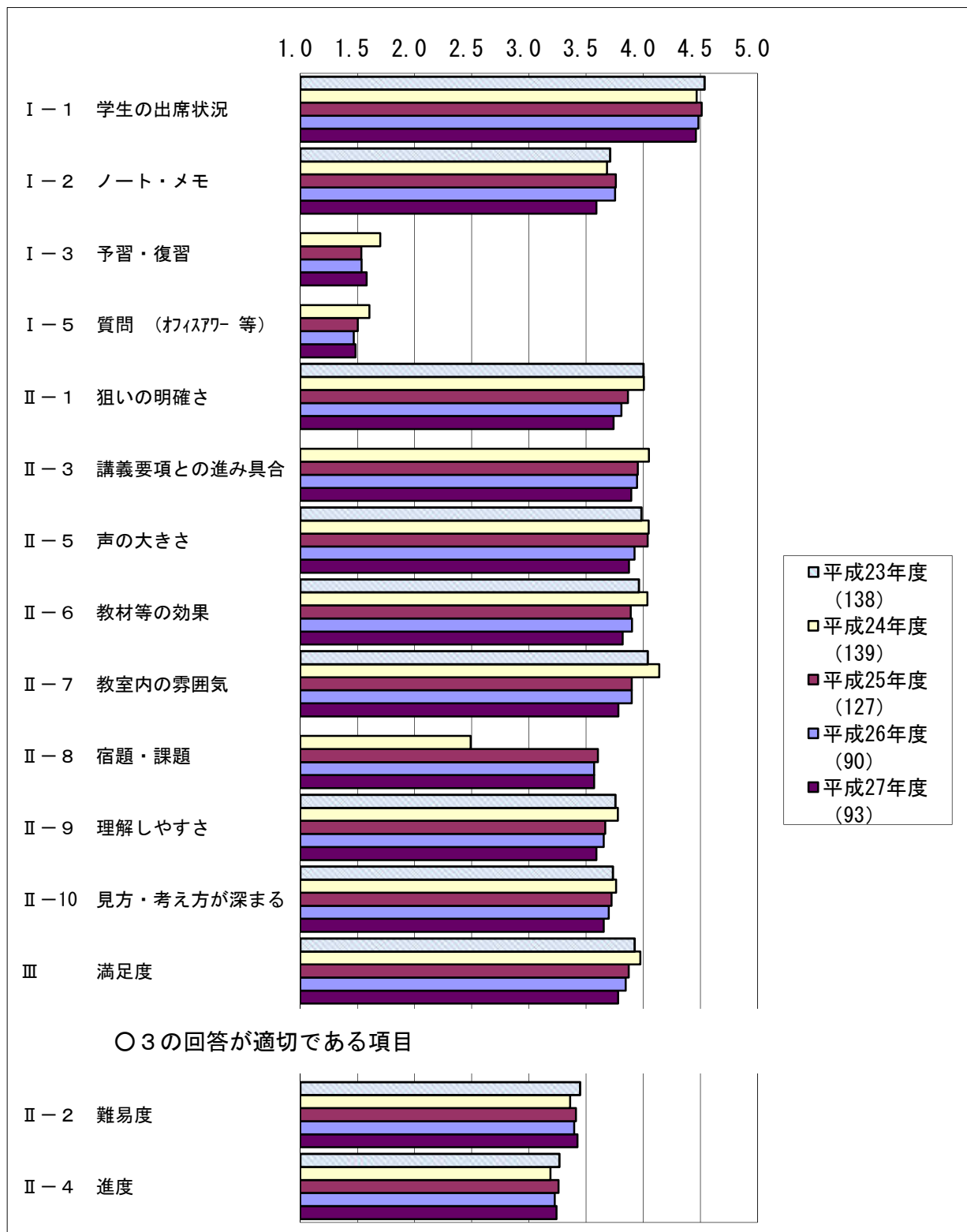
・工学部 実験・実習科目



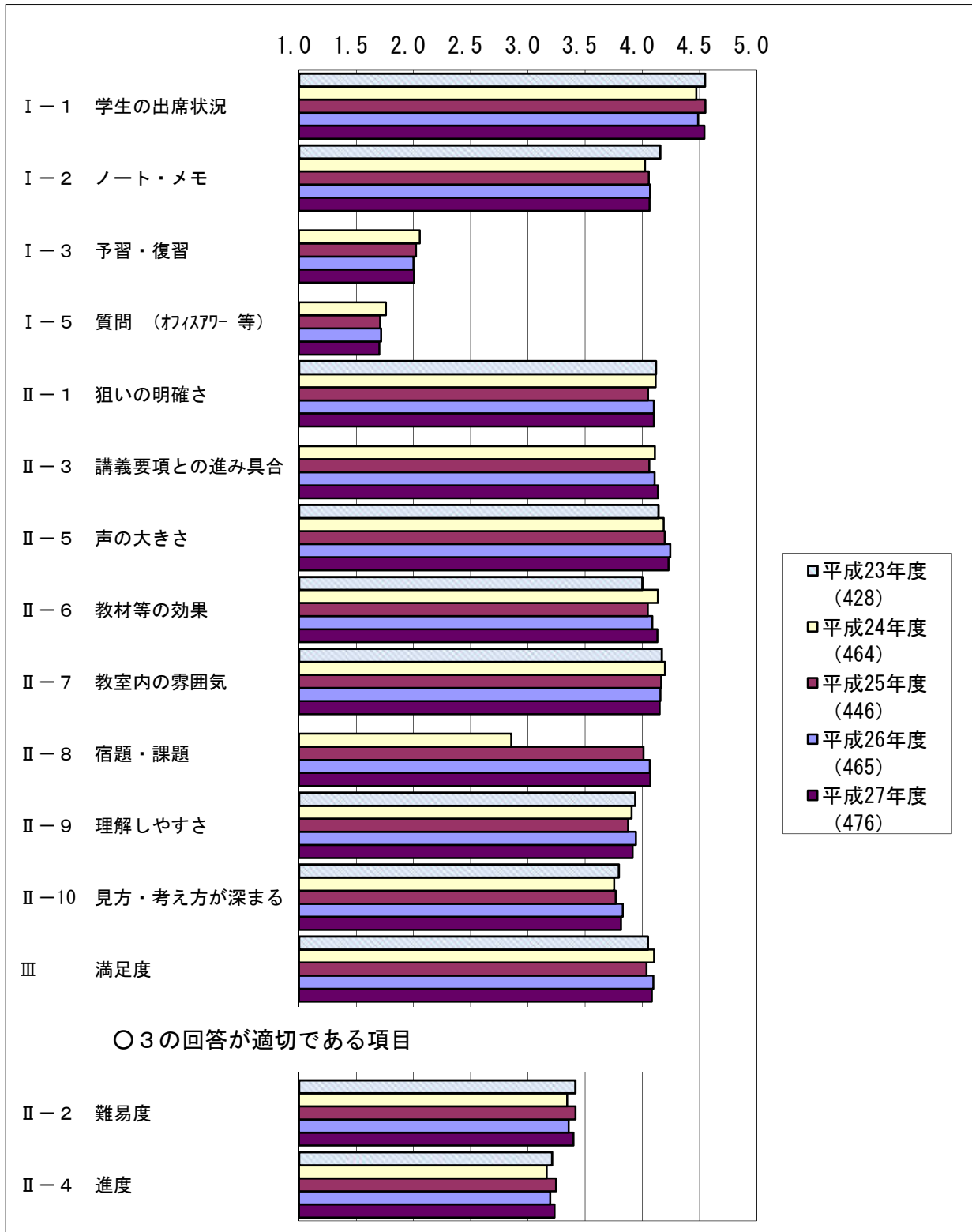
⑤ 国際学部専門科目



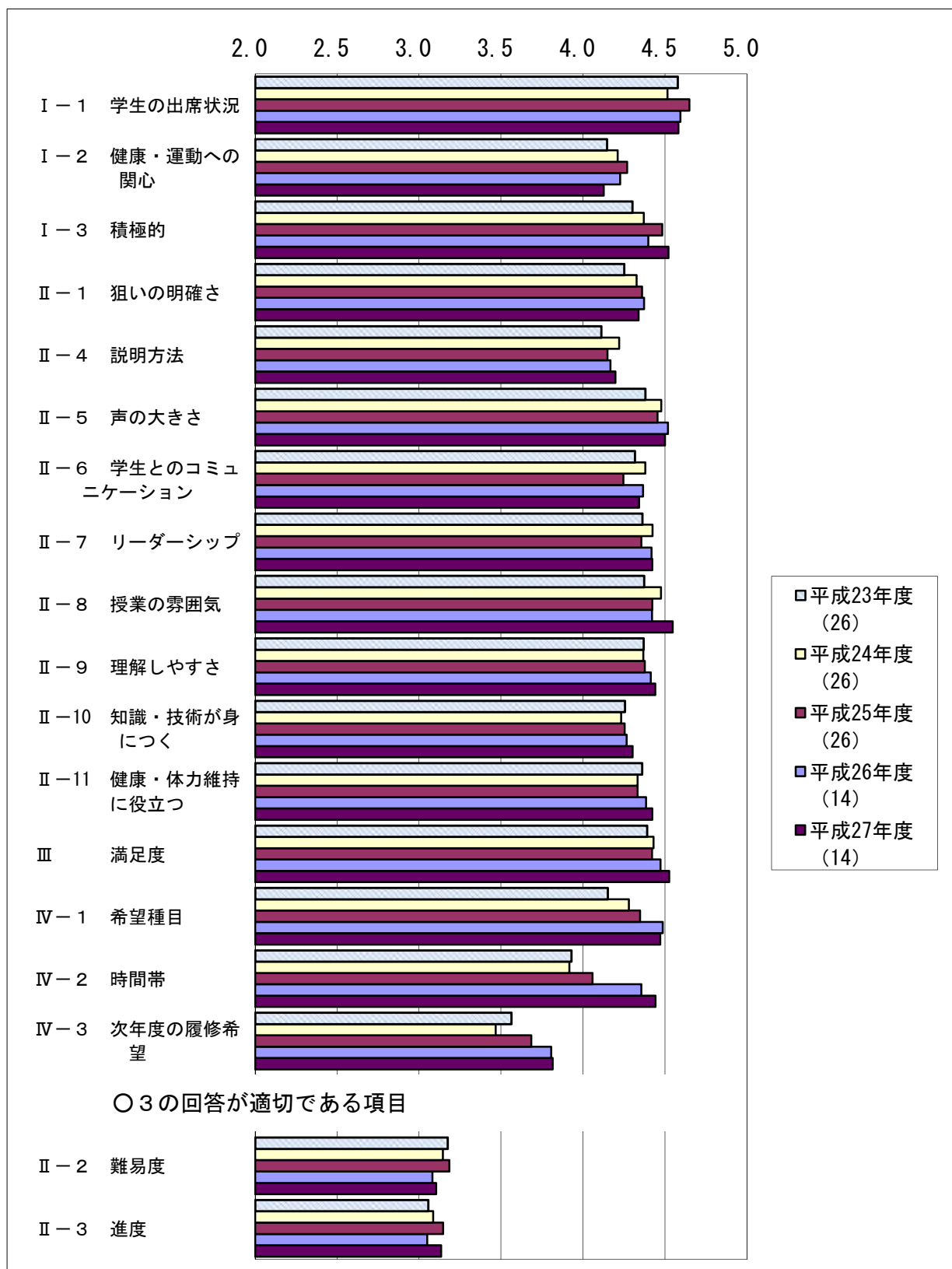
⑥ 教養教育科目



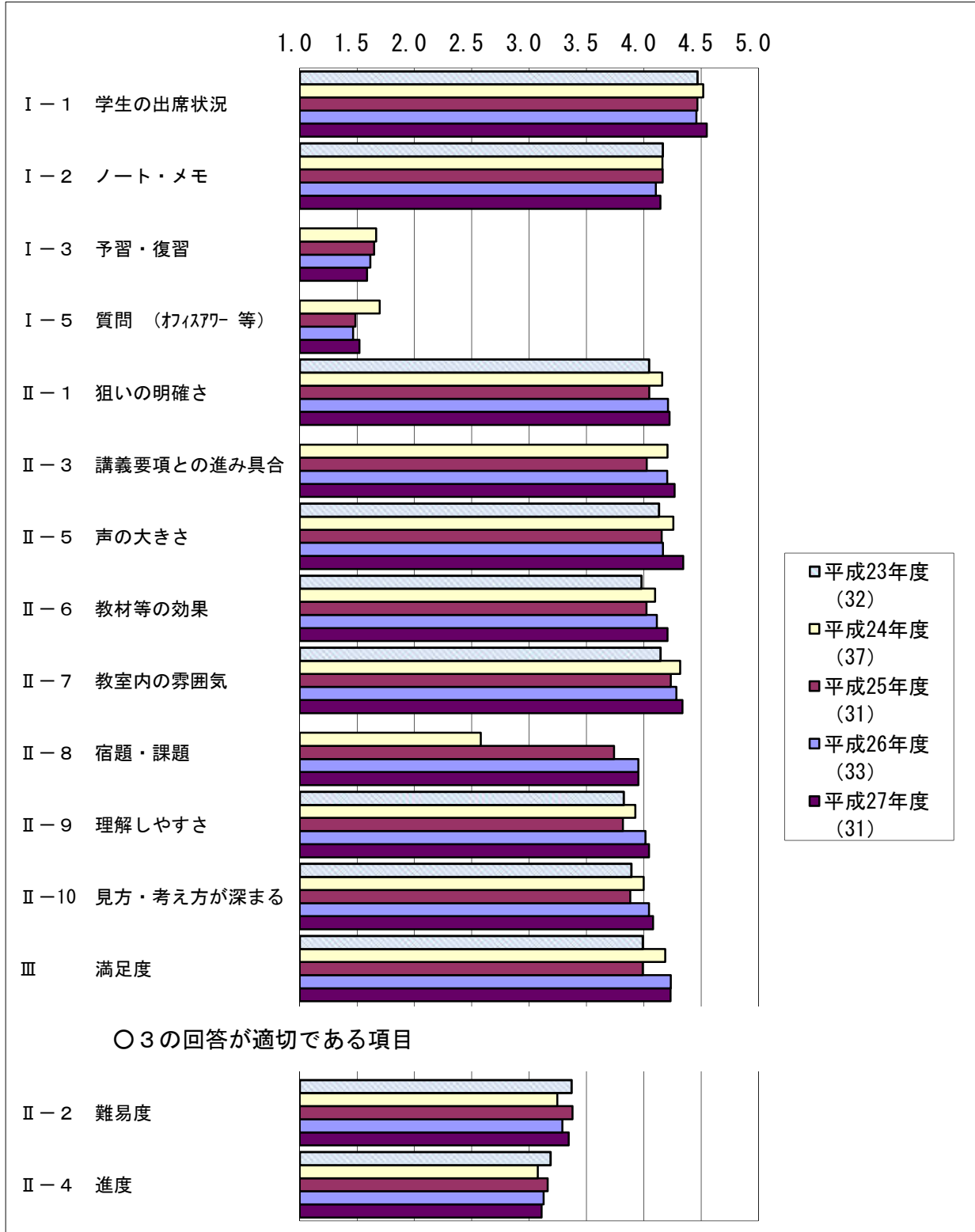
⑦ 外国語科目



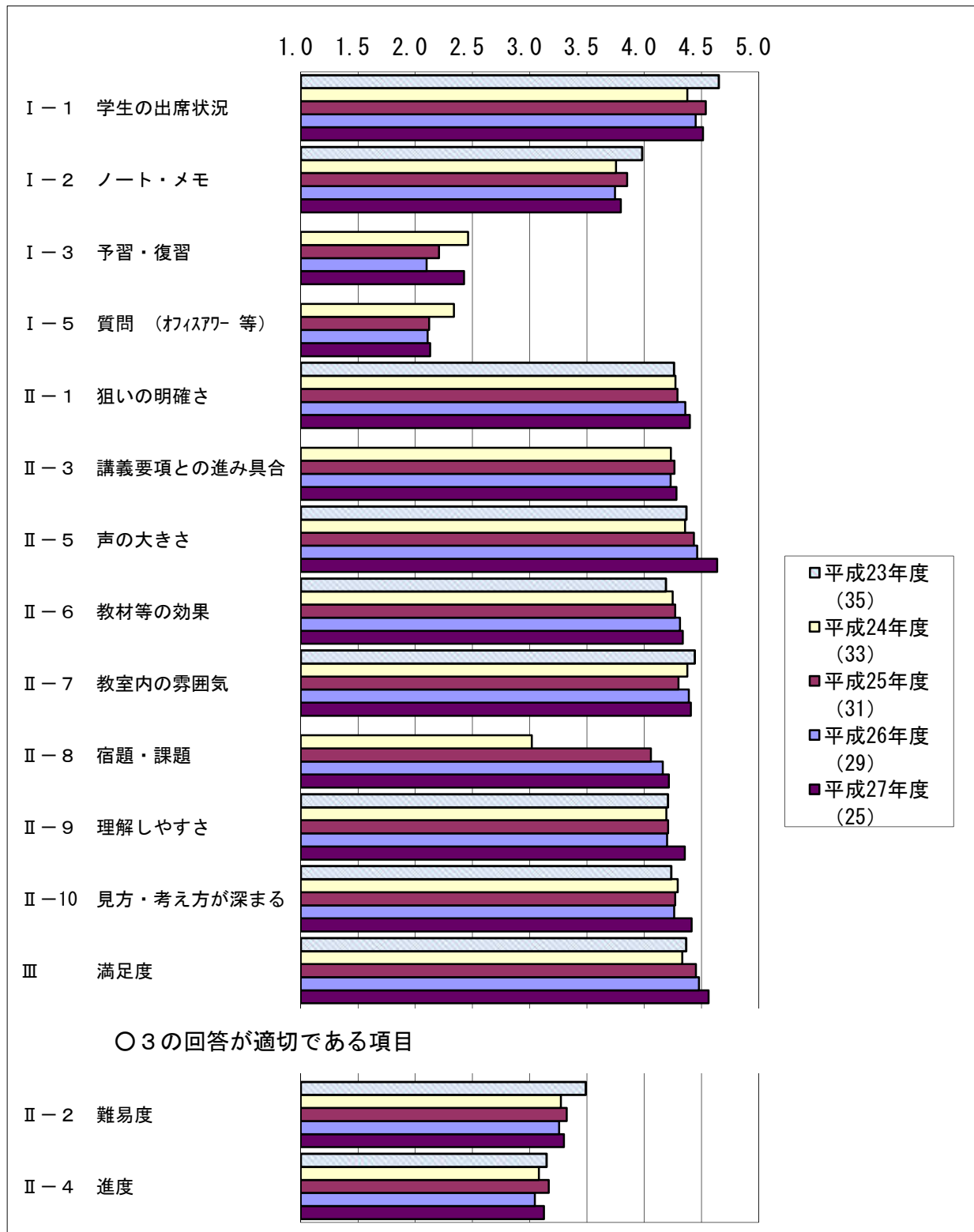
⑧ スポーツ・トレーニング科目



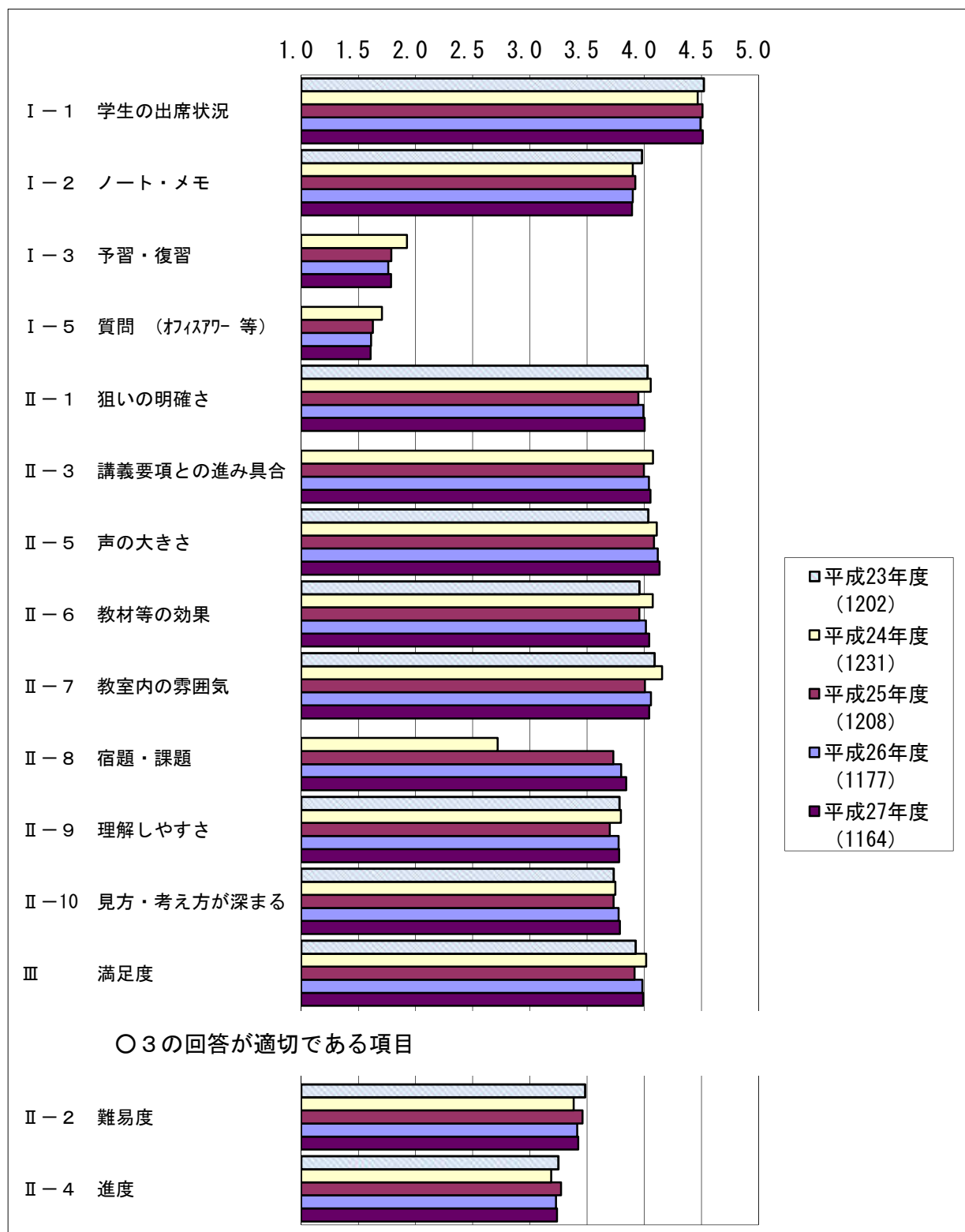
⑨ 教職・社教・日語科目



⑩ ゼミ・外書講読科目



⑪ 全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義科目）

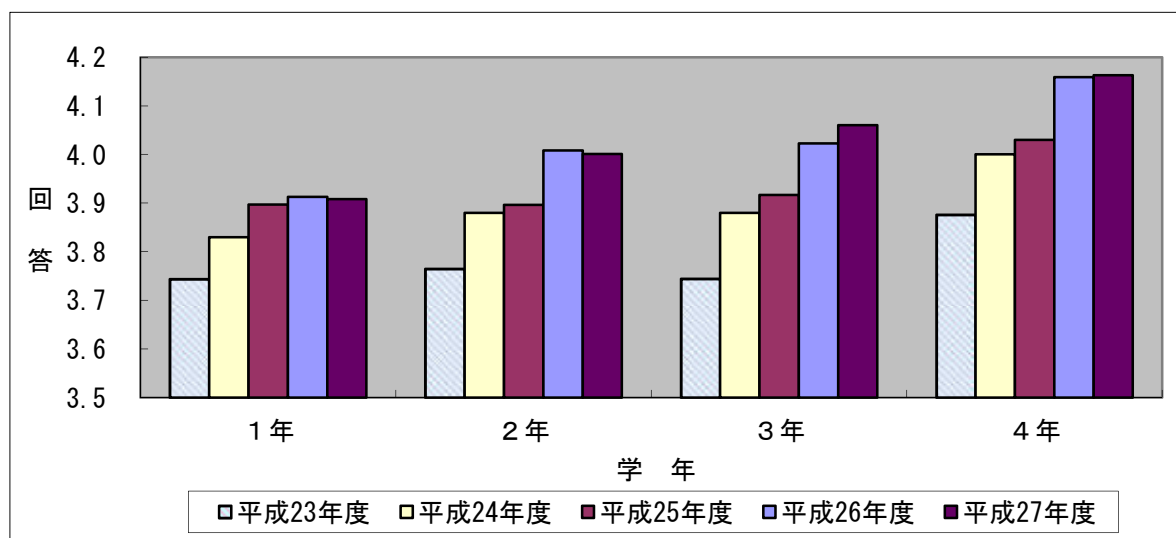
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年
		回答件数：(12802)	回答件数：(10906)	回答件数：(7385)	回答件数：(2298)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.64	4.51	4.45	4.08
	標準偏差	0.70	0.74	0.77	0.91
I-2 ノート・メモ	平均値	3.86	3.90	3.93	3.93
	標準偏差	1.22	1.15	1.14	1.09
I-3 予習・復習	平均値	1.74	1.81	1.75	1.70
	標準偏差	1.03	1.08	1.04	1.02
I-5 質問(オフィスアワー等)	平均値	1.52	1.63	1.65	1.56
	標準偏差	1.03	1.09	1.11	1.05
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.94	4.00	4.06	4.14
	標準偏差	1.04	0.99	0.96	0.94
II-3 講義要項との進み具合	平均値	4.03	4.06	4.07	4.16
	標準偏差	0.94	0.91	0.90	0.87
II-5 声の大きさ	平均値	4.07	4.13	4.19	4.32
	標準偏差	1.06	1.00	0.97	0.94
II-6 教材等の効果	平均値	3.96	4.07	4.11	4.17
	標準偏差	1.05	0.99	0.95	0.95
II-7 教室内の雰囲気	平均値	3.98	4.03	4.12	4.17
	標準偏差	1.02	1.00	0.94	0.97
II-8 宿題・課題	平均値	3.80	3.85	3.88	3.86
	標準偏差	1.06	1.03	1.02	1.02
II-9 理解しやすさ	平均値	3.69	3.82	3.82	3.90
	標準偏差	1.07	1.01	0.99	0.97
II-10 見方・考え方が深まる	平均値	3.68	3.82	3.86	3.96
	標準偏差	1.07	1.03	1.00	0.99
III 満足度	平均値	3.91	4.00	4.06	4.16
	標準偏差	1.05	0.99	0.94	0.93

○3の回答が適切である項目

II-2 難易度	平均値	3.43	3.41	3.42	3.38
	標準偏差	0.77	0.73	0.70	0.70
II-4 進度	平均値	3.26	3.23	3.21	3.19
	標準偏差	0.65	0.62	0.60	0.59

○学年別満足度（平均値）



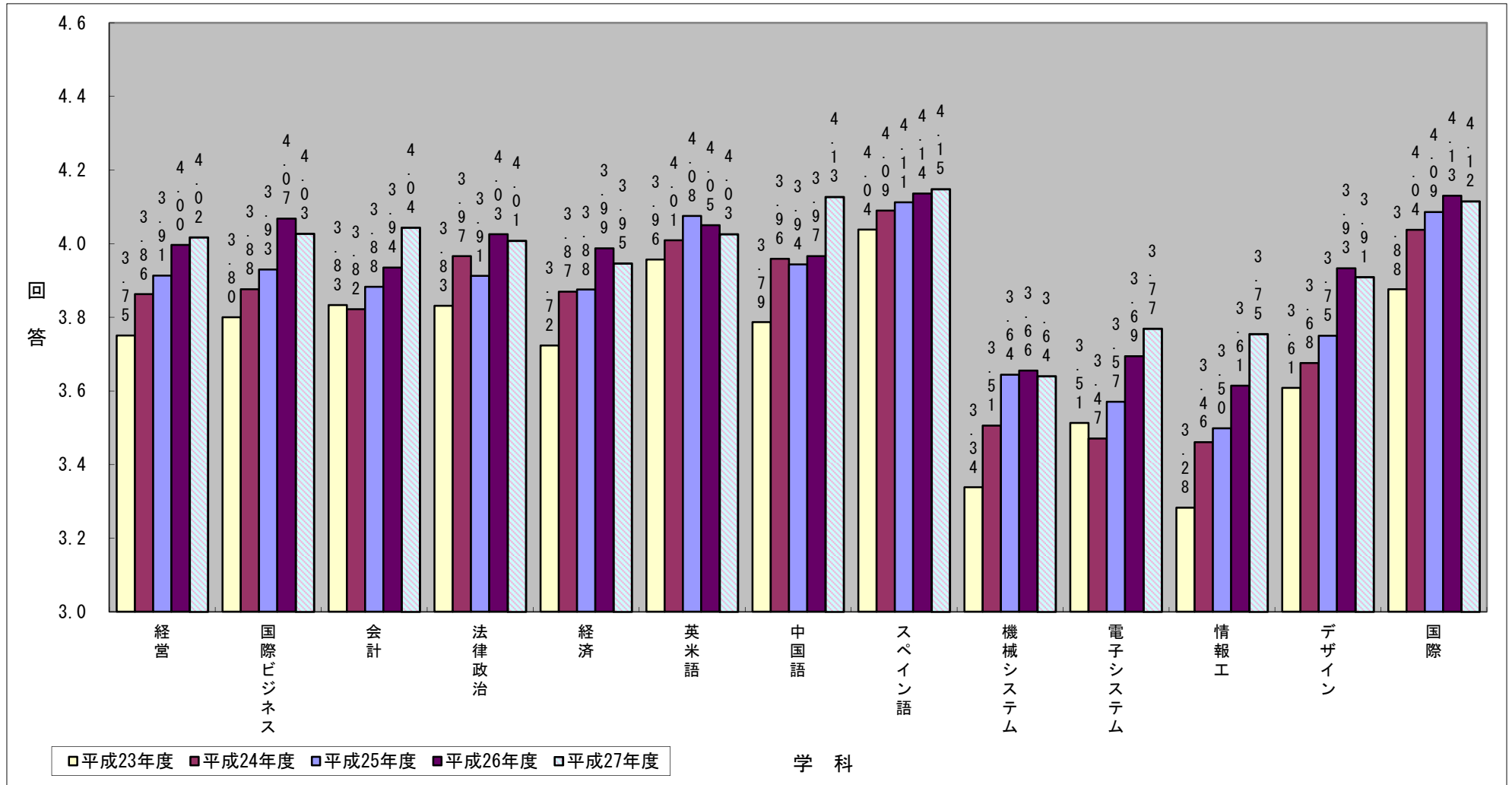
② 学科別

設問項目	区分	経営	国際ビジネス	会計	法律政治	経済	英米語	中国語	スペイン語	機械システム	電子システム	情報工	デザイン	国際
		回答件数 : (6170)	回答件数 : (2229)	回答件数 : (1159)	回答件数 : (3592)	回答件数 : (6583)	回答件数 : (1348)	回答件数 : (472)	回答件数 : (569)	回答件数 : (1197)	回答件数 : (1500)	回答件数 : (1284)	回答件数 : (653)	回答件数 : (6613)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.55	4.52	4.54	4.48	4.43	4.65	4.44	4.48	4.73	4.72	4.55	4.49	4.48
	標準偏差	0.73	0.75	0.73	0.80	0.83	0.65	0.79	0.69	0.61	0.61	0.74	0.70	0.75
I-2 ノート・メモ	平均値	4.00	3.87	4.10	4.01	3.95	3.94	3.69	3.81	3.82	3.55	3.49	3.46	3.87
	標準偏差	1.15	1.20	1.06	1.12	1.12	1.19	1.23	1.14	1.21	1.29	1.26	1.23	1.18
I-3 予習・復習	平均値	1.74	1.79	1.57	1.71	1.72	1.82	1.82	1.91	1.74	1.69	1.68	1.86	1.89
	標準偏差	1.07	1.09	0.84	1.00	1.02	1.06	1.05	1.04	0.99	1.00	0.96	1.06	1.11
I-5 質問(オフィス等)	平均値	1.60	1.70	1.47	1.49	1.52	1.37	1.76	1.59	1.71	1.61	1.55	1.64	1.68
	標準偏差	1.08	1.15	0.94	0.99	1.02	0.86	1.22	0.98	1.09	1.03	1.00	1.07	1.17
II-1 狙いの明確さ	平均値	4.03	4.03	4.06	4.02	3.96	4.07	3.99	4.09	3.75	3.83	3.82	3.87	4.11
	標準偏差	1.01	1.03	0.95	0.99	1.02	1.02	1.03	0.91	1.03	1.03	0.98	1.02	0.98
II-3 講義要項との進み具合	平均値	4.08	4.07	4.07	4.03	4.03	4.13	4.21	4.18	3.81	3.91	3.94	3.97	4.14
	標準偏差	0.91	0.93	0.85	0.92	0.92	0.92	0.89	0.81	0.95	0.92	0.90	0.91	0.92
II-5 声の大きさ	平均値	4.14	4.17	4.20	4.16	4.05	4.24	4.31	4.14	3.93	4.03	4.03	4.04	4.23
	標準偏差	1.02	1.05	0.95	1.02	1.04	1.00	0.95	0.99	1.02	1.05	0.96	1.01	0.97
II-6 教材等の効果	平均値	4.06	4.12	4.08	4.04	3.97	4.14	4.10	4.09	3.75	3.98	3.94	4.02	4.14
	標準偏差	1.00	1.03	0.96	1.01	1.01	1.00	1.00	0.89	1.01	1.00	0.97	1.02	0.99
II-7 教室内の雰囲気	平均値	4.07	4.13	4.10	4.07	3.98	4.10	4.12	4.11	3.77	3.88	3.76	3.86	4.16
	標準偏差	0.98	0.96	0.95	1.00	1.03	1.00	0.97	0.86	0.96	1.01	0.99	1.05	0.97
II-8 宿題・課題	平均値	3.86	3.86	3.76	3.71	3.78	3.91	4.02	3.97	3.62	3.69	3.74	3.72	4.01
	標準偏差	1.05	1.10	1.01	1.06	1.02	1.08	0.99	0.94	0.95	1.01	0.97	1.04	1.03
II-9 理解しやすさ	平均値	3.79	3.81	3.76	3.74	3.69	3.91	3.90	3.97	3.48	3.52	3.54	3.69	3.97
	標準偏差	1.02	1.08	0.98	1.00	1.02	1.01	1.04	0.92	1.01	1.06	1.01	1.00	1.01
II-10 見方・考え方が深まる	平均値	3.80	3.85	3.74	3.80	3.71	3.82	3.83	3.84	3.46	3.52	3.55	3.78	3.97
	標準偏差	1.03	1.05	1.01	1.02	1.03	1.08	1.06	0.95	1.00	1.07	1.01	1.04	1.03
III 満足度	平均値	4.02	4.03	4.04	4.01	3.95	4.03	4.13	4.15	3.64	3.77	3.75	3.91	4.12
	標準偏差	0.99	1.05	0.94	0.97	0.99	1.06	1.04	0.92	1.03	1.04	0.97	1.02	0.99

○3の回答が適切である項目

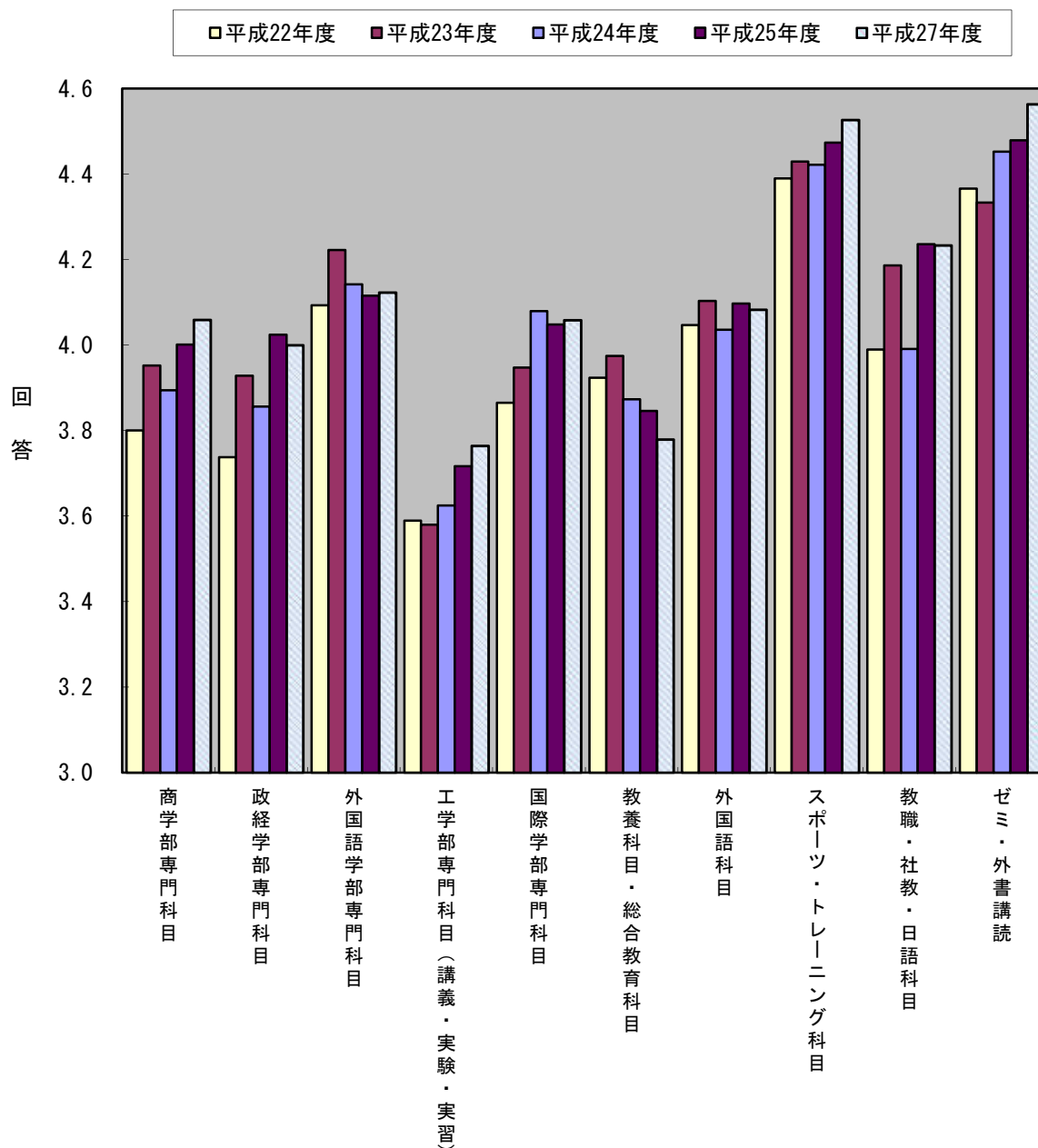
II-2 難易度	平均値	3.43	3.41	3.43	3.43	3.46	3.35	3.40	3.30	3.42	3.52	3.50	3.42	3.37
	標準偏差	0.73	0.75	0.74	0.74	0.76	0.67	0.72	0.71	0.79	0.79	0.77	0.68	0.72
II-4 進度	平均値	3.24	3.22	3.20	3.20	3.27	3.18	3.26	3.21	3.23	3.25	3.29	3.25	3.21
	標準偏差	0.62	0.61	0.59	0.61	0.65	0.58	0.64	0.61	0.68	0.66	0.65	0.59	0.61

○学科別満足度（平均値）



(3) 満足度 平均値

① 学科目別

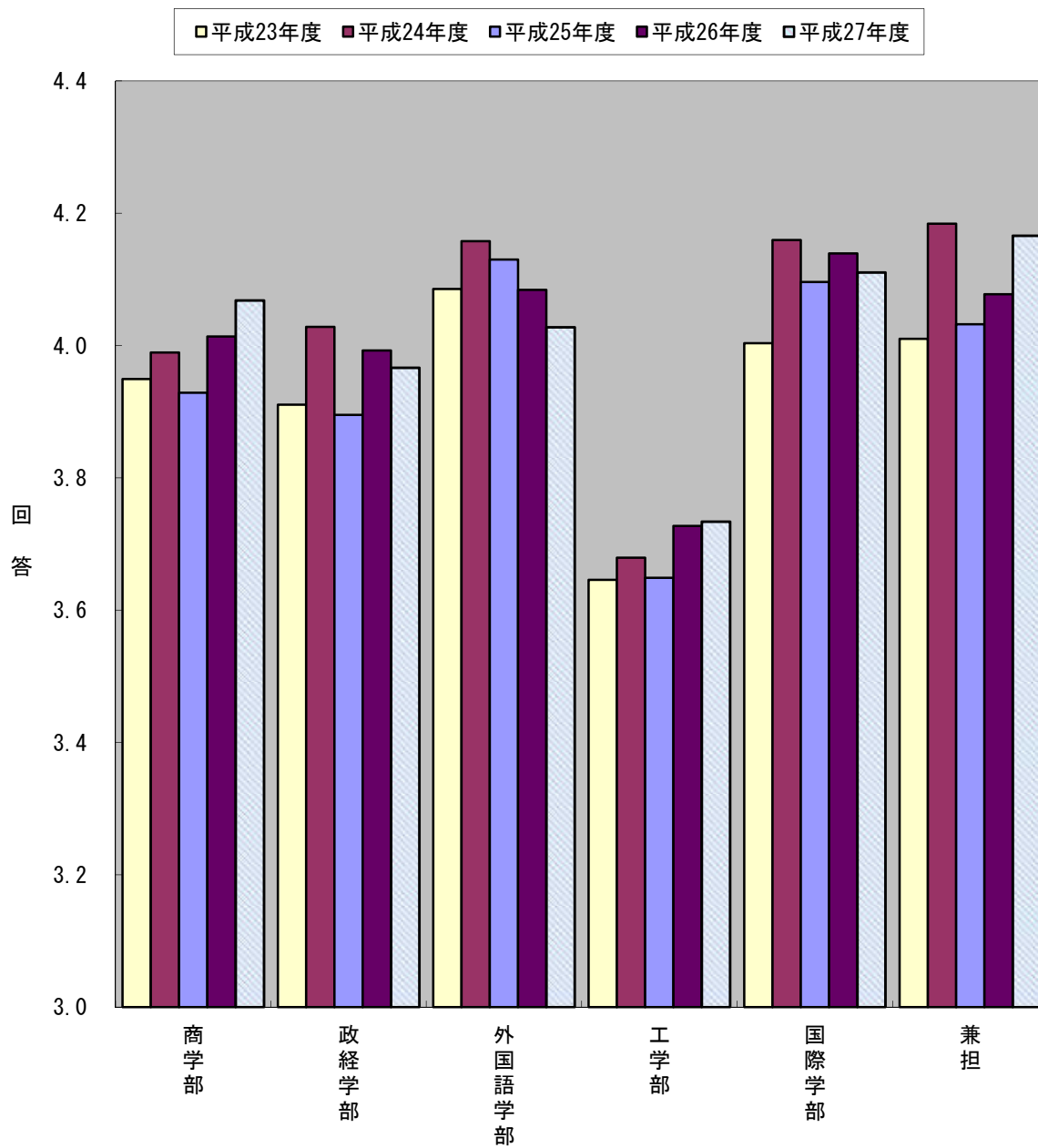


○科目数

平成23年度	140	146	115	124	79	138	428	26	32	35
平成24年度	136	132	113	127	73	139	464	26	37	33
平成25年度	144	129	120	132	78	127	446	26	31	31
平成26年度	144	130	111	130	72	90	465	14	33	29
平成27年度	138	136	100	120	74	93	476	14	31	25

学科目

② 所属別



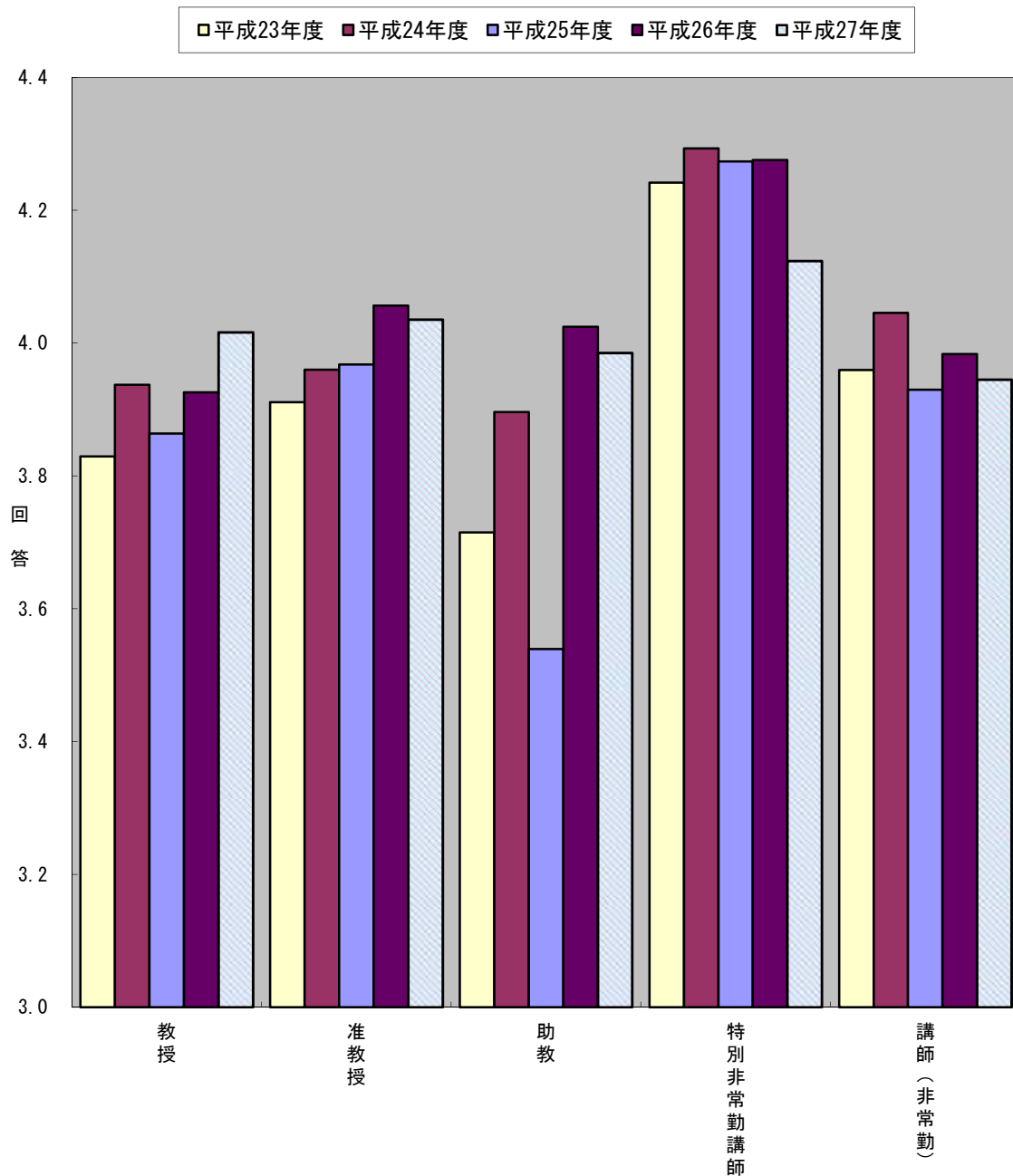
○人数

平成23年度	174	177	84	106	89	30
平成24年度	164	170	81	109	85	23
平成25年度	172	169	85	109	85	26
平成26年度	164	159	82	106	84	21
平成27年度	169	162	80	104	84	18

※講師（非常勤）を含む

学部

③ 身分別

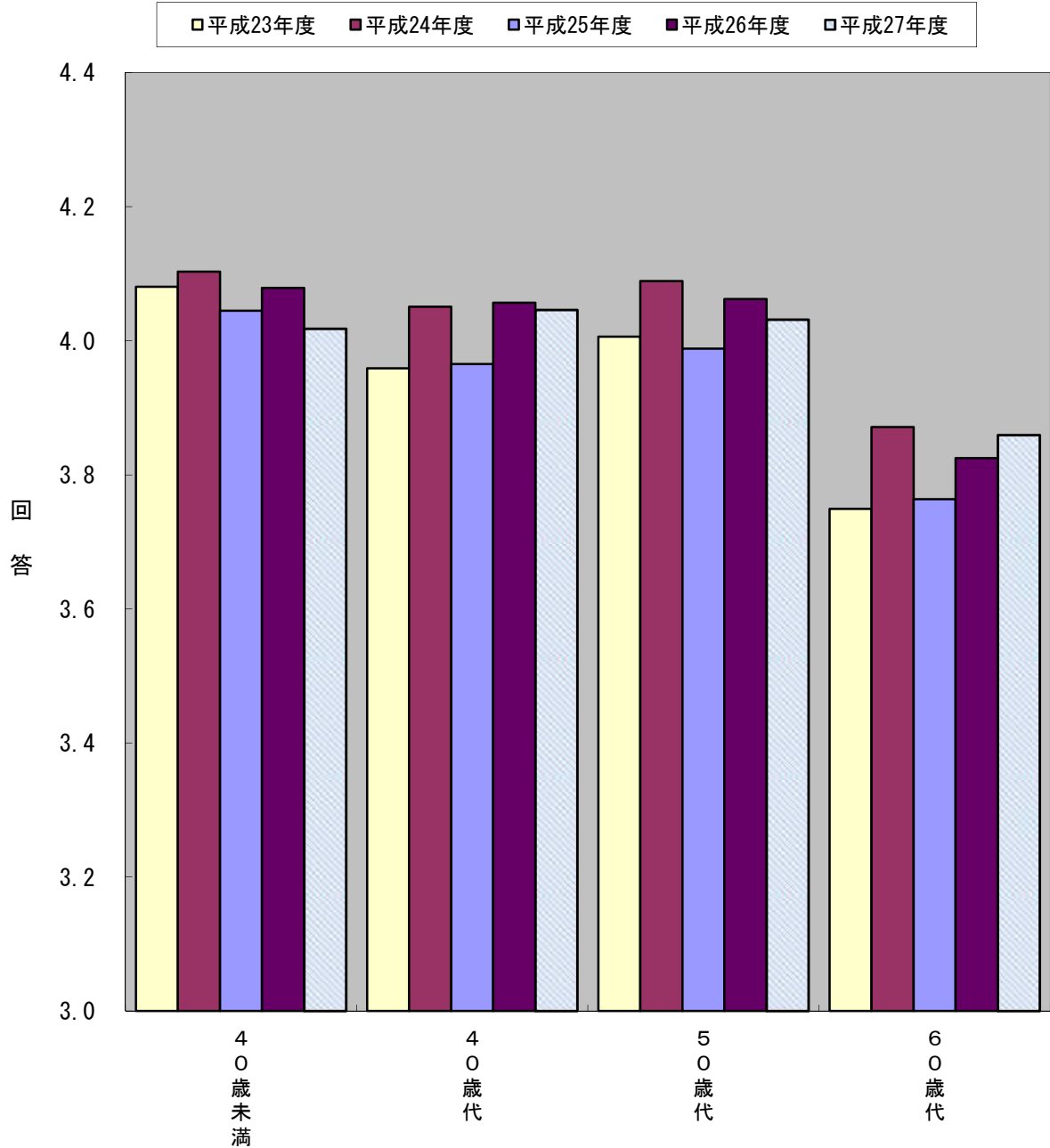


○人数

平成23年度	158	68	7	20	406
平成24年度	153	68	4	20	387
平成25年度	157	66	3	21	399
平成26年度	149	64	2	21	380
平成27年度	142	67	2	22	384

身分

④ 年齢別



○人数

平成23年度	91	168	211	190
平成24年度	76	168	201	187
平成25年度	74	180	191	201
平成26年度	73	160	178	205
平成27年度	86	166	184	182

年齢

5. 学科目別 回答の分析

(1) 商学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.46%	0.96%	8.97%	23.97%	65.65%
I-2	4.92%	4.92%	16.17%	27.50%	46.49%
I-3	58.72%	20.46%	13.35%	4.06%	3.41%
I-4	11.85%	2.96%	44.34%	13.47%	27.37%
I-5	71.05%	10.26%	9.87%	5.43%	3.39%
II-1	1.84%	3.53%	20.04%	32.43%	42.15%
II-2	0.62%	3.14%	57.71%	30.49%	8.04%
II-3	0.69%	1.65%	24.50%	32.69%	40.47%
II-4	0.55%	2.72%	73.78%	17.72%	5.23%
II-5	1.71%	4.10%	16.80%	27.15%	50.25%
II-6	1.76%	3.55%	20.27%	29.20%	45.23%
II-7	1.41%	4.02%	19.06%	31.60%	43.91%
II-8	3.05%	4.00%	31.43%	26.21%	35.31%
II-9	2.43%	6.47%	26.95%	35.69%	28.45%
II-10	2.54%	5.34%	27.21%	34.59%	30.31%
III	1.74%	3.93%	20.55%	34.23%	39.54%

(2) 政経学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	1.07%	1.59%	11.66%	26.15%	59.53%
I-2	5.01%	5.11%	19.89%	27.57%	42.42%
I-3	59.94%	21.60%	11.81%	3.26%	3.38%
I-4	16.75%	3.94%	37.43%	14.59%	27.29%
I-5	75.35%	8.47%	9.14%	3.70%	3.34%
II-1	2.32%	3.77%	22.46%	33.63%	37.83%
II-2	1.25%	2.58%	55.44%	32.23%	8.49%
II-3	1.31%	1.89%	26.14%	32.88%	37.78%
II-4	0.90%	3.05%	72.00%	18.40%	5.65%
II-5	2.06%	3.81%	18.94%	29.10%	46.09%
II-6	2.16%	3.44%	24.16%	29.66%	40.58%
II-7	2.25%	4.53%	21.70%	30.24%	41.27%
II-8	3.37%	4.34%	36.58%	25.93%	29.77%
II-9	2.57%	6.15%	31.28%	35.99%	24.01%
II-10	2.95%	4.71%	30.16%	34.86%	27.32%
III	2.00%	2.95%	23.58%	36.04%	35.43%

(3) 外国語学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.06%	0.35%	8.75%	23.51%	67.33%
I-2	5.56%	7.02%	21.11%	26.73%	39.59%
I-3	45.97%	24.59%	19.10%	7.36%	2.98%
I-4	8.26%	1.91%	58.33%	9.39%	22.10%
I-5	70.09%	11.97%	9.99%	4.32%	3.62%
II-1	2.16%	3.44%	17.90%	32.24%	44.26%
II-2	1.34%	4.03%	60.50%	28.35%	5.78%
II-3	1.00%	1.64%	20.67%	31.12%	45.57%
II-4	0.76%	3.61%	72.90%	18.07%	4.66%
II-5	1.68%	4.30%	14.34%	25.31%	54.36%
II-6	1.81%	3.50%	18.76%	28.79%	47.14%
II-7	1.34%	2.97%	18.83%	30.73%	46.12%
II-8	2.74%	3.91%	23.75%	29.87%	39.73%
II-9	1.69%	5.55%	20.49%	37.01%	35.26%
II-10	2.80%	5.95%	26.02%	32.38%	32.85%
III	2.04%	5.02%	17.33%	29.87%	45.74%

(10) 教職・社教・日語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.28%	0.28%	7.17%	28.83%	63.45%
I-2	2.92%	5.29%	14.21%	29.67%	47.91%
I-3	58.62%	28.69%	9.52%	1.66%	1.52%
I-4	4.01%	0.78%	70.67%	13.31%	11.24%
I-5	71.65%	13.14%	9.41%	3.18%	2.63%
II-1	1.10%	3.58%	15.54%	31.50%	48.28%
II-2	0.41%	2.21%	64.14%	28.97%	4.28%
II-3	0.28%	1.25%	19.92%	28.55%	50.00%
II-4	0.69%	4.13%	80.99%	12.12%	2.07%
II-5	0.88%	2.06%	16.08%	23.89%	57.08%
II-6	1.10%	3.03%	17.49%	30.85%	47.52%
II-7	0.55%	2.63%	15.35%	25.59%	55.88%
II-8	1.52%	3.73%	30.11%	27.21%	37.43%
II-9	0.96%	3.72%	21.90%	36.64%	36.78%
II-10	2.34%	2.21%	21.66%	32.55%	41.24%
III	1.38%	1.79%	16.28%	33.24%	47.31%

(11) ゼミ・外書講読

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.00%	0.81%	10.98%	24.39%	63.82%
I-2	8.06%	5.65%	22.98%	25.40%	37.90%
I-3	32.52%	23.98%	21.54%	12.20%	9.76%
I-4	5.59%	2.48%	23.91%	28.26%	39.75%
I-5	46.37%	17.74%	18.95%	10.48%	6.45%
II-1	1.21%	2.02%	10.08%	29.03%	57.66%
II-2	1.21%	1.61%	66.13%	28.23%	2.82%
II-3	0.41%	0.82%	21.63%	24.49%	52.65%
II-4	0.40%	2.02%	85.48%	8.87%	3.23%
II-5	0.00%	0.44%	9.61%	15.72%	74.24%
II-6	1.22%	1.22%	17.07%	23.58%	56.91%
II-7	0.41%	2.44%	14.23%	21.95%	60.98%
II-8	2.44%	2.03%	17.89%	26.83%	50.81%
II-9	0.41%	0.81%	15.45%	29.67%	53.66%
II-10	1.63%	0.81%	13.41%	22.76%	61.38%
III	0.81%	1.62%	6.48%	22.67%	68.42%

(12) 全体（講義科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.55%	1.10%	9.87%	23.60%	64.87%
I-2	6.16%	6.11%	19.91%	28.08%	39.75%
I-3	55.10%	22.62%	14.50%	4.29%	3.49%
I-4	13.03%	3.28%	46.25%	11.76%	25.69%
I-5	70.68%	10.16%	10.77%	4.54%	3.86%
II-1	2.73%	4.13%	22.03%	32.39%	38.72%
II-2	1.11%	3.41%	56.36%	30.41%	8.70%
II-3	1.34%	1.91%	26.18%	31.15%	39.41%
II-4	0.78%	3.10%	73.10%	17.66%	5.35%
II-5	2.48%	4.29%	17.99%	27.79%	47.45%
II-6	2.49%	3.77%	22.64%	29.16%	41.95%
II-7	2.12%	4.34%	21.93%	30.39%	41.23%
II-8	3.19%	4.13%	31.78%	27.14%	33.76%
II-9	3.20%	6.65%	27.54%	34.16%	28.46%
II-10	3.57%	5.66%	29.01%	31.96%	29.79%
III	2.69%	4.27%	22.34%	32.78%	37.91%

(4) 工学部専門科目 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.18%	0.88%	7.26%	16.29%	75.40%
I-2	9.28%	8.37%	24.22%	27.25%	30.89%
I-3	53.50%	23.80%	15.89%	4.08%	2.72%
I-4	13.32%	2.40%	57.82%	8.12%	18.33%
I-5	63.98%	13.63%	14.26%	5.09%	3.05%
II-1	3.32%	4.73%	27.33%	35.07%	29.56%
II-2	0.95%	3.31%	48.72%	35.94%	11.07%
II-3	1.72%	2.10%	32.13%	33.19%	30.86%
II-4	0.85%	2.89%	69.13%	21.30%	5.82%
II-5	2.67%	4.21%	21.37%	32.48%	39.28%
II-6	2.74%	4.35%	26.50%	32.48%	33.94%
II-7	1.94%	5.09%	29.78%	34.44%	28.75%
II-8	2.62%	4.35%	36.75%	31.55%	24.73%
II-9	4.18%	10.11%	34.19%	33.38%	18.14%
II-10	4.60%	7.95%	36.23%	31.09%	20.13%
III	3.71%	5.58%	30.25%	34.85%	25.61%

(5) 工学部専門科目 (実験・実習科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.22%	0.37%	6.08%	15.50%	77.82%
I-2	14.73%	8.59%	25.17%	29.02%	22.50%
I-3	3.85%	3.04%	21.28%	30.17%	41.66%
I-4	0.98%	2.93%	29.13%	34.61%	32.36%
II-1	1.40%	3.62%	18.85%	42.20%	33.92%
II-2	1.03%	2.58%	41.29%	42.25%	12.85%
II-3	0.81%	2.44%	64.01%	24.91%	7.83%
II-4	4.43%	7.69%	31.41%	34.15%	22.32%
II-5	2.83%	3.79%	27.29%	33.09%	33.01%
II-6	1.70%	4.43%	27.42%	33.26%	33.19%
II-7	1.77%	2.96%	28.01%	33.41%	33.85%
II-8	2.37%	5.11%	27.02%	37.23%	28.28%
II-9	2.81%	6.43%	27.27%	41.46%	22.03%
II-10	1.70%	4.21%	29.17%	41.88%	23.04%
II-11	2.22%	4.29%	29.66%	39.20%	24.63%
III	2.52%	4.07%	26.42%	38.79%	28.20%

(6) 国際学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.62%	0.96%	11.61%	28.26%	58.55%
I-2	8.92%	7.49%	24.19%	26.70%	32.69%
I-3	62.34%	16.89%	12.63%	3.84%	4.29%
I-4	13.28%	2.97%	35.22%	15.17%	33.36%
I-5	70.26%	8.68%	12.07%	3.87%	5.12%
II-1	2.73%	4.49%	22.29%	29.88%	40.61%
II-2	1.00%	2.13%	62.72%	26.44%	7.71%
II-3	1.59%	2.04%	26.26%	28.59%	41.51%
II-4	0.69%	2.14%	79.36%	13.23%	4.58%
II-5	3.07%	4.03%	17.82%	26.10%	48.98%
II-6	3.14%	3.97%	21.93%	25.48%	45.48%
II-7	2.22%	3.68%	20.85%	27.92%	45.33%
II-8	4.60%	3.90%	32.76%	22.63%	36.11%
II-9	3.80%	5.46%	24.49%	31.16%	35.09%
II-10	3.59%	4.84%	22.87%	29.02%	39.69%
III	2.87%	4.19%	20.57%	28.96%	43.40%

(7) 教養科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	1.18%	1.45%	10.68%	23.46%	63.22%
I-2	10.22%	8.92%	23.66%	26.11%	31.09%
I-3	68.89%	14.77%	9.21%	3.66%	3.47%
I-4	22.18%	5.02%	36.66%	7.71%	28.44%
I-5	77.27%	7.28%	8.69%	3.40%	3.36%
II-1	5.79%	6.68%	26.68%	29.37%	31.49%
II-2	1.90%	3.67%	55.56%	27.84%	11.04%
II-3	2.83%	3.00%	30.44%	29.30%	34.42%
II-4	1.27%	3.10%	72.44%	16.64%	6.54%
II-5	5.67%	7.39%	20.89%	25.77%	40.28%
II-6	5.58%	5.69%	26.13%	26.32%	36.28%
II-7	4.34%	7.39%	27.44%	27.38%	33.45%
II-8	6.32%	6.19%	38.04%	22.97%	26.47%
II-9	6.13%	8.55%	30.17%	30.42%	24.73%
II-10	6.07%	6.94%	29.62%	30.16%	27.20%
III	5.46%	6.04%	25.95%	30.22%	32.33%

(8) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.15%	1.01%	9.68%	22.74%	66.42%
I-2	3.64%	4.56%	17.22%	31.07%	43.52%
I-3	41.38%	29.81%	19.73%	5.27%	3.81%
I-4	2.74%	2.57%	62.81%	9.88%	21.99%
I-5	66.94%	11.11%	11.85%	5.17%	4.94%
II-1	2.00%	3.28%	19.66%	32.89%	42.17%
II-2	1.04%	4.64%	56.19%	29.73%	8.40%
II-3	0.94%	1.51%	24.03%	30.02%	43.49%
II-4	0.61%	3.67%	72.61%	18.05%	5.07%
II-5	1.65%	3.50%	16.07%	27.82%	50.96%
II-6	1.50%	2.96%	20.98%	30.11%	44.46%
II-7	1.65%	3.04%	19.18%	30.85%	45.28%
II-8	1.44%	3.00%	24.18%	30.05%	41.34%
II-9	2.54%	5.53%	23.65%	34.41%	33.86%
II-10	3.25%	5.51%	29.45%	30.28%	31.50%
III	2.14%	4.13%	19.49%	31.75%	42.48%

(9) スポーツ・トレーニング科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.00%	0.52%	10.99%	18.32%	70.16%
I-2	2.62%	3.66%	17.28%	31.41%	45.03%
I-3	0.52%	0.52%	9.38%	25.52%	64.06%
I-4	4.38%	5.00%	50.00%	8.75%	31.88%
II-1	0.52%	0.52%	16.67%	29.17%	53.13%
II-2	1.56%	5.73%	78.65%	8.85%	5.21%
II-3	0.00%	2.08%	88.02%	4.17%	5.73%
II-4	1.56%	0.00%	24.48%	25.00%	48.96%
II-5	0.52%	0.52%	14.06%	18.23%	66.67%
II-6	0.52%	1.04%	18.65%	23.32%	56.48%
II-7	1.04%	1.04%	15.10%	20.31%	62.50%
II-8	0.52%	0.52%	11.46%	18.75%	68.75%
II-9	0.52%	0.00%	13.47%	26.94%	59.07%
II-10	0.52%	0.00%	20.31%	27.08%	52.08%
II-11	0.52%	0.00%	16.15%	23.44%	59.90%
III	0.52%	0.00%	11.46%	22.40%	65.63%

6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

(1) 外国語学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	75	4.40	0.84
		講師(非常勤)	75	4.12	0.99
IV-2	このクラスの学生数は適切ですか	専任教員	75	4.38	0.86
		講師(非常勤)	75	4.02	1.05

(2) 工学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	宿題や課題にどれくらい取り組んでいますか	専任教員	74	3.55	1.13
		講師(非常勤)	55	3.36	1.17
IV-2	この授業の内容について、どれくらい質問していますか	専任教員	74	2.38	1.24
		講師(非常勤)	55	2.38	1.23
IV-3	この授業で設定している到達目標について、知識や技術が身につきましたか	専任教員	74	3.33	1.02
		講師(非常勤)	55	3.29	1.03

(3) 国際学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	授業の開始時間、終了時間は守られている	専任教員	101	4.54	0.80
		講師(非常勤)	171	4.52	0.82
IV-2	出欠はきちんととられている	専任教員	101	4.55	0.87
		講師(非常勤)	171	4.57	0.79
IV-3	授業中、学生同士の私語はない	専任教員	101	4.11	1.04
		講師(非常勤)	171	3.72	1.22
IV-4	1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。①国際協力、①国際経済、②国際政治、③国際文化、④国際観光、⑤農業総合	専任教員	101	2.76	1.46
		講師(非常勤)	171	2.85	1.48

IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目（コース別）

区 分 項 目	学 科 コ ー ス 科 目 数	経 営			国際ビジネス	会 計	全 体
		経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス		
		20	20	19	35	38	132
I-1	平均値	4.54	4.47	4.57	4.48	4.60	4.54
	標準偏差	0.74	0.72	0.71	0.77	0.72	0.73
I-2	平均値	4.28	3.78	4.07	3.98	4.05	4.06
	標準偏差	0.99	1.17	1.12	1.13	1.13	1.12
I-3	平均値	1.67	1.68	1.80	1.76	1.70	1.74
	標準偏差	1.05	1.04	1.12	1.09	0.91	1.06
I-5	平均値	1.56	1.66	1.59	1.68	1.59	1.61
	標準偏差	1.04	1.16	1.08	1.12	1.07	1.09
II-1	平均値	4.11	4.03	4.12	4.10	4.06	4.10
	標準偏差	0.93	0.94	0.94	0.97	1.00	0.96
II-3	平均値	4.09	4.03	4.09	4.13	4.14	4.10
	標準偏差	0.86	0.91	0.88	0.86	0.87	0.88
II-5	平均値	4.22	4.23	4.13	4.27	4.13	4.19
	標準偏差	0.94	0.92	1.01	0.94	1.03	0.98
II-6	平均値	4.09	4.15	4.13	4.23	4.01	4.13
	標準偏差	0.95	0.93	0.96	0.92	1.04	0.96
II-7	平均値	4.06	4.07	4.03	4.21	4.19	4.11
	標準偏差	1.01	0.91	0.99	0.90	0.91	0.95
II-8	平均値	3.78	3.92	3.94	3.87	3.81	3.87
	標準偏差	1.06	0.98	1.02	1.05	1.04	1.04
II-9	平均値	3.82	3.69	3.94	3.83	3.64	3.82
	標準偏差	0.97	1.00	0.93	0.99	1.08	0.99
II-10	平均値	3.87	3.75	3.94	3.95	3.60	3.85
	標準偏差	0.98	1.00	0.93	0.97	1.09	0.99
III	平均値	4.07	3.97	4.12	4.09	3.94	4.06
	標準偏差	0.92	0.93	0.92	0.96	1.04	0.96

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.37	3.52	3.30	3.47	3.56	3.42
	標準偏差	0.69	0.73	0.65	0.70	0.78	0.71
II-4	平均値	3.18	3.32	3.23	3.25	3.30	3.25
	標準偏差	0.61	0.66	0.58	0.60	0.65	0.61

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / コ ー ス	経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	会 計	全 体
1. 講義への興味	11.9	13.8	11.3	11.4	12.2	11.8
2. 教員にひかれて	2.8	1.0	3.9	2.7	2.0	2.8
3. 単位が必要	45.8	44.9	41.2	42.6	49.2	43.9
4. 単位取得が楽	15.2	12.4	15.3	12.2	12.5	13.9
5. 時間帯が空いている	24.4	27.8	28.3	31.0	24.1	27.6
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2. 政経学部専門科目（分野別）

区分	分野	法律	政治	行政	経済	その他	全体
設問	科目数	33	22	10	64	8	137
I-1	平均値	4.39	4.47	4.36	4.41	4.65	4.41
	標準偏差	0.86	0.79	0.88	0.83	0.70	0.84
I-2	平均値	4.12	4.12	3.70	3.99	3.07	3.99
	標準偏差	1.01	1.06	1.24	1.12	1.48	1.13
I-3	平均値	1.62	1.60	1.69	1.71	1.72	1.68
	標準偏差	0.99	0.94	1.04	1.05	1.05	1.02
I-5	平均値	1.45	1.42	1.60	1.53	1.57	1.50
	標準偏差	0.98	0.92	1.08	1.04	1.08	1.02
II-1	平均値	4.04	4.01	3.99	3.98	4.10	4.01
	標準偏差	0.93	1.03	0.97	0.99	1.05	0.98
II-3	平均値	4.04	4.02	3.98	4.05	4.19	4.04
	標準偏差	0.89	0.97	0.91	0.91	0.93	0.91
II-5	平均値	4.24	4.18	4.19	4.08	4.10	4.14
	標準偏差	0.91	1.00	0.93	1.01	1.07	0.98
II-6	平均値	4.02	3.96	3.99	4.05	4.03	4.03
	標準偏差	0.99	1.08	1.02	0.97	1.00	0.99
II-7	平均値	4.13	4.14	4.08	3.97	4.19	4.05
	標準偏差	0.96	0.99	0.96	1.03	0.93	1.00
II-8	平均値	3.67	3.58	3.67	3.81	3.93	3.74
	標準偏差	1.04	1.15	1.04	1.01	1.06	1.04
II-9	平均値	3.70	3.75	3.78	3.71	3.76	3.72
	標準偏差	0.96	1.05	0.94	0.97	1.06	0.98
II-10	平均値	3.80	3.82	3.87	3.77	3.58	3.78
	標準偏差	0.98	1.06	0.94	0.98	1.15	0.99
III	平均値	3.99	4.01	4.01	4.01	3.83	4.00
	標準偏差	0.90	1.03	0.92	0.93	1.09	0.94

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.49	3.40	3.42	3.43	3.51	3.45
	標準偏差	0.70	0.74	0.70	0.75	0.85	0.74
II-4	平均値	3.21	3.21	3.25	3.26	3.47	3.25
	標準偏差	0.59	0.58	0.67	0.66	0.82	0.64

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回答 / 分野	法律	政治	行政	経済	その他	全体
1. 講義への興味	16.8	18.9	17.3	16.6	0.8	16.8
2. 教員にひかれて	3.7	2.9	4.4	4.4	2.3	4.0
3. 単位が必要	39.2	31.5	34.7	37.5	85.5	37.7
4. 単位取得が楽	11.4	12.4	15.2	16.3	4.6	14.3
5. 時間帯が空いている	28.8	34.2	28.4	25.2	6.9	27.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 外国語学部専門科目（学科別）

区 分	学 科	英米語	中国語	スペイン語	自由科目	全 体
設 問	科目数	39	26	27	8	100
I-1	平均値	4.65	4.47	4.48	4.67	4.58
	標準偏差	0.62	0.75	0.70	0.59	0.67
I-2	平均値	4.03	3.92	3.90	2.96	3.88
	標準偏差	1.11	1.10	1.12	1.32	1.17
I-3	平均値	2.04	2.03	2.03	1.33	1.97
	標準偏差	1.13	1.09	1.04	0.90	1.10
I-5	平均値	1.41	2.03	1.69	1.38	1.59
	標準偏差	0.91	1.36	1.02	0.94	1.07
II-1	平均値	4.16	4.16	4.17	3.85	4.13
	標準偏差	0.99	0.95	0.89	1.02	0.97
II-3	平均値	4.17	4.22	4.28	3.96	4.19
	標準偏差	0.90	0.89	0.79	0.96	0.89
II-5	平均値	4.35	4.28	4.20	3.99	4.26
	標準偏差	0.95	0.99	0.95	1.02	0.97
II-6	平均値	4.23	4.16	4.15	3.83	4.16
	標準偏差	0.96	0.95	0.93	1.04	0.97
II-7	平均値	4.24	4.19	4.17	3.84	4.17
	標準偏差	0.93	0.91	0.86	1.01	0.93
II-8	平均値	3.99	4.15	4.01	3.72	4.00
	標準偏差	1.07	0.91	0.92	1.11	1.02
II-9	平均値	4.01	4.03	4.06	3.59	3.99
	標準偏差	0.98	0.96	0.90	0.98	0.97
II-10	平均値	3.87	3.90	3.90	3.66	3.87
	標準偏差	1.06	1.01	0.96	1.05	1.03
III	平均値	4.10	4.27	4.20	3.78	4.12
	標準偏差	1.04	0.95	0.93	0.97	1.00

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.32	3.38	3.29	3.42	3.33
	標準偏差	0.68	0.73	0.70	0.80	0.71
II-4	平均値	3.19	3.28	3.20	3.33	3.22
	標準偏差	0.58	0.65	0.61	0.74	0.62

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 学 科	英米語	中国語	スペイン語	自由科目	全 体
1. 講義への興味	8.6	6.7	6.4	13.6	8.3
2. 教員にひかれて	1.1	1.7	4.2	1.5	1.9
3. 単位が必要	56.9	68.5	55.6	54.5	58.3
4. 単位取得が楽	7.8	5.9	18.0	4.5	9.4
5. 時間帯が空いている	25.7	17.2	15.8	25.8	22.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

4. 工学部専門科目

(1) 実験・実習科目 (学科別)

区分	学科	機械	電子システム	情報	デザイン	基礎教育	全体
設問	科目数	8	4	5	10	2	29
I-1	平均値	4.85	4.81	4.78	4.49	4.91	4.70
	標準偏差	0.50	0.49	0.52	0.74	0.28	0.62
I-2	平均値	3.06	3.40	3.38	3.35	4.64	3.36
	標準偏差	1.43	1.25	1.39	1.20	0.63	1.32
I-3	平均値	3.95	4.07	4.11	3.93	4.69	4.03
	標準偏差	1.21	1.01	1.04	0.96	0.60	1.05
I-4	平均値	4.03	4.05	4.11	3.72	4.33	3.94
	標準偏差	0.94	0.90	0.83	0.87	0.79	0.90
II-1	平均値	4.20	4.04	4.07	3.88	4.26	4.04
	標準偏差	0.79	0.89	0.91	0.94	0.77	0.89
II-4	平均値	3.81	3.49	3.42	3.62	3.80	3.62
	標準偏差	0.90	1.06	1.20	1.07	0.87	1.05
II-5	平均値	4.06	3.64	3.88	3.90	4.00	3.90
	標準偏差	0.86	1.02	1.00	1.07	0.89	1.00
II-6	平均値	4.07	3.76	3.96	3.85	4.10	3.92
	標準偏差	0.84	0.99	1.06	0.98	0.88	0.96
II-7	平均値	4.07	3.81	3.95	3.88	4.24	3.95
	標準偏差	0.85	1.06	1.00	0.93	0.80	0.95
II-8	平均値	3.92	3.80	3.98	3.67	4.40	3.84
	標準偏差	0.91	0.96	0.95	1.01	0.73	0.97
II-9	平均値	3.83	3.59	3.64	3.76	3.87	3.73
	標準偏差	0.85	1.03	1.07	0.96	0.84	0.97
II-10	平均値	3.86	3.70	3.76	3.81	3.97	3.80
	標準偏差	0.82	0.94	1.02	0.88	0.83	0.90
II-11	平均値	3.84	3.65	3.66	3.89	3.84	3.80
	標準偏差	0.86	0.97	1.01	0.92	0.92	0.93
III	平均値	4.00	3.72	3.77	3.84	4.13	3.86
	標準偏差	0.83	0.98	1.07	0.98	0.81	0.96

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.56	3.86	3.71	3.53	3.79	3.63
	標準偏差	0.76	0.74	0.92	0.72	0.69	0.78
II-3	平均値	3.29	3.49	3.42	3.35	3.23	3.37
	標準偏差	0.65	0.73	0.78	0.67	0.64	0.70

(注) : 「実験・実習用アンケート」で実施した演習等科目を含む。

(2) 学科・学科目別(講義科目)

区分	学科	機 械	電子システム	情 報	デザイン	基礎教育系列	全 体
設 問	科目数	18	25	19	9	20	91
I-1	平均値	4.73	4.76	4.58	4.44	4.60	4.66
	標準偏差	0.63	0.56	0.71	0.75	0.73	0.67
I-2	平均値	3.79	3.57	3.51	3.34	3.85	3.62
	標準偏差	1.25	1.28	1.23	1.19	1.23	1.26
I-3	平均値	1.72	1.73	1.77	2.03	1.89	1.79
	標準偏差	0.97	1.02	1.00	1.12	1.08	1.03
I-5	平均値	1.70	1.67	1.64	1.86	1.74	1.70
	標準偏差	1.05	1.08	1.04	1.18	1.12	1.08
II-1	平均値	3.70	3.87	3.79	3.87	3.95	3.83
	標準偏差	1.05	1.00	1.00	0.97	1.02	1.01
II-3	平均値	3.74	3.94	3.88	3.87	4.07	3.89
	標準偏差	0.97	0.90	0.91	0.87	0.95	0.93
II-5	平均値	3.93	4.06	3.98	4.07	4.08	4.01
	標準偏差	1.03	1.02	0.96	0.96	1.04	1.01
II-6	平均値	3.69	4.03	3.91	4.11	3.81	3.91
	標準偏差	1.03	0.97	0.97	0.95	1.07	1.01
II-7	平均値	3.73	3.94	3.73	3.94	3.83	3.83
	標準偏差	0.97	0.95	0.94	0.97	1.01	0.97
II-8	平均値	3.56	3.69	3.71	3.80	3.94	3.71
	標準偏差	0.96	0.98	0.93	0.97	0.97	0.97
II-9	平均値	3.43	3.53	3.41	3.78	3.58	3.51
	標準偏差	1.02	1.04	1.03	0.94	1.05	1.03
II-10	平均値	3.42	3.56	3.50	3.98	3.46	3.54
	標準偏差	1.03	1.05	1.06	0.93	1.01	1.04
III	平均値	3.57	3.79	3.65	3.95	3.84	3.73
	標準偏差	1.06	1.00	1.01	0.95	1.01	1.02

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.43	3.56	3.63	3.39	3.54	3.53
	標準偏差	0.80	0.78	0.74	0.70	0.77	0.77
II-4	平均値	3.23	3.27	3.33	3.23	3.37	3.28
	標準偏差	0.68	0.65	0.65	0.58	0.65	0.65

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答/学科	機 械	電子システム	情 報	デザイン	基礎教育系列	全 体
1. 講義への興味	12.9	13.6	15.1	12.2	10.5	13.3
2. 教員にひかれて	3.0	2.5	1.9	1.6	2.8	2.4
3. 単位が必要	61.0	58.4	57.7	43.4	63.9	57.8
4. 単位取得が楽	7.9	8.2	7.6	11.0	6.8	8.1
5. 時間帯が空いている	15.1	17.3	17.8	31.8	16.0	18.3
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 国際学部科目

(1) 英語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科 目 数	54	16	42	13	7	103
I-1	平 均 値	4.58	3.78	4.47	3.90	4.34	4.50
	標 準 偏 差	0.72	0.92	0.74	0.83	0.74	0.74
I-2	平 均 値	3.86	3.39	3.93	3.47	3.80	3.87
	標 準 偏 差	1.19	1.21	1.09	1.39	0.97	1.15
I-3	平 均 値	2.09	2.06	2.32	1.90	2.30	2.19
	標 準 偏 差	1.11	1.08	1.14	1.09	1.07	1.12
I-5	平 均 値	1.71	1.78	1.87	1.95	1.68	1.77
	標 準 偏 差	1.21	1.13	1.21	1.20	1.21	1.21
II-1	平 均 値	4.14	3.89	4.13	3.85	4.11	4.13
	標 準 偏 差	0.98	0.81	0.96	0.91	0.97	0.97
II-3	平 均 値	4.14	3.94	4.17	3.90	4.16	4.15
	標 準 偏 差	0.95	0.85	0.88	0.89	0.92	0.92
II-5	平 均 値	4.24	4.17	4.33	4.20	4.20	4.27
	標 準 偏 差	0.92	0.76	0.87	0.87	0.97	0.91
II-6	平 均 値	4.14	4.11	4.27	4.00	4.07	4.17
	標 準 偏 差	0.98	0.74	0.86	0.89	0.94	0.93
II-7	平 均 値	4.24	3.94	4.26	3.85	4.05	4.22
	標 準 偏 差	0.95	0.78	0.88	0.91	0.90	0.92
II-8	平 均 値	4.16	3.78	4.26	3.90	4.09	4.18
	標 準 偏 差	0.98	0.71	0.88	0.89	0.92	0.94
II-9	平 均 値	4.07	3.94	4.15	3.90	3.84	4.08
	標 準 偏 差	0.97	0.54	0.84	0.89	0.94	0.93
II-10	平 均 値	3.93	3.83	4.07	3.90	3.71	3.96
	標 準 偏 差	1.02	0.69	0.92	0.99	0.98	0.98
III	平 均 値	4.12	4.06	4.17	4.05	3.90	4.12
	標 準 偏 差	1.01	0.78	0.90	0.80	1.02	0.97

※3の回答が適切である項目

II-2	平 均 値	3.23	3.17	3.31	3.10	3.52	3.28
	標 準 偏 差	0.70	0.50	0.71	0.77	0.76	0.72
II-4	平 均 値	3.16	3.22	3.20	3.15	3.26	3.18
	標 準 偏 差	0.56	0.53	0.61	0.36	0.72	0.60

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	3.9	0.0	0.7	0.0	1.6	2.4
2. 教員にひかれて	3.4	0.0	0.5	0.0	1.6	2.1
3. 単位が必要	60.8	90.9	73.8	87.5	80.6	68.0
4. 単位取得が楽	12.1	9.1	10.2	6.3	4.8	10.5
5. 時間帯が空いている	19.9	0.0	14.8	6.3	11.3	16.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 地域言語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科目数	57	27	49	17	20	106
I-1	平均値	4.65	4.14	4.41	3.86	4.48	4.52
	標準偏差	0.68	0.90	0.78	1.07	0.68	0.76
I-2	平均値	4.33	4.37	4.23	4.14	4.42	4.29
	標準偏差	0.92	0.79	0.93	0.86	0.91	0.92
I-3	平均値	2.07	2.74	2.04	2.07	2.23	2.08
	標準偏差	1.10	1.42	1.09	0.91	1.23	1.11
I-5	平均値	1.66	2.91	1.84	1.69	1.96	1.77
	標準偏差	1.18	1.48	1.23	1.12	1.50	1.23
II-1	平均値	4.23	4.33	4.19	4.10	4.67	4.22
	標準偏差	0.89	0.86	0.90	0.92	0.66	0.90
II-3	平均値	4.27	4.21	4.21	4.17	4.54	4.24
	標準偏差	0.84	0.95	0.88	0.87	0.82	0.86
II-5	平均値	4.32	4.23	4.24	4.14	4.82	4.28
	標準偏差	0.90	0.99	0.93	0.99	0.44	0.92
II-6	平均値	4.24	4.51	4.13	4.31	4.65	4.20
	標準偏差	0.92	0.66	0.94	0.75	0.63	0.92
II-7	平均値	4.25	4.09	4.08	4.31	4.90	4.17
	標準偏差	0.87	1.18	0.98	0.65	0.31	0.93
II-8	平均値	4.19	4.26	4.18	4.21	4.75	4.19
	標準偏差	0.93	0.84	0.90	0.89	0.60	0.91
II-9	平均値	4.03	4.19	4.00	3.62	4.69	4.01
	標準偏差	0.98	0.79	1.05	1.24	0.55	1.01
II-10	平均値	4.00	4.09	4.02	3.79	4.63	4.01
	標準偏差	0.99	0.96	1.01	1.16	0.73	1.00
III	平均値	4.24	4.21	4.18	3.72	4.81	4.20
	標準偏差	0.92	0.76	0.97	1.17	0.49	0.95

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.46	3.35	3.51	3.48	3.21	3.47
	標準偏差	0.72	0.74	0.75	0.86	0.50	0.74
II-4	平均値	3.35	3.28	3.36	3.31	3.04	3.35
	標準偏差	0.65	0.73	0.69	0.70	0.35	0.67

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	1.5	7.7	1.2	0.0	6.8	1.6
2. 教員にひかれて	2.2	5.1	1.7	0.0	1.7	2.0
3. 単位が必要	36.3	28.2	61.2	77.3	3.4	46.6
4. 単位取得が楽	17.4	15.4	11.1	0.0	37.3	14.5
5. 時間帯が空いている	42.6	43.6	24.8	22.7	50.8	35.3
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 基礎科目群 (回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年	2年	3・4年	全 体
設 問	科目数	20	19	15	28
I-1	平均値	4.64	4.54	4.36	4.57
	標準偏差	0.67	0.70	0.74	0.69
I-2	平均値	3.53	4.14	3.96	3.71
	標準偏差	1.35	0.95	1.01	1.26
I-3	平均値	1.68	1.93	1.79	1.74
	標準偏差	1.06	1.12	1.02	1.07
I-5	平均値	1.53	1.93	1.54	1.60
	標準偏差	1.10	1.32	1.11	1.15
II-1	平均値	4.04	4.30	4.17	4.11
	標準偏差	1.00	0.87	0.88	0.96
II-3	平均値	4.08	4.40	4.28	4.17
	標準偏差	0.96	0.74	0.79	0.90
II-5	平均値	4.16	4.56	4.38	4.27
	標準偏差	1.02	0.74	0.89	0.97
II-6	平均値	4.06	4.37	4.07	4.12
	標準偏差	1.05	0.86	1.09	1.04
II-7	平均値	3.98	4.42	4.21	4.09
	標準偏差	1.16	0.85	1.03	1.11
II-8	平均値	3.94	4.23	3.90	3.98
	標準偏差	1.02	0.87	1.05	1.01
II-9	平均値	3.85	4.15	4.04	3.94
	標準偏差	0.99	0.97	0.96	0.99
II-10	平均値	3.68	4.30	3.93	3.83
	標準偏差	1.14	0.87	1.03	1.11
III	平均値	3.91	4.39	4.11	4.03
	標準偏差	1.04	0.86	0.89	1.00

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.33	3.43	3.43	3.37
	標準偏差	0.75	0.64	0.78	0.74
II-4	平均値	3.20	3.18	3.18	3.19
	標準偏差	0.65	0.56	0.64	0.63

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年	2年	3・4年	全 体
1. 講義への興味	9.0	8.3	10.8	9.2
2. 教員にひかれて	5.9	1.5	5.4	4.8
3. 単位が必要	56.3	42.1	43.8	50.3
4. 単位取得が楽	5.9	15.8	12.3	9.6
5. 時間帯が空いている	22.9	32.3	27.7	26.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 専門共通科目 (回答者の所属で分類)

区分	科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
設問	科目数	12	12	16	18
I-1	平均値	4.59	4.55	4.28	4.52
	標準偏差	0.75	0.75	0.83	0.78
I-2	平均値	3.58	3.85	3.89	3.67
	標準偏差	1.36	1.24	1.14	1.31
I-3	平均値	1.64	1.72	1.59	1.64
	標準偏差	1.10	1.01	0.90	1.05
I-5	平均値	1.50	1.53	1.54	1.51
	標準偏差	1.04	1.00	1.06	1.04
II-1	平均値	3.74	4.01	4.28	3.88
	標準偏差	1.15	1.01	0.87	1.10
II-3	平均値	3.84	4.09	4.14	3.93
	標準偏差	1.04	0.85	0.80	0.98
II-5	平均値	3.87	4.37	4.42	4.04
	標準偏差	1.16	0.79	0.93	1.11
II-6	平均値	3.69	3.92	4.05	3.79
	標準偏差	1.24	0.95	1.09	1.19
II-7	平均値	3.78	4.31	4.21	3.92
	標準偏差	1.13	0.82	0.99	1.10
II-8	平均値	3.60	3.69	3.86	3.66
	標準偏差	1.16	1.22	1.09	1.15
II-9	平均値	3.46	3.65	3.94	3.58
	標準偏差	1.22	1.16	1.04	1.20
II-10	平均値	3.59	3.75	4.17	3.73
	標準偏差	1.26	1.13	0.94	1.21
III	平均値	3.71	3.94	4.28	3.85
	標準偏差	1.21	1.02	0.91	1.16

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.54	3.51	3.43	3.51
	標準偏差	0.81	0.73	0.64	0.77
II-4	平均値	3.31	3.31	3.12	3.27
	標準偏差	0.72	0.61	0.47	0.66

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答 / 科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
1. 講義への興味	16.5	22.5	12.2	16.3
2. 教員にひかれて	4.4	0.0	2.5	3.5
3. 単位が必要	34.9	39.2	40.1	36.5
4. 単位取得が楽	12.3	9.8	19.8	13.6
5. 時間帯が空いている	31.9	28.4	25.4	30.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 専門コース科目（回答者の所属で分類）

区分	科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		農業総合		専門コース科目	
	科目数	22		10		9		9		5		1		56	
設問	学生所属	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻
I-1	平均値	4.44	4.43	4.46	4.41	4.48	4.36	4.40	4.28	4.39	4.43	4.45	4.57	4.40	4.41
	標準偏差	0.75	0.79	0.76	0.73	0.72	0.77	0.78	0.80	0.78	0.75	0.73	0.73	0.78	0.77
I-2	平均値	3.54	3.47	3.66	4.24	3.60	3.64	3.56	3.38	3.69	4.33	3.54	4.11	3.67	3.64
	標準偏差	1.21	1.10	1.26	0.99	1.22	1.31	1.28	1.20	1.25	0.90	1.22	0.86	1.22	1.23
I-3	平均値	1.72	1.66	1.77	2.04	1.75	1.66	1.70	1.54	1.69	1.79	1.71	1.50	1.73	1.73
	標準偏差	1.09	0.88	1.13	1.14	1.12	0.95	1.10	0.96	1.09	1.18	1.09	0.91	1.10	1.10
I-5	平均値	1.71	1.62	1.77	2.20	1.72	1.68	1.61	1.56	1.60	1.64	1.69	1.79	1.70	1.68
	標準偏差	1.20	1.06	1.24	1.41	1.18	1.19	1.11	1.08	1.09	1.12	1.18	1.21	1.18	1.18
II-1	平均値	4.11	3.95	4.09	4.48	4.13	4.12	3.92	3.79	3.93	4.16	4.11	4.79	4.07	4.07
	標準偏差	0.92	0.85	0.97	0.72	0.92	0.99	1.05	1.05	1.05	0.95	0.93	0.41	0.99	0.99
II-3	平均値	4.17	4.05	4.16	4.44	4.14	4.14	3.99	3.78	3.99	4.25	4.17	4.61	4.12	4.11
	標準偏差	0.89	0.86	0.92	0.73	0.91	0.94	0.97	0.93	0.98	0.86	0.91	0.72	0.93	0.94
II-5	平均値	4.23	4.05	4.16	4.48	4.23	4.29	4.02	4.03	4.07	4.50	4.26	4.93	4.18	4.20
	標準偏差	0.94	0.96	1.03	0.85	0.94	0.91	1.11	0.98	1.05	0.75	0.92	0.26	1.01	0.99
II-6	平均値	4.23	4.23	4.16	4.45	4.21	4.24	4.04	3.97	4.03	4.22	4.24	4.93	4.16	4.21
	標準偏差	0.91	0.89	0.97	0.80	0.91	0.95	1.04	1.02	1.05	0.91	0.92	0.26	0.98	0.96
II-7	平均値	4.22	4.18	4.18	4.57	4.18	4.46	4.01	3.92	3.98	4.08	4.22	4.86	4.17	4.18
	標準偏差	0.91	0.81	0.96	0.61	0.94	0.83	1.00	0.89	1.02	0.98	0.92	0.35	0.95	0.96
II-8	平均値	3.97	4.03	3.92	4.37	3.92	3.80	3.72	3.61	3.68	3.71	3.94	4.50	3.88	3.90
	標準偏差	1.03	0.96	1.07	0.91	1.04	1.13	1.11	1.04	1.10	1.09	1.05	0.82	1.08	1.08
II-9	平均値	4.02	3.95	4.02	4.39	4.06	4.24	3.86	3.65	3.88	4.21	4.04	4.68	4.00	4.02
	標準偏差	0.92	0.84	0.96	0.71	0.91	0.88	1.09	1.11	1.07	0.84	0.92	0.54	0.99	0.98
II-10	平均値	4.10	4.02	4.07	4.47	4.12	4.28	3.90	3.72	3.91	4.17	4.09	4.82	4.06	4.07
	標準偏差	0.93	0.94	0.99	0.77	0.94	0.96	1.07	1.06	1.05	0.91	0.95	0.38	0.99	1.00
III	平均値	4.18	4.06	4.17	4.56	4.21	4.29	3.98	3.81	3.99	4.17	4.19	4.79	4.14	4.16
	標準偏差	0.89	0.89	0.93	0.66	0.90	0.99	1.06	1.07	1.04	0.83	0.90	0.56	0.96	0.97

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.30	3.17	3.32	3.39	3.27	3.24	3.34	3.36	3.34	3.28	3.29	3.29	3.32	3.31
	標準偏差	0.62	0.50	0.68	0.59	0.65	0.62	0.72	0.62	0.70	0.60	0.64	0.45	0.66	0.65
II-4	平均値	3.10	3.05	3.14	3.13	3.12	3.12	3.19	3.16	3.20	3.30	3.11	3.04	3.15	3.14
	標準偏差	0.48	0.35	0.54	0.47	0.49	0.43	0.57	0.44	0.57	0.61	0.49	0.19	0.53	0.51

単位：%

回答 / 科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		農業総合		専門コース科目	
1. 講義への興味	12.0	5.4	11.9	3.3	12.0	7.4	14.1	16.5	13.0	9.8	11.9	0.0	12.2	12.2
2. 教員にひかれて	2.4	0.0	2.4	1.1	2.7	5.6	2.6	2.4	3.6	3.3	2.6	0.0	2.8	2.6
3. 単位が必要	35.5	39.9	36.1	35.2	35.6	46.3	35.1	42.2	34.7	23.9	34.7	38.1	34.8	33.9
4. 単位取得が楽	17.7	17.6	16.0	15.4	18.4	9.3	15.1	11.2	12.9	14.1	16.9	23.8	15.9	17.0
5. 時間帯が空いている	32.4	37.2	33.6	45.1	31.3	31.5	33.1	27.7	35.7	48.9	33.8	38.1	34.4	34.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

6. 教養教育科目

(1) 講義科目 (群別)

項目	群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
	科目数	8	7	5	10	4	5	7	3	2	14		65
I-1	平均値	4.47	4.37	4.59	4.31	4.50	4.51	4.41	4.32	4.04	4.60		4.44
	標準偏差	0.83	0.86	0.71	0.94	0.77	0.76	0.92	0.96	1.14	0.71		0.85
I-2	平均値	3.92	3.24	3.47	3.62	4.03	3.42	3.85	3.24	2.96	3.62		3.57
	標準偏差	1.20	1.34	1.19	1.35	1.09	1.24	1.23	1.20	1.30	1.30		1.29
I-3	平均値	1.47	1.60	1.62	1.51	1.33	1.62	1.61	1.59	1.25	1.51		1.55
	標準偏差	0.99	1.05	1.05	0.95	0.68	1.14	1.08	1.04	0.68	0.95		1.01
I-5	平均値	1.40	1.55	1.49	1.37	1.31	1.53	1.47	1.45	1.21	1.44		1.45
	標準偏差	0.96	1.04	0.98	0.89	0.73	1.04	1.05	0.97	0.67	0.95		0.98
II-1	平均値	4.00	3.61	3.85	3.03	3.68	3.92	3.44	2.98	2.98	4.28		3.68
	標準偏差	0.97	1.04	1.02	1.34	1.11	1.01	1.18	1.19	1.23	0.88		1.16
II-3	平均値	4.04	3.83	4.00	3.35	3.84	3.94	3.82	3.35	3.56	4.23		3.85
	標準偏差	0.93	0.94	0.92	1.15	1.00	0.91	1.04	1.06	1.11	0.86		1.02
II-5	平均値	4.27	3.92	4.04	3.03	3.76	4.11	3.43	3.11	2.70	4.34		3.81
	標準偏差	0.90	1.04	0.98	1.43	1.16	0.98	1.22	1.29	1.38	0.95		1.21
II-6	平均値	4.02	3.98	4.08	3.06	3.57	3.89	3.75	2.98	3.14	4.04		3.77
	標準偏差	0.95	1.03	0.95	1.40	1.25	1.03	1.10	1.27	1.24	1.03		1.16
II-7	平均値	4.13	3.53	3.95	3.46	4.03	3.72	3.47	2.92	3.43	4.13		3.73
	標準偏差	0.93	1.11	0.98	1.19	0.96	1.03	1.12	1.21	1.25	0.95		1.11
II-8	平均値	3.57	3.36	3.60	3.09	3.46	3.58	3.52	3.15	3.07	4.01		3.50
	標準偏差	1.11	1.07	1.14	1.24	1.13	1.09	1.10	1.14	1.13	0.96		1.14
II-9	平均値	3.70	3.57	3.75	2.94	3.38	3.81	3.12	2.93	2.71	4.23		3.53
	標準偏差	0.98	1.01	1.00	1.27	1.11	0.94	1.19	1.23	1.25	0.82		1.14
II-10	平均値	3.90	3.67	3.84	3.01	3.59	3.91	3.32	2.95	2.94	4.13		3.63
	標準偏差	1.00	1.04	0.97	1.29	1.11	0.95	1.15	1.17	1.30	0.85		1.13
III	平均値	4.01	3.83	4.01	3.04	3.62	3.98	3.36	3.02	2.85	4.36		3.74
	標準偏差	0.93	1.01	0.97	1.31	1.17	0.95	1.14	1.23	1.29	0.80		1.14

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.46	3.23	3.28	3.59	3.38	3.24	3.90	3.71	3.85	3.17		3.43
	標準偏差	0.69	0.71	0.74	0.91	0.72	0.75	0.90	0.92	0.95	0.65		0.82
II-4	平均値	3.25	3.15	3.20	3.29	3.29	3.13	3.54	3.45	3.34	3.10		3.25
	標準偏差	0.57	0.60	0.58	0.79	0.58	0.62	0.86	0.85	0.81	0.48		0.68

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 / 群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
1. 講義への興味	26.4	19.1	16.7	31.4	34.8	23.8	25.6	27.3	33.6	19.4		23.9
2. 教員にひかれて	2.6	7.8	7.3	2.8	3.7	7.9	2.6	4.0	2.9	5.9		5.1
3. 単位が必要	31.5	38.1	30.8	35.3	31.7	28.9	44.5	44.3	41.6	29.7		34.8
4. 単位取得が楽	7.5	6.6	8.6	4.5	1.2	13.2	4.9	6.7	2.9	10.2		7.4
5. 時間帯が空いている	32.0	28.5	36.6	26.0	28.7	26.1	22.5	17.8	19.0	34.8		28.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0

(2) 外国語科目 (商・政経・外国語学部、12カ国語)

項目	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
	科目数	114	1	1	26	13	26	12	8		3	17	25	246
I-1	平均値	4.56	4.33	4.55	4.54	4.54	4.49	4.71	4.60		4.55	4.58	4.69	4.57
	標準偏差	0.71	0.47	0.78	0.70	0.72	0.73	0.54	0.65		0.65	0.72	0.60	0.70
I-2	平均値	3.89	3.83	4.64	4.20	4.21	4.12	4.30	4.02		4.52	4.19	4.37	4.05
	標準偏差	1.13	1.07	0.48	0.94	0.93	0.94	0.98	1.01		0.77	0.94	0.85	1.05
I-3	平均値	1.88	1.83	1.45	1.88	1.79	1.81	1.63	1.80		2.13	1.86	2.54	1.89
	標準偏差	1.03	0.69	0.66	1.01	1.01	0.90	0.88	0.91		0.87	1.00	1.17	1.02
I-5	平均値	1.57	1.00	2.18	1.67	1.50	1.53	1.44	1.49		1.81	1.44	2.73	1.63
	標準偏差	1.04	0.00	1.53	1.13	0.97	1.00	0.90	0.91		1.10	0.93	1.44	1.09
II-1	平均値	3.95	4.17	4.55	4.18	4.06	4.11	4.44	3.91		4.40	3.87	4.47	4.05
	標準偏差	1.02	0.69	0.66	0.87	0.96	0.89	0.74	0.90		0.76	0.99	0.76	0.97
II-3	平均値	4.01	3.83	4.00	4.19	4.17	4.14	4.38	4.12		4.43	4.02	4.31	4.10
	標準偏差	0.93	0.69	0.95	0.84	0.90	0.80	0.77	0.79		0.89	0.93	0.80	0.89
II-5	平均値	4.14	4.20	4.64	4.15	4.29	4.27	4.56	4.10		4.27	3.90	4.58	4.19
	標準偏差	1.01	0.75	0.64	0.97	0.96	0.89	0.67	0.87		0.95	1.13	0.68	0.98
II-6	平均値	4.04	4.00	4.36	4.08	4.19	4.10	4.39	4.09		4.23	3.85	4.43	4.09
	標準偏差	0.97	0.82	0.77	0.92	0.94	0.90	0.77	0.84		0.90	1.03	0.78	0.95
II-7	平均値	4.08	4.33	4.36	4.03	4.19	4.10	4.48	3.95		4.62	3.92	4.39	4.11
	標準偏差	0.95	0.47	0.77	1.01	0.97	0.96	0.77	0.97		0.57	0.97	0.82	0.95
II-8	平均値	3.93	4.00	4.55	3.91	4.07	4.12	4.30	3.91		4.04	3.85	4.21	3.99
	標準偏差	0.97	1.00	0.66	0.96	1.01	0.89	0.83	0.92		0.94	0.92	0.91	0.95
II-9	平均値	3.81	3.50	4.36	3.91	3.94	3.78	4.08	3.49		4.04	3.29	4.42	3.82
	標準偏差	1.03	0.76	0.77	0.94	1.01	0.95	0.87	0.96		0.82	1.13	0.74	1.02
II-10	平均値	3.62	4.50	4.27	3.69	3.79	3.70	4.05	3.57		4.19	3.42	4.31	3.69
	標準偏差	1.08	0.76	0.86	1.06	1.02	1.01	0.88	0.97		0.84	1.08	0.78	1.06
III	平均値	3.95	4.50	4.55	4.07	4.19	4.03	4.42	3.95		4.60	3.66	4.51	4.02
	標準偏差	1.03	0.50	0.66	0.95	0.94	0.93	0.75	0.91		0.70	1.10	0.73	1.00

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.33	3.33	2.91	3.45	3.44	3.54	3.38	3.59		3.43	3.80	3.20	3.42
	標準偏差	0.77	0.47	0.67	0.75	0.75	0.72	0.75	0.72		0.71	0.75	0.58	0.76
II-4	平均値	3.18	3.00	2.91	3.20	3.24	3.26	3.21	3.31		3.06	3.43	3.10	3.22
	標準偏差	0.60	0.00	0.29	0.65	0.60	0.61	0.57	0.60		0.52	0.68	0.50	0.61

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 /	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
1. 講義への興味		3.7	0.0	0.0	3.4	0.9	4.7	1.4	2.3		0.0	2.8	2.7	3.3
2. 教員にひかれて		2.4	0.0	12.5	3.1	2.8	1.3	4.2	10.6		0.0	0.3	6.5	2.9
3. 単位が必要		77.7	16.7	62.5	64.1	60.6	63.3	46.2	42.4		43.8	67.1	55.6	67.9
4. 単位取得が楽		6.4	0.0	0.0	7.3	11.3	8.2	9.8	6.8		3.1	4.8	12.3	7.4
5. 時間帯が空いている		9.8	83.3	25.0	22.0	24.4	22.4	38.5	37.9		53.1	24.9	23.0	18.5
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注1. A語：アラビア語、B・P語：ブラジル・ポルトガル語、C語：中国語、F語：フランス語、
G語：ドイツ語、K語：韓国語、I・M語：インドネシア・マレーシア語、
I・P語：インド・パキスタン語 (実施科目なし)、R語：ロシア語、S語：スペイン語

注2. 国際学部の地域言語は、***ページを参照

(3) スポーツ・トレーニング科目

設 問	科 目 数	14
I-1	平均値	4.58
	標準偏差	0.70
I-2	平均値	4.13
	標準偏差	0.99
I-3	平均値	4.52
	標準偏差	0.73
II-1	平均値	4.34
	標準偏差	0.81
II-4	平均値	4.20
	標準偏差	0.91
II-5	平均値	4.50
	標準偏差	0.79
II-6	平均値	4.34
	標準偏差	0.85
II-7	平均値	4.42
	標準偏差	0.86
II-8	平均値	4.55
	標準偏差	0.76
II-9	平均値	4.44
	標準偏差	0.76
II-10	平均値	4.30
	標準偏差	0.82
II-11	平均値	4.42
	標準偏差	0.79
III	平均値	4.53
	標準偏差	0.74
IV-1	平均値	4.47
	標準偏差	0.77
IV-2	平均値	4.44
	標準偏差	0.84
IV-3	平均値	3.82
	標準偏差	1.22

※3の回答が適切である項目

設 問	科 目 数	14
II-2	平均値	3.10
	標準偏差	0.64
II-3	平均値	3.14
	標準偏差	0.52

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

回 答	
1. 講義への興味	4.4
2. 教員にひかれて	5.0
3. 単位が必要	50.0
4. 単位取得が楽	8.8
5. 時間帯が空いている	31.9
合 計	100.0

(4) 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

区分	課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
設 問	科目数	25	2	4	31
I-1	平均値	4.56	4.44	4.47	4.55
	標準偏差	0.65	0.96	0.79	0.66
I-2	平均値	4.16	2.33	4.21	4.14
	標準偏差	1.01	1.25	1.01	1.04
I-3	平均値	1.59	1.78	1.48	1.59
	標準偏差	0.85	0.79	0.79	0.85
I-5	平均値	1.50	1.44	1.80	1.52
	標準偏差	0.94	0.83	1.25	0.97
II-1	平均値	4.23	4.00	4.22	4.22
	標準偏差	0.92	0.67	0.90	0.91
II-3	平均値	4.28	4.11	4.19	4.27
	標準偏差	0.84	0.74	0.86	0.84
II-5	平均値	4.33	3.89	4.58	4.34
	標準偏差	0.90	0.31	0.67	0.88
II-6	平均値	4.20	4.00	4.33	4.21
	標準偏差	0.92	0.67	0.82	0.91
II-7	平均値	4.32	3.89	4.65	4.34
	標準偏差	0.88	0.74	0.58	0.87
II-8	平均値	3.92	4.00	4.32	3.95
	標準偏差	0.99	0.82	0.77	0.98
II-9	平均値	4.01	4.11	4.44	4.05
	標準偏差	0.91	0.57	0.74	0.91
II-10	平均値	4.08	4.00	4.17	4.08
	標準偏差	0.95	0.47	1.15	0.96
III	平均値	4.22	4.00	4.44	4.23
	標準偏差	0.90	0.47	0.71	0.88

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.36	3.33	3.21	3.34
	標準偏差	0.63	0.47	0.49	0.62
II-4	平均値	3.12	2.78	3.00	3.11
	標準偏差	0.52	0.42	0.27	0.51

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
1. 講義への興味	3.7	10.0	6.2	4.0
2. 教員にひかれて	0.9	0.0	0.0	0.8
3. 単位が必要	73.7	80.0	36.9	70.7
4. 単位取得が楽	13.3	0.0	15.4	13.3
5. 時間帯が空いている	8.4	10.0	41.5	11.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

V 評価及び課題

1. 商学部

(1) アンケート実施状況について

平成 27 年度「授業改善のための学生アンケート」は、平成 27 年 11 月 16 日（月）～平成 27 年 12 月 22 日（火）にかけて実施された。アンケートを実施したのは、商学部専任教員 47 名（昨年度 45 名、一昨年度 49 名）及び非常勤講師 122 名（同 119 名、123 名）の合計 169 名（同 164 名、172 名）であった。アンケート実施率は、専任教員 100%（同 100%、100%）、非常勤講師 99.2%（同 98.3%、100%）であり、昨年度と比較すると若干上昇した。

アンケート実施科目数は、専任教員担当科目 98 科目（同 91 科目、103 科目）及び非常勤講師担当科目 213 科目（同 206 科目、216 科目）の合計 311 科目（同 297 科目、319 科目）であった。

実施科目（専任教員科目 98 / 非常勤講師科目 213）の内訳は、商学部専門科目 134、外国語科目 116、教養科目・総合教育科目 26、スポーツトレーニング科目 7、教職・社教・日語科目 6、ゼミ・外書講読科目 11、他学部専門科目 11 となっている。

アンケート回答数（延べ人数）は合計 9,562 名（同 8,827 名、10,423 名）であり、学年ごとに見ると、1 年生 3,607 名（同 3,403 名、3,798 名）、2 年生 2,938 名（同 2,403 名、3,202 名）、3 年生 2,173 名（同 2,244 名、2,420 名）、4 年生 828 名（同 760 名、977 名）であった。

以下では、今年度のアンケート結果を分析することで授業改善の方向性を探る。

(2) 集計結果の分析

① 全体的な傾向

本アンケートの質問項目は 16 項目で構成されているが、それらの項目は、Ⅰ「受講する姿勢や動機について」、Ⅱ「授業の内容や進め方について」、Ⅲ「総合的な満足度」という 3 つの大きな質問群に区分けされている。学生の主体性と教員の授業運営の実態を明らかにし、そのうえで学生の総合的な満足度を問うという形になっている。

昨年度の報告書において、商学部専門科目に関してⅠ～Ⅲの質問群ごとに平成 22～26 年度までの平均値の推移を確認し、次の 3 つの特徴を記述している。今年度も同じ特徴が見られた。

- Ⅰ 授業に出席してしっかりとノート・メモをとる学生が多い一方で、予習・復習への取り組みやオフィスアワー等を活用した質問は低調であるというパターンが続いている。
- Ⅱ この 2～3 年の間に「宿題・課題」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」等の項目に対する学生の評価が明らかに高まっており、授業の質が高まってきていることが分かる。

➤ III 総合的な満足度は、年度ごとの上下はあるものの上昇傾向にある。

②個別の質問項目の検討

今年度の学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差のデータと学科目別回答の分析から、商学部専門科目（138 科目、商学部開講 134、他学部開講 4）のアンケート結果について、特徴を記述していく。

I-1 「学生の出席状況」（①40%未満、②40%以上、③60%以上、④80%以上、⑤90%以上）

この項目では、学生に自らの出席率を質問している。今年度の平均値は 4.53（昨年度 4.50、一昨年度 4.55）であった。昨年度よりも 0.03 ポイント上昇した。具体的には 80%以上の出席と回答した学生が 89%（昨年度 88%）を越えている。内訳をみると⑤65.65%、④23.97%（昨年度⑤65.78%、④24.59%）であった。

この項目はアンケート回答者の出席状況であり、授業に出席する学生は継続的に授業にまじめに出席するという傾向が読み取れる。しかし、授業に出席していない学生も相当数いると思われる。出席しない学生への対応が課題となる。

I-2 「ノート・メモ」

この項目は、授業中の口頭説明や板書内容をしっかりとノート・メモしているかを問うものである。今年度の平均値は 4.06（昨年度 4.11、一昨年度 4.14）であった。具体的には、「④そう思う」と「⑤強くそう思う」の合計が約 75%（昨年度約 75%）であった。

学生がしっかりとノート・メモをしていることで満足し、深い学びに結びついているのであろうか。実はこの結びつきが重要なのではないか。この点まで踏み込んだ質問項目を設定する必要があるだろう。

I-3 「予習・復習」（①0.5h 未満、②0.5h 以上、③1h 以上、④2h 以上、⑤4h 以上）

この項目では、科目ごとに毎回どの程度の予習・復習を行うかを質問している。今年度の平均値は 1.74（昨年度 1.71、一昨年度 1.80）である。具体的には予習・復習にあてる時間が 1 時間未満の学生が 8 割近くいる。①と回答した学生が 58.72%、②と回答した学生が 20.46%（昨年度①58.19%、②22.04%）であった。

単位制の実質化やアクティブラーニングの観点からは、予習・復習を必要とする授業方法の工夫が必要となる。来年度の商学部 FD 活動の課題である。

I-4 「受講動機」（①講義要項を読んで興味を持った、②教員にひかれて、③単位が必要だから、④単位取得が楽だから、⑤この時間帯が空いていたから）

この項目は、授業を受講した動機を複数回答（最大 3 つまで）の形で質問している。

最大の受講動機は「単位が必要だから」44.34%、「講義要項を読んで興味を持ったから」

11.85%、「この時間帯が空いていた」27.37%、「教員にひかれて」2.96%、「単位が楽だから」13.47%であった。

特に、「この時間帯が空いていた」という回答の高さが気になる。商学部では学業不振学生への面談指導を積極的に実施しているが、その場で成績不振の理由として「時間帯が空いていたために興味のない科目を履修し、不可という評価になってしまった」と回答する学生が多いと報告されている。履修モデルの重要性を説き、履修指導を徹底する必要がある。

I-5 「質問（オフィスアワー等）」

この項目では、授業時間以外に教員のところへ質問に行くことがあるかどうか（オフィスアワー等）を尋ねている。平均値は1.61（昨年度1.60、一昨年度1.63）となっている。「①全くそう思わない」という回答が71.05%（昨年度69.78%）、「②そう思わない」10.26%（同11.39%）を加えると8割以上の学生が授業時間以外には教員に質問しに行くことがない状況となっている。他方、「④そう思う」5.43%（昨年度4.31%）、「⑤強くそう思う」3.39%（昨年度3.40%）という回答であった。

授業時間内に質問を受け付けている教員や、授業の直後に質問を受けている教員が多い。決して、商学部の学生の質問が少ないわけではない。この質問項目はPBL型授業を前提としているので、質問項目を検討する必要がある。

II-1 「狙いの明確さ」

この項目は、授業の狙いや重要ポイントが明確にされているかを問う質問であり、今年度の平均値は4.10（昨年度4.01、一昨年度3.96）となっている。「⑤強くそう思う」という回答が42.15%（昨年度38.09%）、「④そう思う」という回答が32.43%（昨年度33.65%）であった。「③どちらとも言えない」という回答は20.04%であった。

商学部では教員に対してシラバスを執筆する際に、「シラバスの書き方（ティップス）」を配布している。その効果であろうか、平均値が上昇している。来年度のシラバス執筆のお願いに際しても「シラバスの書き方（ティップス）」を配布しており、来年度も上昇が見込まれる。

II-2 「難易度」（①やさしすぎる、②やややさしい、③ちょうど良い、④やや難しい、⑤難しすぎる）

この項目は、授業の難易度に関する質問である。今年度の平均値は3.42（昨年度3.44、一昨年度3.52）であった。「③ちょうど良い」という回答は57.71%（昨年度56.15%）、「④やや難しい」が30.49%（昨年度31.99%）であった。

平均値はやや低下したが、「ちょうど良い」という評価結果であった。

Ⅱ－３ 「講義要項との進み具合」

この項目は、講義要項に沿って授業が行われているかどうかを問う質問である。今年度の平均値は 4.11（昨年度 4.05、一昨年度 3.97）であった。「⑤強くそう思う」という回答が 40.47%（昨年度 37.12%）、「④そう思う」という回答が 32.69%（昨年度 34.69%）、「③どちらともいえない」という回答が 24.50%（昨年度 25.22%）であった。

平均値が上昇している。これも「シラバスの書き方（ティップス）」の効果であろうか。

Ⅱ－４ 「進度」（①遅すぎる、②やや遅い、③ちょうど良い、④やや速い、⑤速すぎる）

この項目は、授業の進度に関する質問である。今年度の平均値は 3.42（昨年度 3.27、一昨年度 3.34）である。「③ちょうど良い」という回答が 73.78%（昨年度 71.28%）、「④やや速い」という回答が 17.72%（昨年度 20.18%）であった。

平均値がやや上昇したが、「ちょうど良い」という評価結果である。

Ⅱ－５ 「声の大きさ」

この項目は、教員の話し方や声の聞き取りやすさについて質問している。今年度の平均値は 4.20（昨年度 4.14、一昨年度 4.07）であった。

平均値が上昇しており、評価結果が改善している。

Ⅱ－６ 「教材等の効果」

この項目では、教材（教科書、配布資料、パワーポイントなど）が授業内容を理解するのに有効であったかどうかを質問している。今年度の平均値は 4.13（昨年度 3.99、一昨年度 3.91）であった。「⑤強くそう思う」という回答は 45.23（昨年度 39.11%）、「④そう思う」という回答が 29.20%（昨年度 30.67%）であった。

平均値が上昇しており、評価結果が改善している。

Ⅱ－７ 「教室内の雰囲気」

この項目では、教室内在り学習にふさわしい雰囲気に保たれていたかどうかを質問している。今年度の平均値は 4.09（昨年度 4.03、一昨年度 3.96）であった。「⑤強くそう思う」という回答は 43.91%（昨年度 39.77%）、「④そう思う」という回答は 31.60%（昨年度 31.83%）であった。

平均値が上昇しており、評価結果が改善している。

Ⅱ－８ 「宿題・課題」

この項目では、宿題・課題等が適切に出されていたかどうかを質問している。今年度の平均値は 3.87（昨年度 3.78、一昨年度 3.70）であった。

宿題・課題を課さない科目が多いようである。PBL を導入することで上昇すると見られる

が、多くの科目で宿題・課題を課すことで学生が消化不良を起こさないようにしなければならない。PBL型授業の適正な比率を検討する必要がある。

II-9 「理解しやすさ」

この項目では、学生が授業内容をよく理解できたかどうか質問している。今年度の平均値は3.80(昨年度3.75、一昨年度3.62)であった。「⑤強くそう思う」という回答は28.45%(昨年度25.35%)、「④そう思う」という回答は35.69%(昨年度36.11%)であった。

平均値は上昇しているが、まだ4に届かない。この点は来年度の商学部FDの課題となろう。

II-10 「見方・考え方が深まる」

この項目では、授業を通じてものの見方・考え方が深まったかどうかを質問している。今年度の平均値は3.85(昨年度3.76、一昨年度3.68)であった。「⑤強くそう思う」という回答は30.31%(昨年度26.67%)、「④そう思う」という回答は34.59%(昨年度34.53%)であった。

平均値は上昇しているが、まだ4に届かない。この点は来年度の商学部FDの課題となろう。

III 「満足度」

この項目は、授業に対する総合的な満足度を質問している。今年度の平均値は4.06(昨年度4.00、一昨年度3.89)であった。「⑤強くそう思う」という回答は39.51%(昨年度35.97%)、「④そう思う」という回答は34.23%(昨年度34.53%)であった。

平均値は上昇し、4を超えた。しかし、FDの目的あるいはアンケートの目的は満足度の上昇にあるのではない。学生が深く学び、知識やスキルが定着することにつながるなければならない。商学部ではこの考えをもって来年度のFD方針・具体的計画を立てていく。

③教員身分別、学科・コース別集計結果の分析

教員所属別(講義等科目)(1)専任教員所属別と(2)講師(非常勤)所属別のアンケート結果から特徴を記述していく。

I-1の「学生の出席状況」(①40%未満、②40%以上、③60%以上、④80%以上、⑤90%以上)に関して、専任教員4.56、講師4.52であり、あまり差はない。I-2の「ノート・メモ」に関して、専任教員4.13、講師3.86であり、やや差が見られた。I-3の「予習・復習」(①0.5h未満、②0.5h以上、③1h以上、④2h以上、⑤4h以上)に関して、専任教員1.75、講師1.79であり、あまり差はない。I-5の「質問(オフィスアワー等)」に関して、専任教員1.61、講師1.61であり、差は見られなかった。

II-1の「狙いの明確さ」に関して、専任教員4.08、講師4.08であり、差は見られな

った。Ⅱ－２の「難易度」(①やさしすぎる、②やややさしい、③ちょうど良い、④やや難しい、⑤難しすぎる)に関して、専任教員 3.43、講師 3.39 であり、大きな差は見られなかった。Ⅱ－３の「講義要項との進み具合」に関して、専任教員 4.08、講師 4.12 であり、大きな差は見られなかった。Ⅱ－４の「進度」(①遅すぎる、②やや遅い、③ちょうど良い、④やや速い、⑤速すぎる)に関して、専任教員 3.24、講師 3.23 であり、大きな差は見られなかった。Ⅱ－５の「声の大きさ」に関して、専任教員 4.15、講師 4.25 であり、大きな差は見られなかった。Ⅱ－６の「教材等の効果」に関して、専任教員 4.12、講師 4.09 であり、大きな差は見られなかった。Ⅱ－７の「教室内の雰囲気」に関して、専任教員 4.13、講師 4.15 であり、大きな差は見られなかった。Ⅱ－８の「宿題・課題」に関して、専任教員 3.87、講師 3.92 であり、大きな差は見られなかった。Ⅱ－９の「理解しやすさ」に関して、専任教員 3.81、講師 3.87 であり、大きな差は見られなかった。Ⅱ－１０の「見方・考え方が深まる」に関して、専任教員 3.83、講師 3.84 であり、大きな差は見られなかった。Ⅲの「満足度」に関して、専任教員 4.04、講師 4.08 であり、大きな差は見られなかった。

商学部専門科目(コース別)(経営コース 20 科目、経営情報コース 20 科目、流通・マーケティングコース 19 科目、国際ビジネス学科 35 科目、会計学科 38 科目)のアンケート結果から、特徴を記述する。

Ⅰ－１の「学生出席状況」(①40%未満、②40%以上、③60%以上、④80%以上、⑤90%以上)に関して、経営コース 4.54、経営情報コース 4.47、流通・マーケティングコース 4.57、国際ビジネス学科 4.48、会計学科 4.60 であり、ほぼ同じような結果となった。

Ⅰ－２の「ノート・メモ」に関して、経営コース 4.28、経営情報コース 3.47、流通・マーケティングコース 4.07、国際ビジネス学科 3.98、会計学科 4.05 であり、経営情報コースの値がやや低いという結果であった。科目の特徴から、ノートを取る必要がないためであろうか。

Ⅰ－３の「予習・復習」(①0.5h 未満、②0.5h 以上、③1h 以上、④2h 以上、⑤4h 以上)に関して、経営コース 1.67、経営情報コース 1.68、流通・マーケティングコース 1.80、国際ビジネス学科 1.76、会計学科 1.70 であり、ほぼ同じような状況であった。

Ⅰ－５の「質問(オフィスアワー等)」に関して、経営コース 1.56、経営情報コース 1.66、流通・マーケティングコース 1.59、国際ビジネス学科 1.68、会計学科 1.59 であり、ほぼ同じような状況であった。

Ⅱ－１の「狙いの明確さ」に関して、経営コース 4.11、経営情報コース 4.03、流通・マーケティングコース 4.12、国際ビジネス学科 4.10、会計学科 4.06 であり、ほぼ同じような状況であった。

Ⅱ－２の「難易度」(①やさしすぎる、②やややさしい、③ちょうど良い、④やや難しい、⑤難しすぎる)に関して、経営コース 3.37、経営情報コース 3.52、流通・マーケティングコース 3.30、国際ビジネス学科 3.47、会計学科 3.56 であり、経営情報コースと会計学科

がやや難しいという結果であった。

Ⅱ－３の「講義要項との進み具合」に関して、経営コース 4.09、経営情報コース 4.03、流通・マーケティングコース 4.09、国際ビジネス学科 4.13、会計学科 4.14 であり、国際ビジネス学科と会計学科の結果がやや良かった。

Ⅱ－４の「進度」(①遅すぎる、②やや遅い、③ちょうど良い、④やや速い、⑤速すぎる)に関して、経営コース 3.18、経営情報コース 3.32、流通・マーケティングコース 3.23、国際ビジネス学科 3.25、会計学科 3.30 であり、ほぼ同じような状況であった。

Ⅱ－５の「声の大きさ」に関して、経営コース 4.22、経営情報コース 4.23、流通・マーケティングコース 4.13、国際ビジネス学科 4.27、会計学科 4.13 であり、流通・マーケティングコースと会計学科の結果がやや低かった。

Ⅱ－６の「教材等の効果」に関して、経営コース 4.09、経営情報コース 4.15、流通・マーケティングコース 4.13、国際ビジネス学科 4.23、会計学科 4.01 であり、会計学科と経営学科がやや低い結果であった。

Ⅱ－７の「教室内の雰囲気」に関して、経営コース 4.06、経営情報コース 4.07、流通・マーケティングコース 4.03、国際ビジネス学科 4.21、会計学科 4.19 であり、国際ビジネス学科と会計学科がやや高い結果であった。

Ⅱ－８の「宿題・課題」に関して、経営コース 3.78、経営情報コース 3.92、流通・マーケティングコース 3.94、国際ビジネス学科 3.87、会計学科 3.81 であり、経営情報コースと流通・マーケティングコース、国際ビジネス学科の結果がやや良かった。

Ⅱ－９の「理解しやすさ」に関して、経営コース 3.82、経営情報コース 3.69、流通・マーケティングコース 3.94、国際ビジネス学科 3.83、会計学科 3.64 であり、経営情報コースと会計学科の結果がやや良くなかった

Ⅱ－１０の「見方・考え方が深まる」に関して、経営コース 3.87、経営情報コース 3.75、流通・マーケティングコース 3.94、国際ビジネス学科 3.95、会計学科 3.60 であり、会計学科の結果がやや良くなかった。

Ⅲの「満足度」に関して、経営コース 4.07、経営情報コース 3.97、流通・マーケティングコース 4.12、国際ビジネス学科 4.09、会計学科 3.94 であり、経営コースと会計学科の結果がやや良くなかった。

学生所属別平均値・標準偏差（講義科目）（経営学科回答件数 6,170、国際ビジネス学科回答件数 2,229、会計学科回答件数 1,159）のアンケート結果から、学科別満足度（平均値）に関して特徴を記述する。経営学科所属の学生が回答した平成 23 年度から 27 年度までの満足度をみると、3.75→3.86→3.91→4.00→4.02 と推移し上昇している。同様に、国際ビジネス学科所属の学生が回答した満足度は、3.80→3.88→3.93→4.07→4.03 と推移しており、昨年度からやや下降した。会計学科所属の学生が回答した満足度は、3.83→3.82→3.88→3.94→4.04 と推移し上昇している。

(3) 今後の課題

これら 2 つの満足度調査から次のことがわかる。経営学科所属の学生の今年度の満足度は 4.02 であるが、経営情報コースの専門科目に対する満足度が 3.97 であり、経営学科としては経営情報コースの専門科目の満足度を上げる必要がある。同様に、会計学科所属の学生の満足度は 4.04 であるが、会計学科の専門科目に対する満足度は 3.94 であり、会計学科としては専門科目の満足度を上げる必要がある。国際ビジネス学科所属の学生の満足度は 4.03 であるが、国際ビジネス学科の専門科目の満足度は 4.09 であり、専門科目以外の科目に対する満足度を上げる必要がある。

商学部では来年度、FD 活動の方針として各学科・コースにおいてゼミナール教育をより充実し、適正な比率で PBL 型授業を導入したい。このような教授団（ファカルティ）の工夫によって、学生が学修に関心を持ち、積極的に学修することで自分の学修態度に対する満足度を上げ、深く学んで最終的にはビジネスシーンで実際に役立つ知識とスキルを身につけてもらいたい。

以 上

2. 政経学部

(1) 実施状況

教員の授業改善に役立たせることおよび本学の教育の質の向上を図ることを目的として、2015年11月16日から12月22日までを実施期間（予備日として、2016年1月6日から1月12日）として、授業改善のための学生アンケートを行った。なお、対象科目は、各専任教員の担当科目のうち、履修登録者数の多い科目（原則として履修登録者20名以上のもの）の中から2科目程度を選択し実施することとし、講師（非常勤）の場合は、1科目以上とするというものである。

政経学部専任教員49名の実施率は、100パーセント、また、政経学部所属非常勤講師113名の実施率は、同じく100パーセントであり、FD活動の意義が学部教員において完全に理解されているものと評価することができる。また、アンケート調査の実施科目数は、専任教員担当分で112科目、また講師(非常勤)全体では171科目であった。従って、アンケート対象となった科目総数は283となる。

学生のアンケート回答数（延べ人数）は、1年生が3,875人（2014年度は3,010人、2013年度は3,116人）、2年生が2,917人（2014年度は2,446人、2013年度は3,450人）、3年生が2,426（2014年度は2,415人、2013年度は3,047人）、4年生が933（2014年度は916人、2013年度は1681人）であった。学年を回答しなかった34人を含めて合計10,185人（2014年度は8,815人、2013年度は11,330人）の学部学生がアンケートに回答したことになる。

(2) 集計結果の分析

①概要

(a) まず、政経学部専門科目の過去4年間の数字と平均値を以下に列挙する。

	2012 後期	2013 前期	2014 後期	2015 後期		
学生の姿勢						
出席状況	4.45	4.43	4.42	4.41		
ノート	3.97	3.97	3.94	3.97		
予習・復習	1.72	1.69	1.63	1.69		
授業外質問	1.53	1.54	1.51	1.51		
授業内容						
					2015-14	2015-12 平均
狙いの明確さ	4.03	3.91	4.03	4.01	-0.02	3.99
講義要項	4.08	4.00	4.06	4.04	-0.02	4.04

話し方	3.97	4.04	4.13	4.13	±0	4.06
教材等	4.02	3.93	4.05	4.03	-0.02	4.00
教室の雰囲気	4.19	4.02	4.13	4.04	-0.09	4.09
宿題・課題	2.40	3.59	3.69	3.74	+0.02	3.35
理解の程度	3.63	3.58	3.73	3.73	±0	3.66
考え方の深化	3.70	3.70	3.81	3.79	-0.02	3.75
満足度	3.43	3.86	4.02	4.00	-0.02	3.82
授業の難易度	3.46	3.51	3.44	3.44	±0	3.46
授業の進度	3.21	3.27	3.23	3.25	-0.02	3.24

※「授業の難易度」と「授業の進度」を除き、5 強く思う、4 そう思う、3 どちらとも言えない、2 そう思わない、1 全く思わない。

※「授業の難易度」は、5 難しすぎる、4 やや難しい、3 ちょうど良い、2 やややさしい、1 やさしすぎる。「授業の進度」は、5 速すぎる、4 やや速い、3 ちょうど良い、2 やや遅い、1 遅すぎる。

(b) この表から、授業内容について、単純に、以下の点を指摘することができる。

・昨年度と比べて改善した項目

「宿題・課題」。

・昨年度と同じポイントだった項目

「話し方」、「理解の程度」、「授業の難易度」。但し、2012 年度から 2015 年度の平均と比較したときには、「話し方」、「理解の程度」は、ポイントが上昇し、「授業の難易度」は、やや難しいとちょうど良いとの間でほぼ一定している。

・昨年度よりも下がった項目

「狙いの明確さ」、「講義要項」、「教材等」、「教室等の雰囲気」、「考え方の深化」、「満足度」。

このうち、2012 年度から 2015 年度の平均と比較したとき、ポイントが下がっているのは、「教室等の雰囲気」だけである。

・「授業の進度」については、やや速いとちょうど良いとの間でほぼ一定している。

(c) もとより、統計上言えることは、全体の傾向であって、個別の特殊事情を反映するものではない。また、授業内容の評価について言えば、評価主体が毎年変わるという問題を無視することはできず、学生側の要因も考慮しなければ、正確な評価を下すことはおよそ不可能である。従って、あまり細かな数字の変動に一喜一憂することには特段の意味を見出し得ないように思われる。しかし、FD 活動とは、教員自らが不断に自己の教育能力を顧み、授業力を高めることによって、学生の学習意欲と学習能力の向上を図ることを目的

とするものであるから、全体の傾向として、授業内容について学生の評価が下がっている項目については、教員として、これを真摯に受け止める必要がある。なお、いずれの項目についても、5段階で評価がなされているところ、平均値が4.00を超える項目は、それ自体、一定の評価に値すると言えるであろうことも付言する必要があるだろう。

②個別項目

(a) 学生の姿勢

I-1 「学生の出席状況」

授業に80%以上出席しているとの回答は85.68パーセントであった。2014年度の86.32%、2013年度の86.10%、2012年度の86.71%と比較して、遜色のない数字である。アンケート回答者の8割5分以上の学生が8割以上、授業に出席しているということになる。

政経学部では、既に学部の方針に沿って、各教員が可能な限り出席を採るよう努めているが、それとは別に、学生の自覚を高め、出席への動機付けを与える工夫が必要である。なお、アルバイトや就職活動、部活動等、学生の出席状況を阻害する要因があるとすれば、全学的な考察が求められるであろう。

I-2 「ノート・メモをとっているか」

「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた数字は、69.99%であった。なお、2014年度は69.54%、2013年度は70.62%、2012年度は71.86%であった。他方、「そう思わない」と「全くそう思わない」の合計は、10.12%であり、2014年度の11.68%、2013年度の10.44%、2012年度の10.62%と比較すると減少している。

授業によっては、毎回、レジュメを配布するものもあるなど、ノートやメモを取らない理由には様々なものが考えられる。しかし、本学部の学生の実情に鑑みると、少なくとも、「そう思わない」と「全くそう思わない」と答えた学生の数字をさらに減少させることが必要であろう。

I-3 「どのくらいの予習・復習をしているか」

今年度の数字は、4時間以上(=5)が3.38%、2時間以上(=4)が3.26%、1時間以上(=3)が11.81%、30分以上(=2)が21.60%、30分未満(=1)が59.94%であった。なお、政経学部の平均1.68を文系他学部と比較すると、商学部は1.74、外国語学部は1.97、国際学部は2.19であった。

一般的に言って、予習・復習の時間数が少ないことは、それだけ理解の定着が損なわれるものと考えられるから、少しでも授業時間外の学習時間を増やすよう指導する必要がある。

I-4 「受講した動機 (複数回答可)」

「講義要項を読んで興味を持った」は、2015年度が27.29%、2014年度が28.14%、2013年度が32.39%、2012年度が32.25%。「教員にひかれて」は、同14.59%、13.82%、12.84%、13.22%。「単位が必要」は、同37.43%、36.82%、36.41%、34.08%。「単位取得が楽」は、同3.94%、3.55%、2.03%、2.91%。「時間帯が空いていた」は、同16.75%、17.67%、16.33%、17.53%。

この項目では、講義要項の役割が低下していることが気になる。教員には講義要項の内容を毎年度、精査することが求められるが、他方、学生に対しても、履修手続の際に、講義要項の内容を参照するようさらなる指導が必要であろう。

I-5 「授業時間外の教員への質問」

「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた数字は、7.04%であった。他方、「そう思わない」と「全くそう思わない」の合計は、83.82%であり、2014年度の83.51%、2013年度の82.27%、2012年度の83.09%と比較すると、ほぼ同じような数字であった。

本学部では、全教員がオフィス・アワーを設けている。学生教員比率の高い本学部においては、授業時間以外の教員との接触をより活性化し、人間関係をより一層緊密にすることがより良い教育を行う要因となるとの観点から、オフィス・アワーの意義を周知徹底する必要がある。

(b) 授業内容

II-1 「授業の狙いは明確か」

「強くそう思う」と「そう思う」と回答した者の割合は、2015年度が71.46%、2014年度が71.98%、2013年度が68.52%、2012年度が73.44%、2011年度が68.30%であった。

授業の狙いは、講義要項に明確に示されるが、各教員は、それに沿った授業を展開する必要がある。他方、学生側にも、問題意識を明確に持ち、その授業から何を得るのかを自覚的に追及する姿勢が求められよう。

II-2 「授業の難易度」

「ちょうど良い」との回答が55.44%であり、2014年度の55.18%、2013年度の51.26%、2012年度の53.87%から増加する傾向にある。他方、「難しすぎる」と「やや難しい」を合わせた割合は40.72%であり、2014年度の40.94%、2013年度の45.26%、2012年度の42.31%から着実に減少している。

学生の能力に見合った授業を行うことは、今日の大衆化した大学において教育を行う際の最も重要な要素の一つであるものと考えられる。その観点からすると、「ちょうど良い」との回答が増加していることは、望ましいものと評価することができる。しかし、なお、難しいと感じる学生が4割程度存在することは、授業を行う上で、留意しなければならないであろう。

Ⅱ－３ 「講義要項に沿って授業が行われているか」

2015年度の項目全体の平均値は、4.04であり、2014年度の4.06、2013年度の4.00、2012年度の4.08と同様、高い数値を保っている。なお、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた回答の割合は、2015年度が70.66%、2014年度が71.86%、2013年度が69.40%、2012年度が73.49%であった。また、「全くそう思わない」と「そう思わない」の合計は、2015年度が2.64%、2014年度が2.42%、2013年度が3.19%、2012年度が2.37%であった。

Ⅱ－４ 「授業の進度」

「ちょうど良い」は、2015年度が72.00%、2014年度が71.90%、2013年度が70.26%、2012年度が73.23%であった。「速すぎる」と「やや速い」を合わせた回答は、同24.05%、23.49%、25.93%、22.12%、「やや遅い」と「遅すぎる」は、同3.95%、4.61%、3.81%、4.66%であった。

授業の適切な進度が学生のより良い理解に資することは言うまでもない。数字としては、概ね良好と考えるが、学部教員の一層の努力が望まれよう。

Ⅱ－５ 「聞き取りやすいか」

「強くそう思う」と「そう思う」の合計は、2015年度が75.19%、2014年度が75.41%、2013年度が72.43%、2012年度が75.30%であった。

授業で教員が何を言っているのかがわからなければ、授業に出る効果は減じられ、ひいては出席そのものが覚束なくなる。ここでも教員の一層の努力が求められる。

Ⅱ－６ 「教材等は授業の理解に有効か」

「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた数字は、2015年度が70.24%、2014年度が72.05%、2013年度が67.15%、2012年度が73.35%であった。7割前後で推移している。更なる努力が求められよう。

Ⅱ－７ 「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」

この設問に「強くそう思う」と「そう思う」と回答した者を合わせた数字は、2015年度が76.85%、2014年度が75.84%、2013年度が71.57%、2012年度が75.23%であった。他方で、「全くそう思わない」と「そう思わない」と答えた不満組は、2015年度が6.78%、2014年度が5.29%、2013年度が6.36%、2012年度が6.70%であった。

授業に出席している学生に対して、少しでも良好な教育環境を維持することは、授業を担当する各教員の重大な責務であると言えよう。私語等がないように注意を払い、やる気のある学生の意欲を削ぐことがないよう最善の努力をすべきである。

Ⅱ－８「宿題・課題が適切か」

「強くそう思う」と「そう思う」を合わせた回答の割合は、2015年度が55.70%、2014年度が53.49%、2013年度が49.17%、2012年度が47.95%であり、一貫して上昇している。教員の間で、宿題・課題を与えて、授業時間以外の学習を促そうとする工夫が広く行われるようになってきていることの表れであろうと考えられる。

Ⅱ－９「理解しやすいか」

項目全体の平均値をみると、2015年度が3.72、2014年度が3.73、2013年度が3.58、2012年度が3.63であった。妥当なレベルであると考えられる。

また、「強くそう思う」あるいは「そう思う」と答えた「理解しやすかった」と評価している学生層の割合は、2015年度が60.00%、2014年度が61.66%、2013年度が54.76%、2012年度が57.16%であった。教員による授業改善努力の表れと評価できよう。

Ⅱ－１０「見方・考え方が深まる」

「強くそう思う」と「そう思う」と回答した者は、2015年度が62.18%、2014年度が63.99%、2013年度が59.02%、2012年度が60.40%であった。

6割強の学生が授業を通じてものの見方や考え方が深まったと答えていることになる。これは、教員が、学生の知的好奇心を刺激し続ける授業を工夫していることの表れであろうと考えられる。他方、「全くそう思わない」と「そう思わない」との回答は、2015年度が7.66%、2014年度が7.21%、2013年度が9.64%、2012年度が9.87%と低位で推移している。

Ⅲ「総合的な満足度」

この設問に「強くそう思う」と「そう思う」と答え、授業満足度が高い学生の割合はあわせて71.47%であった。2014年度の73.37%、2013年度の66.19%、2012年度の69.86%と比較すると、概ね上昇傾向にあるものと考えられる。7割強の学生が、政経学部の専門科目の授業内容に満足しているとの結果が得られていることは、一定の評価に値するものと思われる。

他方、2015年度の平均値を文系他学部と比較すると、政経学部は4.00であるのに対して、商学部は4.06、外国語学部は4.12、国際学部は4.12となっている。この差異をどのように説明するかは、多面的な考察を要するものと思われるが、一般に、満足度は、授業の規模（履修登録者数）によっても影響を受けるとの指摘もあるところである。そうであるとする、政経学部は他学部と比べて、特に、教員あたりの学生数が多く、大規模授業が多くなる傾向があり、その中で満足度を改善していくことはより一層の努力を要するであろうと考えられる。

(3) 今後の課題

過去のアンケート結果との比較から、授業内容について、昨年度より数字の下がった項目が7つ、同じだった項目が3つある。各教員においては、この結果を真摯に受け止め、来年度に向けて、授業改善を図ってゆく必要がある。もっとも、過去4年間の傾向を考慮すると、「教室等の雰囲気」については、全体として数字の悪化が特に目立っている。「教室の雰囲気」（「教室内は学習にふさわしい雰囲気に保たれていますか」）の数字が次第に悪化する傾向にあるということは、大変由々しい問題である。文京キャンパスへの移転に伴い、学部を挙げて学生の学士力向上のための様々な取り組みが図られているところ、肝心の教室の雰囲気が学習にふさわしくないというのでは、大学教員としては恥ずべきことであろう。学部教員の注意を喚起し、教室の学習環境を向上させる方策を工夫する取り組みが学部として求められるところである。また、昨年度よりも数値の悪化している「狙いの明確さ」、「講義要項」についても、各年度の初めに、シラバスの内容を再確認し、求められる教育内容を講義要項に正しく記載し、その周知徹底に努めることが肝要である。なお、「宿題・課題」について、過去4年間、数字が一貫して向上していることは、教員の意識改革の表れとして、これを高く評価することができるであろう。

学部および大学の評価は、いかに学生を育てることができるかにかかっている。授業の内外を通じて学生から寄せられる声を真摯に受け止め、学部および大学として、学生の期待に応えられる教育を行い、また、教育環境を整備することが求められる。学部の全教員とともにFD活動の意義を再確認し、今後ともより良い授業を行うために各種FD活動を役立てることとしたい。

以 上

3. 外国語学部

(1) 実施状況について

今年度「授業改善のための学生アンケート」を実施した外国語学部教員は、専任教員（特別非常勤講師を含む）が40名、講師(非常勤)が40名であった。実施率は、専任教員、講師(非常勤)ともに100%であった。例年、100%あるいは100%に近い実施率が続き、外国語学部教員の中にFD活動への積極的な意識が根付いていると言える。

実施科目数は、専任教員は75、講師(非常勤)は75で、合計150であった。その内訳は、外国語学部専門科目が94、国際学部専門科目が1、政経学部専門科目が1、教養科目・総合教育科目が8、外国語科目が36、教職・社教・日語科目が6、ゼミ・外書講読が4である。

アンケート回答数（延べ人数）は、1年が1,196名、2年が769名、3年が306名、4年が129名、無回答（学年・学科を記していないもの）が17名で、合計2,417名であった。

(2) 集計結果とその分析

① 学科目別（講義等科目）

大学全体の集計結果と比較しながら、外国語学部の集計結果を見てみよう。

「外国語学部専門科目」に対する評価を設問項目別に数値で見えていくと、次のようなことがわかる。

I-1 「学生の出席状況」の平均値は4.58で、大学全体の中で2番目に高い数値である（1位は工学部専門科目）。

I-2 「ノート・メモ」の平均値は3.88で、大学全体の平均値3.89とほぼ同水準である。この数値は、大学生として十分とは言えないだろう。

I-3 「予習・復習」の平均値は1.97で、大学全体の中では最も高い方であるが、外国語の習得を志す学生としては不十分であろう。また、この4年間数値が下がり続けているのも問題である。

I-5 「質問（オフィスアワー等）」は1.59で、大学全体の平均値1.61よりやや低い。外国語学部の学生は、疑問点が生じれば、オフィスアワーを待たず、すぐ教室の中で質問して解決しようとするからであろう。

II-1 「狙いの明確さ」は4.13で、大学全体の中では「ゼミ・外書講読」「教職・社教・日語科目」の次に高い評価を受けている。

II-3 「講義要項との進み具合」は4.19で、これも「狙いの明確さ」同様、大学全体の中では3番目に高い。

II-5 「声の大きさ」は4.26で、大学全体の中では3番目に高く、この5年間安定して高い数値を示している。

II-6 「教材等の効果」は4.16で、これも大学全体の中では3番目に高い。

II-7 「教室内の雰囲気」は4.17で、これも大学全体の中では3番目に高い。

II-8 「宿題・課題」は 4.00 で、「ゼミ・外書講読」「外国語科目」に次ぐ数値となっている。

II-9 「理解しやすさ」は 3.99 で、これも大学全体の中で 3 番目に高い。

II-10 「見方・考え方が深まる」は 3.87 で、大学全体の中では 4 番目である。

III 「満足度」は 4.12 で、「ゼミ・外書講読」「教職・社教・日語科目」に次いで大学全体の中では 3 番目に高い。

II-2 「難易度」と II-4 「進度」は、上記の項目と異なり、評価が 3 になる回答が好ましいと判断されるが、それぞれ、3.33 と 3.22 であり、大学全体の平均値よりも 3 に近い良好な数値となっている。

以上の集計結果により、外国語学部の教育にとって特に重要だと思われる項目、「狙いの明確さ」「声の大きさ」「教材等の効果」「教室内の雰囲気」「理解しやすさ」などは、学生たちから比較的高い評価を受けていることがわかる。

また、さまざまなレベルの学生がいるため、高い評価を受けるのが難しいと思われる「難易度」と「進度」についても、概ね良好な評価を得ている。

総合評価とも言える「満足度」も 4.12 で良好な数値ではあるが、教員としてはさらに「満足度」を上げる努力を怠ってはならないだろう。

②教員所属別評価

専任教員に対する評価

専任教員に対する評価では、「狙いの明確さ」「講義要項との進み具合」「声の大きさ」「教材等の効果」「教室内の雰囲気」「宿題・課題」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」の 8 項目すべてにおいて、大学全体の中で最も高い評価を受けている。

また、「難易度」「進度」はそれぞれ 3.32、3.21 で、大学全体の平均よりも 3 に近く、良好な評価を受けていると言えよう。

「満足度」の平均値は、大学全体の中で最も高い数値 4.24 となっている（平均は、4.04）。

講師（非常勤）に対する評価

「狙いの明確さ」「教室内の雰囲気」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」などの項目が大学全体の平均値をやや下回っており、「難易度」「進度」については大学全体の平均よりも 3 から離れている。

「満足度」は 3.88 で、大学全体の平均 3.94 より低い。

専任教員の授業への評価がこの数年高くなっているのに比べ、講師（非常勤）の授業への評価は大学全体の中でやや低い位置にあるようである。大学全体でも、専任教員の方が講師（非常勤）より満足度が高くなっているが、外国語学部ではその傾向が若干強く現れていると言える。今後も、専任教員と講師（非常勤）は連携を密にしながら、より効果的な外国語教育ができるよう、さらに努力を重ねていかなければならないだろう。

③学生所属別評価（講義科目）

学科別の分析

講義科目に関する学生アンケートの回答を学科別に見てみよう。

I-1 「学生の出席状況」

学科別の平均値は、英米語 4.65、中国語 4.44、スペイン語 4.48 で、出席状況は概ね良好に見えるが、外国語習得のためにはもっと積極的な出席が必要であろう。

I-2 「ノート・メモ」

学科別の平均値は、英米語 3.94、中国語 3.69、スペイン語 3.81 で、大学全体の中ではほぼ平均の数値である。昨年度と比較すると、英米語は数値が上昇し、中国語とスペイン語はやや低くなっている。ノートやメモの取り方を授業内にもっと指導する必要があるように思える。

I-3 「予習・復習」

学科別の平均値は、英米語 1.82、中国語 1.82、スペイン語 1.91 で、大学全体の中では高い。しかし、外国語学部の学生たちは、他学部の学生たちよりずっと予習・復習に時間をかけるべきであり、さらに指導が必要であると思われる。

I-5 「質問（オフィスアワー等）」

学科別の平均値は、英米語 1.37、中国語 1.76、スペイン語 1.59 であった。昨年度に続き、中国語が、学内で一番高い数値を示している。英米語は大学全体の平均値より低くなっているが、おそらくオフィスアワーではなく、授業内もしくは授業直後に質問する学生が多いからであろう。

II-1 「狙いの明確さ」

英米語 4.07、中国語 3.99、スペイン語 4.09 で、良好である。

II-3 「講義要項との進み具合」

昨年度も高い数値だったが、今年度も英米語 4.13、中国語 4.21、スペイン語 4.18 で、いずれも良い評価を受けている。特に、中国語とスペイン語は、学内の 1 位と 2 位である。外国語学部では、引き続き適切な授業運営が行われていると言える。

II-5 「声の大きさ」

外国語学部が、毎年特に高い評価を受けている項目である。今年度は、英米語 4.24、中国語 4.31、スペイン語 4.14 であった。中国語は昨年度より 0.24 ポイント上昇した。

II-6 「教材等の効果」

この項目も、毎年比較的高い評価を受けている。今年度は、英米語 4.14、中国語 4.10、スペイン語 4.09 であった。英米語は、これで 4 年連続学内の 1 位を占めたことになる。

II-7 「教室内の雰囲気」

この項目も、最近 5 年間安定した高い数値を示している。今年度は、英米語 4.10、中国語 4.12、スペイン語 4.11 であった。

II-8 「宿題・課題」

平成 25 年度以降徐々に数値が高くなり、今年度は、英米語 3.91、中国語 4.02、スペイン語 3.97 であった。中国語の数値が大きく上昇している。語学学習が主となる外国語学部としては、さらに高い評価が必要であろう。

II-9 「理解しやすさ」

この項目でも、外国語学部は毎年比較的高い評価を受けている。今年度の平均値は、英米語 3.91、中国語 3.90、スペイン語 3.97 だった。

II-10 「見方・考え方が深まる」

学科別の平均値は、英米語 3.82、中国語 3.83、スペイン語 3.84 で、最近 5 年間同様な数値が付けられている。

III 「満足度」

この項目も最近 5 年間安定した評価が得られている。今年度の学科別の平均値は、英米語 4.03、中国語 4.13、スペイン語 4.15 だった。スペイン語学科の満足度は昨年に続き学内トップだったが、これは、初年次教育をはじめ、いくつものきめ細かい指導が、学生たちに好ましい印象を与えていると考えていいだろう。

「満足度」という項目は、授業に対する総合評価でもあるので、外国語学部の教育は学生たちから概ね良い評価を得ていると言える。

II-2 「難易度」

今年度の学科別の平均値は、英米語 3.35、中国語 3.40、スペイン語 3.30 だった。最も適切だと考えられる数値 3 から大きく逸脱しない結果となり、三学科とも概ね良好な評価を得ている。

II-4 「進度」

今年度の学科別の平均値は、英米語 3.18、中国語 3.26、スペイン語 3.21 だった。最も適切だと考えられる数値 3 に近く、三学科とも良好な評価を得ている。

④授業に対する学生の満足度

設問項目別に見た「外国語学部専門科目」に対する満足度

それぞれの設問に対し、学生たちは段階で評価している（最高値は⑤、ただし「難易度」と「進度」は③が適切）。どの項目で、満足のいく数値⑤や④が多くつけられているだろうか。

I-1 「学生の出席状況」は、⑤が 67.33%と最も多く、次いで④の 23.51%となっている。

I-2 「ノート・メモ」は、⑤が 39.59%と最も多く、次いで④の 26.73%となっている。昨年度より、⑤④と回答した数値がともに増えている。

I-3 「予習・復習」は、①が 45.97%と最も多く、次いで②の 24.59%となっている。

I-4 「受講した動機」は、③「単位が必要だから」が 58.33%と最も多く、次いで⑤「時間帯が空いている」の 22.10%となっている。

I-5 「質問（オフィスアワー）」は、①が 70.09%と最も多く、次いで②の 11.97%とな

っている。

II-1 「狙いの明確さ」は、⑤の 44.26%が最も多く、次いで④の 32.24%となっている。

II-2 「難易度」は、③の 60.50%が最も多く、次いで④の 28.35%となっている。

II-3 「講義要項との進み具合」は、⑤の 45.57%が最も多く、次いで④の 31.12%となっている。

II-4 「進度」は、③の 72.90%が最も多く、次いで④の 18.07%となっている。

II-5 「声の大きさ」は、⑤の 54.36%が最も多く、次いで④の 25.31%となっている。

II-6 「教材等の効果」は、⑤の 47.14%が最も多く、次いで④の 31.11%となっている。

II-7 「教室内の雰囲気」は、⑤の 46.12%が最も多く、次いで④の 30.73%となっている。

II-8 「宿題・課題」は、⑤の 39.73%が最も多く、次いで④の 29.87%となっている。

II-9 「理解しやすさ」は、④の 37.01%が最も多く、次いで⑤の 35.26%となっている。

II-10 「見方・考え方が深まる」は、⑤の 32.85%が最も多く、次いで④の 32.38%となっている。

II の 8 項目（⑤が最高値）のうち 7 項目で⑤が最も多く回答されており、残る 1 項目も⑤と④で 72.3%であることがわかる。

III「満足度」は、⑤の 45.74%が最も多く、次いで④の 29.87%となっている。

以上のことから、外国語学部全体としては、多くの項目で概ね良好な評価を得ていることがわかる。

⑤学部設問項目

昨年度同様、今回のアンケートに外国語学部が独自に入れた設問項目は、次の 2 つである。

IV-1 「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」

IV-2 「このクラスの学生数は適切ですか」

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では 4.40、講師（非常勤）の授業では 4.12 の数値であった。いずれも良好だと言える。

「このクラスの学生数は適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では 4.38、講師（非常勤）の授業では 4.02 であった。こちらは昨年度より若干下がっているが、概ね良好な結果と言えよう。

これら 2 項目は、少人数教育を中心とした外国語の授業で効果的に授業が行われる環境が整っているかどうかをチェックする重要な設問であるが、今年度も学生側からは一応満足できる評価が得られていると考えられる。

(3) 授業改善に向けての今後の課題

以上、「平成 27 年度授業改善のための学生アンケート」の集計結果を分析してきたが、今年度も外国語学部の数値は全般にわたって比較的安定した高い水準を維持していると言える。

声の大きさ、理解しやすさ、狙いの明確さなど、外国語教授法の基本となる部分について、教員たちが工夫を重ね、それぞれの授業の中で実践し続けていることが、学生たちから良い評価を受けることにつながっていると思われる。

少人数の授業が比較的多い外国語学部の授業では、授業時間内だけでなく、休み時間を利用して研究室に足を運び、教員の指導を受けている学生の姿は以前からよく見かけられる。しかし、その一方で、I-5「質問(オフィスアワー等)」の平均値はあまり高くはない。一部の学生はよく質問するが、それが全体的な流れになっていないということも考えられる。より多くの学生が自発的に学べるような環境をさらに整えていく必要があるだろう。

外国語学部の学生の満足度が高いのは、授業中だけでなく、留学相談、資格試験対策、就活相談、外国語弁論大会など、多方面で懇切丁寧な教育指導が行われていることとも関連があるだろう。今後も、教室内外でこうしたきめ細かな指導を続けることが、学生たちの力をさらに伸ばすことにつながるはずである。

現在、外国語学部が抱える最も大きな課題は、年々広がる学力差を前にして、どのように効果的な授業を行うかである。それに対応するために、授業の工夫が以前にも増して求められている。外国語学部では、能力別のクラス編成によって、より学習効果が上がる体制は三学科とも一応整っている。しかし、それだけでは十分でなく、教員たちは絶えず学生の学習到達度を細かくチェックする必要があり、教員間の連携も重要である。

学生たちの学力差の問題は、今後も続くと思われる。さまざまな学習到達度の学生が混在する授業では、授業の内容や進め方について新たな試みが必要かもしれない。

来年度もさらに試行錯誤しながら、よりよい教育の実践に努めたい。

以上

4. 工学部

(1) 授業アンケートの実施状況

昨年度と同様に後期（平成27年11月16日～12月22日、予備日：平成28年1月6日～1月12日）に実施した。1年生にとっては初めての授業アンケートであるが、例年通り、順調に実施することができた。

実施教員数は、専任教員55名中55名全員（特別非常勤講師含む）、講師（非常勤）49名中49名全員であり、これまで通り100%の実施率であった。

履修登録者数が20名以上のものを実施対象科目とした結果、実施科目数は160科目、アンケート回答数（延べ人数）は6,003名であった。実施科目数は昨年度よりも9科目少なく、アンケート回答数（延べ人数）は35名程減少した。

後期科目は履修者数が前期科目に比べて少ないことや、履修登録単位制限が影響しているものと考えられるが、今年度は授業アンケートの実施時期が11月16日からで、中間試験期間を過ぎた時期での実施であったことからアンケート回答数の減少に反映されたと言える。過去に中間試験期間に実施したところ、出席率が高く回答数が多かったことがある。

学生アンケートを実施した160科目の内訳は専門（講義）科目が91科目、専門（実験・実習・演習）科目が29科目、教養科目が8科目、外国語科目が26科目、スポーツ・トレーニング科目が2科目、教職科目が4科目である。昨年度と比較すると、専門科目（講義科目）が12科目減少し、実験・実習・演習科目が2科目増加した。

実施率が100%で推移していることは、授業改善に役立つデータを得る有効な手段として「学生によるアンケート」が定着していることを示している。今後もアンケートの分析結果を具体的にいかに授業改善に結びつけるかが重要であるが、昨年度、今年度と後期開講科目を対象に授業アンケートを実施したことから、授業改善結果を検証できるだけの資料が揃ったと考える。

以下、全体集計結果に基づき、工学部の専門科目に対する授業アンケート結果を分析し、所見を述べ、実施目的が達成できたかという視点から今後の課題を指摘して総評としたい。

(2) 全体集計結果に基づく授業アンケート結果の分析

工学部の卒業生はほとんどが製造関係や技術分野のサービス業に就職するため、在学中から技術者としての実践力養成が重要となる。そのため工学部の専門科目（学科別専門科目と基礎専門科目）には、実験・実習・演習科目が多い。以下、昨年度までと同様に、各アンケート項目について考察する。

I. 受講の姿勢や動機

ほとんどのアンケート項目について改善が見られる。一方、受講の動機は「単位が必要」という理由の次が「時間が空いていたから」との回答が多く、講義内容をシラバスで確認

して履修する学生が今なお少ない状況は変化がない。全学的な傾向であるが、学生自ら積極的に科目を選んで履修するよう指導していく必要がある。

① 学生の出席状況（設問 I - 1）

工学部専門科目（講義）では昨年度と同じく4.66で変化なく、これは一昨年度とも同じで全学で最も高い値である。学科別では、機械システム工学科が4.73で昨年度よりも+0.01、電子システム工学科が4.72で昨年度よりも-0.01、情報工学科が4.55で昨年度より-0.02、デザイン学科が4.49で昨年度よりも-0.01であり、余り変化がない。

② ノート・メモ（設問 I - 2）

講義に来てノートやメモを取らない学生がしばしば見受けられる。工学部専門科目（講義）で3.62という値で、昨年度と変化なかった。学科別では機械システム工学科が3.82と最も高く、デザイン学科が3.46で最も低かった。昨年度に最も低かった情報工学科は3.49で昨年度よりも下がっており、低下傾向が続いている。

なお、工学部のメディア学系（情報工学科・デザイン学科）の授業では、ノートPCと液晶プロジェクタを使用し、パワーポイントを使って説明することが多い。また、授業で使用したスライドをBbで見られるようにするなどの支援をしていることから、ノートそのものを取る必要がないために、低い値に留まったとも言える。

③ 予習・復習（設問 I - 3）

予習や復習に取り組む学生はまだまだ少ないが、昨年度よりもわずかであるが改善されている。工学部専門科目（講義）では1.79という値で、昨年度よりも+0.04改善された。学科別では機械システム工学科が1.74で昨年度よりも+0.11と改善幅が最も大きく、昨年度最も高かったデザイン学科は1.86で昨年度よりもさらに+0.07改善されており、工学部全体で改善傾向が見られる。学生の授業への取り組み姿勢が悪くなった時期があるが、入学試験の志願者数の増加に伴って入学してくる学生の基礎学力が少しずつ良くなっていることと関係があるかも知れない。

今後、単位制度の実質化が本格化すれば、学生は予習・復習を義務づけられ、その証拠の明示を要求されるようになる。講義要項に予習・復習の必要性が記述されるようになったが、学生への周知は不十分であり、初回授業時に周知徹底するなど対応策を実行する必要がある。

④ 質問（設問 I - 5）

工学部専門科目（講義）では1.70という値で昨年度の1.66よりは改善されている。大学全体でも比較的高い方である。しかし、高いとは言えない水準であり改善が必要である。

工学部学習支援センターの利用を学生に積極的に働きかけるなど努力が必要であろう。数学や物理に関しては学習支援センターの利用を授業中に働きかけて一定の効果をあげているが、4学科についても、この取り組みを授業改善に活かしていく必要がある。

Ⅱ. 授業の内容や進め方

① 狙いの明確さ（Ⅱ－１）

講義科目については、一昨年度が3.69、昨年度が3.78で今年度が3.83であり、着実に改善されている。

実験・実習科目の場合、例年通り4.0以上の値になっており、実験・実習科目では授業の狙いが良く伝わっていることになる。

講義科目については、講義要項に授業の目的や到達目標を分かりやすく記述することによって、より改善できると思う。

② 難易度（設問Ⅱ－２）

アンケート実施が後期科目であるがゆえに難易度は前期科目よりも高く、そのため授業が難しいと感じる学生がわずかであるが増加する傾向にある。工学部専門科目（講義）は3.53という値で大学全体で最も高い。3.0が最適な値であることから、工学部の専門科目を難しいと感じる学生が多いことは変化がない。数学や物理などの基礎学力を要求される専門科目が多いことも工学部の特徴であり、その専門性を考えればやむ負えない面もある。

③ 講義要項との進み具合（設問Ⅱ－３）

他学部の専門科目が4.0以上であるのに対して、工学部専門科目（講義）が3.89と最も低い。しかし、一昨年度の3.79、昨年度の3.88よりもわずかであるが改善されている。

④ 進度（設問Ⅱ－４）

設問Ⅱ－２同様3.0が最適な設問であるが、工学部専門科目（講義）の値は3.28であり、一昨年度の3.36、昨年度の3.32よりも3.0に近づいており、改善されていると言える。

⑤ 声の大きさ（設問Ⅱ－５）

工学部専門科目（講義）の値は4.01であり、昨年度の3.98より改善され、他学部並みに4.0を越えた。確実に改善されていると言える。

⑥ 教材等の効果（設問Ⅱ－６）

工学部専門科目（講義）の値は3.91であり、昨年度より改善されている。ただし、他学部と比べると相変わらず低い。

⑦ 教室内の雰囲気（設問Ⅱ－７）

工学部専門科目（講義）の値は3.83であり、一昨年度の3.57、昨年度の3.79よりも確実に改善が進んでいる。しかし、他学部が4.0を越えていることと比較すると、まだまだ改善の余地がある。

工学部の教室は比較的小さいが、鰻の寝床に例えられるように細長い構造をしており、後方の学生の状況を教壇から確認するのは難しい。教室の構造を変えるのは不可能であるから、座席指定方式を取り入れ、誰がどの席に座っているか容易に分かるようにする必要

があらう。

⑧ 宿題・課題（設問Ⅱ－８）

工学部専門科目（講義）の値は3.71であり、一昨年度の3.56、昨年度の3.68よりも改善されている。ただし、他学部と比べると低い状況は変わらない。学科別では情報工学科が3.74で最も高く、機械システム工学科が3.62で最も低い。昨年度最も低かった電子システム工学科は3.60から3.69に改善されている。

⑨ 理解しやすさ（設問Ⅱ－９）

工学部専門科目（講義）の値は3.51であり、他学部よりも低い。しかし、昨年度の3.46よりは改善されている。

工学部FD委員会では、「理解しやすさ」と「満足度」を重要視していることから、今後も改善するべく対策を講じて行く。

⑩ 見方・考え方が深まる（設問Ⅱ－１０）

工学部専門科目（講義）の値は3.54であり、一昨年度の3.37、昨年度の3.49と比較し、確実に改善されている。しかし、他の設問と同様に他学部よりも0.3ほど低く、改善の余地がある。工学部の専門科目は初めて学修する内容が多く、見方・考え方が深まるはずであるが、学生自ら学修する習慣が乏しいために学修目標が明確でなく、結果として見方・考え方が深まらないのであらう。アクティブラーニングを積極的に取り入れ、活用することによって、改善されると思う。

Ⅲ. 満足度（設問Ⅲ）

工学部FD委員会で最も重要視してきた設問である。工学部専門科目（講義）は3.73という値であり、一昨年度の3.54、昨年度の3.67よりも改善されている。学科別では、機械システム工学科が3.64、電子システム工学科が3.77、情報工学科が3.75、デザイン学科が3.91であり、例年通りデザイン学科が最も高い。昨年度3.61であった情報工学科が3.75へと大きく改善された。

一方、実験・実習・演習科目の満足度は最近の3年間、若干ではあるが低下傾向にある。

他学部は4.0を越えており、工学部の「満足度」が4.0を越えるよう授業展開の工夫・改善を続けることが必要である。

Ⅳ. 学部別設問

昨年度同様、工学部では学部別設問として、学生の授業に対する取り組みや達成度についての項目を設けている。

① 宿題や課題への取り組み（設問Ⅳ－１）

宿題や課題への取り組みについては3.55という値で、昨年度と全く同じ結果であった。

一昨年度が3.54であるから、ほとんど変わらない。2年生以上は昨年度もアンケートに回答しているが、1年生は初めて回答しているにもかかわらず、同じ値になるのは不思議な話であるが、積極的に宿題や課題に取り組みと良い成績が得られるよう成績評価方法を改善するなど何らかのインセンティブを与えることで改善していくしかないように思われる。

② 授業に対する質問（設問Ⅳ－2）

授業に対する質問については2.38という値で、一昨年度の2.41、昨年度の2.39よりも低くなっている。工学部には学習支援センターがあり、オフィスアワーも周知されており、質問する時間は十分にあるが、積極的に学修する習慣が乏しいことが低い値に留まっている原因である。現状では質問すれば評価ポイントを与えるなど、何らかのインセンティブを用意しないといけないかも知れない。

アクティブラーニングを活用した授業が増えていけば、学生自ら学修する習慣も身についていく期待もある。ただし、それがアンケート結果に反映されるには2,3年は必要であろう。

③ 到達の度合い（設問Ⅳ－3）

授業の到達目標に対する到達の度合いについては、3.33という値になっており、一昨年度の3.28、昨年度の3.31よりも改善されている。しかし改善の余地は大きい。

平成28年度講義要項から授業の目的や到達目標を分かりやすく記述する方向で見直しが進むので、初回授業時に丁寧に到達目標を説明し、中間試験や期末試験の前に改めて到達目標を説明するなど、周知徹底を図ることによって改善できると思う。

（3） 今後の課題

工学部専門科目に関する授業アンケートの全体集計結果に基づいて分析を行った。その結果、年を追うごとに教員の努力による授業改善が進んでいると言える状況が浮かび上がった。一方、授業を受ける学生の履修態度には未だ問題があることも明らかになった。

授業アンケートの目的が「教員の授業改善に役立てること。また、教育の質の向上を図ること」であることを踏まえ、以下の2点を今後の課題としたい。

① 学生の授業への取り組み姿勢を改善する方策の検討

A0入試や指定校推薦・公募推薦入試による所謂年内組と年明け入試組との間では、工学部に入学してくる学生の基礎学力にはかなり幅がある。高校で数学Ⅲ・物理を履修して入学してくる学生もいれば、物理基礎すら履修した経験がなく、数学も数学Ⅱ程度しか履修していない学生も多い。

工学部の授業は数学や物理を基礎とするために、分かりやすい授業ばかりとは言い難く、高校までの学習が不十分な学生が在籍している現状に対応するためには工学部学習支援センターの利用を学生に積極的に働きかけるなど努力が必要である。数学や物理に

関しては学習支援センターの利用を授業中に働きかけるなど高大接続教育に一定の効果
をあげているが、4学科の1年次専門科目についても、この取り組みを授業改善に活かし
ていく必要がある。

教員による授業改善が徐々に進んでいる一方、学生の授業への取り組みは余り改善さ
れていない。入試の多様化により基礎学力不足の学生が増加した結果と考えられ、こう
した学生が今後も増加することを考えると、授業への取り組み方を指導する体制を強化
する必要がある。工学部では1年生を対象としたゼミ形式の授業が展開されており、こ
のような少人数のゼミを2年生以上に広げることも一つの方法であろう。

② 満足度の改善

他学部と比べても工学部の講義科目の「満足度」は3.73であり、まだ低く、改善の余
地は大きい。しかし、7年前の報告書では工学部の「満足度」は3.41であったから、学生
の「満足度」を改善するべく工学部教員が積極的に取り組んで来たことは事実である。

学生にとって理解しやすい科目の場合、「満足度」が高くなる。このような視点から
授業アンケートを見ると、工学部の専門科目については改善されてきたとは言えるが、
講義科目と実験・実習科目に分けてみると、実験・実習科目の「満足度」は昨年度より
下がったとは言え講義科目よりも高く、講義科目の「満足度」をいかに改善するかが課
題であることに変わりはない。

今年度も工学部の実験・実習科目は「満足度」が比較的高率で推移しており、「出席
状況」、「理解しやすさ」等の項目で講義科目よりも高い評価になっていることも変わ
りない。当然のことであるが、「知識・技術が身につく」は比較的高い評価になってい
る。

これまでも指摘したことであるが、工学部の講義科目の場合、学生を授業に出席さ
せることには成功しているものの、授業計画を達成するために基礎項目に費やす時間は
少ない。到達目標が高すぎるのではないか、との視点から講義要項の見直しを進め、授
業の目的や到達目標を分かりやすく提示する必要がある。

また、各授業間の関連や重要性が教員から学生へ十分に伝わっていない可能性がある。
各授業間の関連について詳しく説明し、講義の目的をより周知させ、将来の進路と授業
科目の関連等を可能な限り時間をかけて説明し、学生が授業に積極的に取り組むよう
に誘導する方策を見つけ出すことが、「満足度」のさらなる改善に繋がり、「理解しやす
い授業」へ繋がると考える。

以 上

5. 国際学部

(1) 実施の状況

本年度もこれまで同様に、専任教員と講師（非常勤）を問わず、学部開設のすべての科目を対象に「授業改善のための学生アンケート」を実施した。できるだけ多くの回数の授業を行った後で学生の反応を把握するために、実施期間は予備日も利用し、平成27年11月16日（月）から平成28年1月12日（火）までの期間に設定した。

アンケートの実施科目総数は272科目であった。アンケート結果は、英語群（6分類）、地域言語群（6分類）、基礎科目群（4分類）、専門共通科目（4分類）、専門コース科目（14分類）の5群34分類の分野別データとして集計された。

アンケート回答数（延べ人数）は、1年生2,684人、2年生2,356人、3年生1,128人、4年生287人、無回答162人の6,617人であった。

(2) 学科目別の評価

① 授業の内容や進め方

専門科目（72科目）について、授業の内容や進め方に関する各項目の過去5年間における平均値を並べた。前年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けた。但し、「2-2. 難易度」と「2-3. 進度」の2項目は数値が3の回答が適切であると判断されるものであるため、3に近づく方向を「上昇」とした。参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

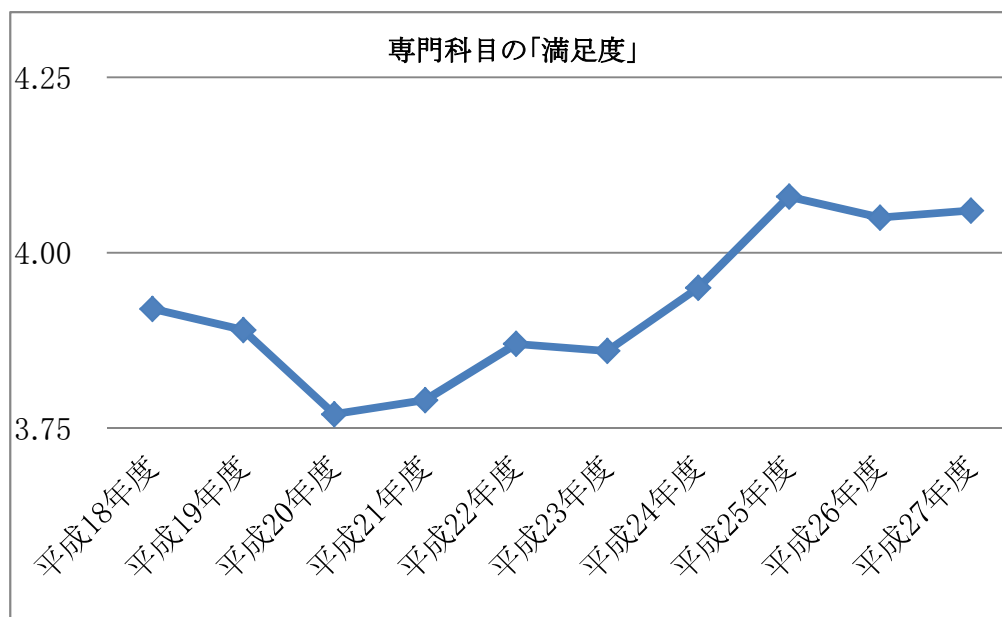
なお、「2-5. 講義要項との進み具合」は平成24年度から新しく設けられた項目である。「2-8. 宿題・課題」については、平成25年度に設問の内容が変更されている。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	大学全体
2-1. 狙いの明確さ	△4.00	▼3.98	△4.03	△4.04	▼4.01	4.00
2-3. 講義要項との進み具合		4.02	△4.06	□4.06	□4.06	4.05
2-5. 声の大きさ	△3.95	△4.00	△4.17	□4.17	▼4.14	4.13
2-6. 教材等の効果	▼3.98	△4.04	△4.09	▼4.07	▼4.06	4.04
2-7. 教室内の雰囲気	△4.09	△4.12	△4.13	△4.16	▼4.10	4.04
2-8. 宿題・課題			3.66	△3.71	△3.82	3.84
2-9. 理解しやすさ	▼3.72	△3.76	△3.90	▼3.88	□3.88	3.78
2-10. 見方・考え方が深まる	▼3.79	△3.88	△4.02	▼3.97	▼3.96	3.79
3. 満足度	▼3.86	△3.95	△4.08	▼4.05	△4.06	3.99

3の回答が適切である項目

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	大学全体
2-2. 難易度	▼3.53	△3.34	▼3.38	△3.36	▼3.38	3.42
2-4. 進度	▼3.28	△3.16	▼3.19	△3.18	▼3.19	3.24

専門科目の平均値は、全体として昨年度と同じ水準であった。授業の総合的な評価にあたる「3. 満足度」では、平成 18 年度から低下傾向が続き、平成 22 年度に改善に転じた後、上昇傾向にある。本年度は昨年度よりもさらに上昇して、4.0 を超える高い水準を維持した。大学全体の平均値との比較では、「2-8. 宿題・課題」を除いて、すべての項目で上回っている。しかし、「3. 満足度」以外の 10 項目のうち 7 項目について、昨年度より平均値が低下した。2 項目で変化がなかった。昨年度よりも高まったのは、「2-8. 宿題・課題」の 1 項目だけであった。



2-1 から 2-4 までの 4 項目は、授業の設計に関するものである。「2-1. 狙いの明確さ」と「2-3. 講義項目との進み具合」はともに 4.0 を超えて、高い水準であった。一方で、「2-2. 難易度」と「2-4. 進度」はともに昨年度よりも若干低下している。

次に、授業の技術と運営に関する 2-5 から 2-7 までの 3 項目についても、ともに 4.0 を超える水準を維持できたが、平均値で昨年度よりも低下している。特に、「2-7. 教室内の雰囲気」で低下の幅が最も大きい。

「2-8. 宿題・課題」について、「この授業は、宿題・課題等が適切に出されていると思いますか」という問いに対して、「強くそう思う」の回答が 36.11%、「そう思う」の回答 22.63%と、合わせて半数以上の学生が肯定的な反応であった。

2-9 と 2-10 は学習の成果に関する項目である。「2-9. 理解しやすさ」について変化はない。しかし、「2-10. 見方・考え方が深まる」は 2 年連続して低下している。

② 受講する姿勢や動機

1-1 から 1-5 までの各項目について、回答の多かった上位を挙げた。これらの結果によれば、授業への出席状況は良好で、半数以上の学生が授業中にノートやメモをとっている。さらに、予習や復習の時間は短く、授業時間以外に先生へ質問に行く学生は極めて少ないという実態が明らかである。

受講動機について、「単位が必要だから」が最も多い。続いて「講義要項を読んで興味を持ったから」と回答した学生が昨年度よりも増加した。「単位取得が楽だから」という動機は極めて少ない。

- 「1-1. 授業への出席状況」 ①90%以上 (58.55%)
 ②80%以上 (28.26%)
- 「1-2. ノート・メモ」 ①強くそう思う (32.69%)
 ②そう思う (26.70%)
- 「1-3. 予習・復習」 ①0.5h 未満 (62.34%)
 ②0.5h 以上 (1h 未満) (16.89%)
- 「1-4. 受講動機」 ①単位が必要だから (35.22%)
 ②講義要項を読んで興味を持ったから (33.36%)
 ③教員にひかれて (15.17%)
 ④この時間帯が空いているから (13.28%)
 ⑤単位取得が楽だから (2.97%)
- 「1-5. 質問」 ①全くそう思わない (70.26%)
 ②どちらとも言えない (8.68%)

(3) 学部設問項目の評価

学部設問項目として、本年度もこれまで同様に、「授業の開始時間・終了時間」、「出欠席管理」、「授業中の私語」の3項目を設けた。学部設問項目について、過去4年間における各項目の平均値を並べた。前年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けた。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
6-1. 授業の開始・終了時間					
専任教員	▼4.44	△4.46	△4.57	▼4.54	□4.54
講師(非常勤)	△4.42	△4.48	△4.50	△4.56	▼4.52
6-2. 出欠席管理					
専任教員	▼4.46	△4.51	▼4.44	△4.52	△4.55
講師(非常勤)	▼4.47	△4.54	▼4.50	△4.63	▼4.57
6-3. 授業中の私語					
専任教員	□4.03	△4.17	□4.17	△4.20	▼4.11
講師(非常勤)	▼3.72	△3.83	△3.84	▼3.82	▼3.72

授業の開始・終了時間と出欠席管理については、継続的に高い平均値を維持しており、これらが定着していることを表している。

しかし、「6-3. 授業中の私語」については、専任教員と講師（非常勤）ともに平均値が低下している。これは、学部全体で授業中の私語が増えていることを示す。また、講師（非常勤）は3項目のすべてで昨年度より平均値が低下した。

（４）教員所属別の評価

専任教員の科目（101科目）と講師（非常勤）の科目（171科目）について、各項目の昨年度と本年度の平均値を並べた。昨年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けた。

	専任教員		講師（非常勤）	
	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度
2-1. 狙いの明確さ	△4.15	△4.17	△4.10	▼4.02
2-3. 講義要項との進み具合	□4.12	△4.17	△4.12	▼4.10
2-5. 声の大きさ	△4.25	□4.25	△4.26	▼4.18
2-6. 教材等の効果	△4.14	△4.24	△4.12	▼4.04
2-7. 教室内の雰囲気	△4.27	▼4.25	△4.12	▼4.04
2-8. 宿題・課題	△3.90	△4.03	△3.98	▼3.94
2-9. 理解しやすさ	△4.01	△4.05	△3.99	▼3.92
2-10. 見方・考え方が深まる	▼4.03	△4.08	△3.93	▼3.86
3. 満足度	□4.15	△4.19	△4.13	▼4.04

3の回答が適切である項目

	専任教員		講師（非常勤）	
	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度
2-2. 難易度	△3.35	△3.33	△3.31	▼3.37
2-4. 進度	△3.18	△3.16	△3.16	▼3.24

専任教員の授業では、「3. 満足度」が昨年度よりも平均値で上昇した。「3. 満足度」以外の10項目のうち8項目で昨年度よりも高い。「2-7. 教室内の雰囲気」だけについて、昨年度より低下している。

これとは対照的に、講師（非常勤）については、「3. 満足度」を含めて、すべての項目で平均値が低下するという好ましくない結果であった。専任教員との比較においても、すべての項目で講師（非常勤）の評価が劣っている。専任教員と講師（非常勤）との間で差が著しい。

（５）分野別の評価

① 分野相互間の比較

英語群（103科目）、地域言語群（106科目）、基礎科目群（28科目）、専門共通科目（18科目）、専門コース科目（56科目）の5群について、相互に比較した。平均値が最も高いものに○印を、最も低いものに●印を付けた。

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目	専門コース科目
2-1. 狙いの明確さ	4.13	○4.22	4.11	●3.88	4.07
2-3. 講義要項との進み具合	4.15	○4.24	4.17	●3.93	4.12
2-5. 声の大きさ	4.27	○4.28	4.27	●4.04	4.18
2-6. 教材等の効果	4.17	○4.20	4.12	●3.79	4.16
2-7. 教室内の雰囲気	○4.22	4.17	4.09	●3.92	4.17
2-8. 宿題・課題	4.18	○4.19	3.98	●3.66	3.88
2-9. 理解しやすさ	○4.08	4.01	3.94	●3.58	4.00
2-10. 見方・考え方が深まる	3.96	4.01	3.83	●3.73	○4.06
3. 満足度	4.12	○4.20	4.03	●3.85	4.14

3 の回答が適切である項目

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目	専門コース科目
2-2. 難易度	○3.28	3.47	3.37	●3.51	3.32
2-4. 進捗	3.18	●3.35	3.19	3.27	○3.15

「3. 満足度」では、地域言語群、専門コース科目、英語群、基礎科目群、専門共通科目という順であった。昨年度との比較で、専門コース科目と地域言語群で評価が高まった。特に、専門コース科目の授業で上昇の幅が大きい。

分野相互間の比較で、地域言語群は、「3. 満足度」以外の10項目のうち5項目で平均値が最も高い。これに、英語群が続いている。一方で、専門共通科目の授業では、10項目のうち9項目で平均値が最も低かった。

② 英語群

「3. 満足度」で昨年度(4.22)より低下している。しかし、分野相互間の比較では、「2-7. 教室内の雰囲気」と「2-9. 理解しやすさ」の2項目で平均値が最も高い。さらに、「2-2. 難易度」についても最も適切であった。

③ 地域言語群

「3. 満足度」で昨年度(4.18)より上昇した。分野相互間の比較で、最も多くの項目で平均値が最も高い。地域言語群は学部の特徴の一つとして、継続して高い評価を得ている。しかし、「2-3. 進捗」だけは他の分野よりも評価が低く、この点で改善の余地がある。

④ 基礎科目群

「3. 満足度」で昨年度(4.14)より低下した。「3. 満足度」以外の10項目のうち8項目で、昨年度より平均値が低下している。分野相互間の比較では、突出した結果は認められなかった。しかし、大学全体の平均値との比較では、すべての項目で上回っている。

⑤ 専門共通科目

「3. 満足度」で昨年度（3.99）より低下した。「3. 満足度」以外の10項目のすべてでも昨年度より平均値が低下している。分野相互間の平均値の比較でも、「3. 満足度」以外の10項目のうち9項目で評価が最も低かった。大学全体との平均では、「2-1. 難易度」と「2-2. 進度」の2項目を除いて、すべての項目で下回るという結果であった。専門共通科目の授業で平均値が他の分野よりも劣るという傾向は改めなければならない。

⑥ 専門コース科目

「3. 満足度」で昨年度（4.07）より上昇した。分野相互間の比較では、「2-10. 見方・考え方が深まる」と「2-4. 進度」の2項目で最も評価が高かった。大学全体の平均値との比較では、すべての項目で上回っている。

専門コース科目については、履修学年別ではなく、科目が配当されているコースと学生の所属の2点を考慮して集計を行ってきた。国際協力（22科目）、国際経済（10科目）、国際政治（9科目）、国際文化（9科目）、国際観光（5科目）、農業総合（1科目）の6コースについて、相互に比較した。平均値が最も高いものに○印を、最も低いものに●印を付けた。

	国際協力	国際経済	国際政治	国際文化	国際観光	農業総合
2-1. 狙いの明確さ	4.11	4.09	○4.13	●3.92	3.93	4.11
2-3. 講義要項との進み具合	○4.17	4.16	4.14	●3.99	●3.99	○4.17
2-5. 声の大きさ	4.23	4.16	4.23	●4.02	4.07	○4.26
2-6. 教材等の効果	4.23	4.16	4.21	4.04	●4.03	○4.24
2-7. 教室内の雰囲気	○4.22	4.18	4.18	4.01	3.98	○4.22
2-8. 宿題・課題	○3.97	3.92	3.92	3.72	●3.68	3.94
2-9. 理解しやすさ	4.02	4.02	○4.06	●3.86	3.88	4.04
2-10. 見方・考え方が深まる	4.10	4.07	○4.12	●3.90	3.91	4.09
3. 満足度	4.18	4.17	○4.21	●3.98	3.99	4.19

3の回答が適切である項目

	国際協力	国際経済	国際政治	国際文化	国際観光	農業総合
2-2. 難易度	3.30	3.32	○3.27	●3.34	●3.34	3.29
2-4. 進度	○3.10	3.14	3.12	3.19	●3.20	3.11

「3. 満足度」について、6コースのうち5コースにおいて、「3. 満足度」の平均値が昨年度よりも上昇している。「3. 満足度」で低下したのは、国際観光コースの授業だけであった。

コース相互間の比較では、「3. 満足度」で、国際政治、農業総合、国際協力、国際経済、国際観光、国際文化という順であった。昨年度から順位に変化がみられた。本年度では、特に、国際協力コースの授業で評価が高まった。また、「3. 満足度」以外の10項目のうち、国際協力と国際政治がそれぞれ4項目で平均値が最も高い。これに対して、国際文化で6項目、国際観光で5項目について、それぞれ平均値が最も低くなっている。

(6) 評価と課題

本年度の「授業改善のための学生アンケート」の結果によれば、全体として昨年度と同じ水準であった。具体的には、専門科目で「3. 満足度」は昨年度より上昇して、4.0を超える高い水準を維持することができた。大学全体の平均値との比較では、「2-9. 宿題・課題」を除いて、すべての項目で上回っている。「2-9. 宿題・課題」についても、昨年度よりも平均値は高い。

個別の項目のうち、「2-7. 教室内の雰囲気」、「6-3. 授業中の私語」、「2-10. 見方・考え方が深まる」の3項目で平均値の低下が目立った。

学生の授業への出席状況は良好で、約半数の学生が授業中にノートやメモをとっている。この反面で、予習や復習の時間が短く、授業時間以外に先生へ質問に行く学生は少なかった。

5分野相互間の比較では、専門コース科目で評価が高まった。地域言語については、継続して高い評価を得ている。しかし、専門共通科目の授業で平均値が他の分野より劣っていた。

また、専門コース科目の6コース相互間の比較について、コース相互間の差は年度ごとに変化し、これらの中で差は固定化していない。互いに切磋琢磨して、授業改善でシナジー効果があらわれたといえる。本年度では、国際協力コースの授業で評価が特に高まり、授業改善の取組みの成果が認められた。

本年度の結果で最も注意を要するのが、講師（非常勤）の授業についてである。講師（非常勤）の授業では、学部設問項目を含めて、すべての項目で昨年度よりも平均値が低下していた。さらに、専任教員との比較においても講師（非常勤）の評価が劣っており、専任教員と講師（非常勤）と間で差が著しい。

学生アンケートの結果から明らかになった問題を真摯に受け止め、問題の解決のために学部全体で適切な対策を講じたい。具体的には、専門共通科目の授業への評価を高める対策を検討する必要がある。また、学部の授業の約半数は講師（非常勤）によって支えられており、学部全体にとって講師（非常勤）による授業改善が不可欠である。このために、授業改善に向けた専任教員と講師（非常勤）の協働を推進したい。

さらに、「授業中の私語」への対策など授業の技術と運営において改善の余地があり、学生にとって「見方・考え方が深まる」授業の実践に向けた創意工夫が急務である。この点でアクティブ・ラーニングとPBLが効果的であり、これらの授業方法を積極的に導入していきたい。

以上

6. 教養教育科目

本節では教養教育科目について、(Ⅰ)実施状況、(Ⅱ)教養教育科目の現状評価、(Ⅲ)教養教育科目の課題、(Ⅳ)まとめの順で「評価及び課題」を述べる。

(Ⅰ) 実施状況

「教養教育科目・総合教育科目」全体ではアンケート実施件数は93であり、このうち国際学部だけで開講されている総合教育科目を除いた教養教育科目の実施件数は75である。これは平成27年度後期開講の教養教育科目数(93)の8割に当たる。ただし群毎に見た科目数には、かなりのばらつきが見られる。このばらつきの問題については後述する。

(Ⅱ) 教養教育科目の現状評価

教養教育科目の現状を評価するにあたり、教養教育科目全体に関しては「学科目別平均値(講義科目)平均値・標準偏差」と「履修登録者数別比較表(講義科目)」のデータを参照し、また各群に関しては「教養教育科目(1)講義科目(群別)」のデータを参照しながら、評価を行うことにする。以下、①学生の受講姿勢、②授業の内容・進め方、③学生の満足度、④難易度・進捗という順で所見を述べる。

A. 教養教育科目全体に関する現状評価

①学生の受講姿勢

まず「学生の出席状況」の項目は4.46であり、これは全体の平均値4.51より若干低いが、5学部専門科目や外国語、ゼミ等と比較して、ほぼ中間値を示している。また「ノート・メモ」の項目は3.59であり、「予習・復習」の項目は1.58である。さらに「質問」の項目は1.48である。この3項目は科目別で最下位である。「ノート・メモ」や「予習・復習」の項目は、学期末試験の方法の工夫やブラックボードの活用などによって改善する必要がある。大教室での授業が多い教養教育科目における「質問」の項目の値を改善するには、授業の進行過程でこまめに質問の時間をとるなどの細やかな対応が必要になってくるだろう。

②授業の内容・進め方

この項目では5学部専門科目と比較して「狙いの明確さ」(3.74)、「声の大きさ」(3.88)、「宿題・課題」(3.57)の項目で最下位であり、それ以外の項目では工学部専門科目と同じ値か次に低い値となっている。特に「宿題・課題」の項目は全体平均値(3.84)より低い。また棒グラフで示された年度比較のデータから明らかなように、5学部専門科目では、ほぼすべての項目にわたって徐々に改善の兆しが見られるのに対し、教養教育科目では現状維持もしくは下降の傾向が見られる。重く受けとめるべき結果であると考えられる。

③学生の満足度

教養教育科目における「満足度」の項目は3.78であり、全体平均値(3.99)より低い。

また5学部専門科目との比較でも工学部専門科目の次に低い数値となっている。ただし、「履修登録者数別比較表（講義科目）」で「満足度」を見ると、「100人以下」では4.02、「101～200人」では3.92、「201から300人」では3.86、「301人以上」では3.97となっていることがわかる。「100以下」の履修者数の科目と、それ以上の履修者数の科目では4点台と3点代という数値の差があるという事実は指摘しておいてよいかと思う。教養教育科目は履修登録者数が他の科目と比して多いことを勘案すると、ある程度、健闘しているとも見える。

問題は、この「満足度」という項目の値が、平成24年度をピークにして、25、26、そして27年度と、下降し続けていることにある。商学部・政経学部の文京キャンパスへの全面移転の年であった平成27年度においてもこの値が下降し続けているという結果を、真摯に受けとめる必要があるだろう。

④難易度・進度

「難易度」は3.42であり、全体平均値（3.42）と同じである。また「進度」は3.24であり、全体平均値（3.24）と同じ値である。このことから教養教育科目が、授業の進度はやや速めだが、学生の理解度に合わせた授業を実施していると判断できる。この二つの項目は、概ね適正の範囲内にあり、5学部専門科目と比較しても適正值により近い結果となっている。

B. 教養教育科目各群に関する現状評価

教養教育科目各群の現状を見ていくにあたり、大教室での多人数授業の講義科目が中心のA系列・B系列・C系列（第1群～第9群）と、履修登録者数を100人以下に制限して授業を行うD系列（第10群）の科目とを分けて所見を記す。なおA～Dの系列外に「共通」というカテゴリーの科目として「歴史の中の拓殖大学」があるが、同課目のデータは存在しないため評価は割愛する。ただし、平成28年度からは「共通」の科目がさらに増える（「職業と人生」「防災と安全」）ため、次年度以降の分析では評価の対象とする可能性はある。

○A系列・B系列・C系列（第1群～第9群）について

第1群～第9群の編成と名称は以下の通りである。

A系列（人間について考える）：第1群（人間の探究）、第2群（文学・芸術）、第3群（身体と運動）

B系列（社会について考える）：第4群（歴史・民族）、第5群（社会のしくみ）、第6群（現代社会の変容）

C系列（自然と環境について考える）：第7群（自然の認識）、第8群（技術の発達）、第9群（環境と人間）

各群の現状を見ていくにあたり、あらかじめ留意しておくべき点がある。それは各群のサンプル数にばらつきがあり、そのため各群同士を比較することに客観性が担保されにくいという点である。この問題は昨年度の評価においても指摘されていたが、今年も同じ状

況にある。最多のサンプル数が第4群の10であるのに対し、最小のサンプル数は第9群の2なのである。とはいえ、次に少ない第8群のサンプル数も3であるので、第9群のみ除外することは恣意性を免れない。そこで以上の点に留意した上で、今年もすべての群を対象として現状評価を行うこととする。

①学生の受講態度

「出席状況」では第3群が最上位(4.59)、第9群が最下位(4.04)である。その差は0.55であり、群毎に大きな開きはない。「ノート・メモ」では第5群が最上位(4.03)、第9群が最下位(2.96)である。第5群を除いて、この項目が3点台(第9群を除く)という結果は、ノートをしっかり取らせる授業がそれほど多くはないことを示している。

「予習・復習」では第3群と第6群が最上位(1.62)、第9群が最下位(1.25)であるが、すべての群で1点台であることから明らかなように、教養教育科目では予習・復習を必要とする授業が非常に少ないことを示している。「質問」では第2群が最上位(1.55)、第9群が最下位(1.21)である。平均値は1.45であり群毎の差は少ない。

②授業の内容・進め方

この項目では第1群の健闘が目立つ。第1群は全8項目中、4項目で最上位を占めている。これと対照的に第9群は5項目で最下位である。ただし前述したように第9群はサンプル数が2であり、他の群と比して偏った数値になっている可能性は否定できない。

まず「授業の狙い」では第1群が最上位(4.00)、第6群が2位(3.92)、第8群と第9群が最下位(2.98)である。「講義要項との進み具合」では第1群が最上位(4.04)、第3群が2位(4.00)、第8群が最下位(3.35)となっている。「声の大きさ」では第1群が最上位(4.27)、第6群が2位(4.11)、第9群が最下位(2.70)である。「教材等の効果」では第3群が最上位(4.08)、第1群が2位(4.02)、第8群が最下位(2.98)である。「教室内の雰囲気」では第1群が最上位(4.13)、第5群が2位(4.03)、第8群が最下位(2.92)である。「宿題・課題」では第3群が最上位(3.60)、第6群が2位(3.58)、第9群が最下位(3.07)である。「理解しやすさ」では第6群が最上位(3.81)、第3群が2位(3.75)、第9群が最下位(2.71)である。「見方・考え方が深まる」では第6群が最上位(3.91)、第1群が第2位(3.90)、第9群が最下位(2.94)となっている。

本項目は授業担当者の授業に対する取り組みの成果がストレートに出やすい項目である。各担当者はこうした結果を真摯に受け止める必要があるであろう。

③学生の満足度

「満足度」では第1群と第3群が最上位(4.01)、第6群が2位(3.98)、第9群が最下位(2.85)となっている。この結果は上記の「授業の内容・進め方」の項目とほぼ対応している。「満足度」を客観的な数値で表すことができるかは疑問の余地があるが、この結果を見るかぎり、必ずしも「満足度」の項目を無視する訳には行かないようである。

④難易度・進度

「難易度」が適正值(3.00)にもっとも近いのは第2群(3.23)であり、次が第6群(3.24)

である。これに対して適正值からもっとも遠いのは第7群(3.90)、次が第9群(3.85)、さらに第8群(3.71)と続く。この結果から読み取れるのは、自然科学系から成るC系列が、文系学部学生の占める割合が高い本学の学生にとっては、どうしても難しく感じられるということである。止むを得ない面もあるが、C系列担当者にとっては創意工夫が求められる課題であろう。

「進捗」では、適正值にもっとも近いのは第6群(3.13)であり、適正值からもっとも遠いのは第7群(3.54)であるが、ほぼ適正な範囲内に収まっていると判断できる。

○D系列(第10群)について

①学生の受講姿勢

第10群は日本語によるコミュニケーション力を高める科目によって構成されている。第10群の「出席状況」は4.60、「ノート・メモ」は3.62という結果であり、学生の受講姿勢は第1群～第9群の傾向とほぼ一致しているといえる。ただし「予習・復習」は1.51、「質問」は1.44と教養教育科目全体の平均値を下回っている。

②授業の内容・進め方

この項目で第10群は「宿題・課題」の項目以外のすべての項目で4点台を記録し、すべての項目で全群中、最上位を占めている。この結果は、第10群の担当者の努力の賜物であると同時に、履修者数を100人以下に制限して、コミュニケーション力を高めるための演習型の授業を展開する同群の各科目の特長がよく活かされた成果であると判断できる。

③学生の満足度

「満足度」の項目でも第10群は全群中、最上位(4.60)の値を示している。この結果についても上述のコメントが同様にあてはまると思われる。

(Ⅲ) 教養教育科目に関する課題

以上の現状評価を踏まえた上で、教養教育科目に関する課題について述べる。その際、教養教育科目全体の課題と、群毎におけるそれとを分けて検討することにする。

A. 教養教育科目全体の課題

現状評価の項目で触れておいたが、年度比較のグラフから明らかなように、5学部専門科目では、ほぼすべてのアンケート項目に関して徐々に改善傾向が見られるのに対し、教養教育科目では現状維持ないし下降傾向が見られる。特に商学部・政経学部の文京キャンパスへの全面移転が実行された平成27年度においても、この下降傾向に歯止めがかかっていないという事実がある。文京キャンパスの教室に備えられている最新の設備のさらなる活用や、大人数の履修生を相手にしたアクティブ・ラーニングの導入など、教養教育科目担当の教員の授業改善への取り組みを強化する必要がある。

一方で、本年度は商学部・政経学部の文京キャンパス移転の初年度にあたり、授業を取り巻く様々な諸条件(時間割、教室割など)が、ある程度落ち着くの見極める必要がある

ることも事実である。文京キャンパスの図書館、ミーティング・ルーム、専任教員の研究室、講師控え室の位置や機能を学生が把握し、これらの施設を学習のために有効に使えるようになるまでには、いましばらく時間がかかることも予想されるのである。

教養教育科目における「学生の満足度」の項目も、年度比較のグラフで見ると、一昨年をピークとして徐々に下降傾向にある。「満足度」は本質的に主観的なものであり、これを客観的に評価できるかという点に関しては疑念が付きまとうが、他方、教養教育科目各群の現状の評価において判明したように、「授業の内容・進め方」と「満足度」との間には、ある程度の相関関係が見られることも事実である。

ここでは、昨年と同様に「満足度」の項目と、「受講動機」中の「単位取得が楽」の項目との相関関係の有無を調べてみたい。まずはこれもまた昨年と同様に、授業形態および受講生数が教養教育科目と比較的、近似している商・政経両学部の専門科目と比較してみる。そこから判明するのは、「単位取得が楽」の項目の値と「満足度」の項目の値には、今年もある程度の相関関係が見られるという事実である。昨年度ほどの顕著な傾向ではないが、前者の値が高ければ後者の値も高く、また前者の値が低ければ後者の値も低くなるという一定の傾向は認められる。

教養教育科目では「単位取得が楽」の項目が第1位である第6群（13.2%）の「満足度」は、3.98で全群中第3位の3.98である。また「単位修得が楽」の項目で第2位の第10群の「満足度」は第1位の4.36である。これに対し、第1群（「単位取得が楽」が7.5%、「満足度」が4.01）や第3群（「単位取得が楽」が8.6%、「満足度」が4.01）のように、単位取得が楽ではないにも拘らず、満足度が高い群は今年も存在している。これらの群の科目では、「満足度」の尺度は「単位取得が楽」という尺度とは別のところに存在している可能性が伺える。

ただし「単位修得が楽」の項目と「満足度」の項目との相関関係には、年度による違いがあることも事実である。昨年度は第5群が「単位修得が楽」が7.2%で「満足度」が4.05%で最も高かったが、今年度の第5群は「単位修得が楽」が1.2%と急落した結果、「満足度」は3.62%となって第5位に転落しているのである。今年度の教養教育科目各群のサンプル数を見ると、サンプル数が10を上回ったのは第4群（10）と第10群（14）のみであり、最小のサンプル数2をかぞえた第9群を除き、3～8の範囲に収まっているのである。アンケート結果の分析の精度を高めるためには、もう少しサンプル数が欲しいところである。

アンケートの個別の項目では、「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「宿題・課題」といった項目については、比較的速やかに対処が可能ではないかと思われる。特に「宿題・課題」の項目は学生の受講態度中の「予習・復習」の項目と直接、関連するものであるため、このあたりの取り組みをまず考えるべきであろう。ブラックボードの積極的な活用などによって、教室外での学生の学習活動を活発に行わせる必要があると考える。

B. 教養教育科目各群の課題

第1群～第9群の中で特筆すべきは第1群の健闘であろう。「授業の内容・進め方」では8項目中、4項目で最上位であり、また「単位取得が楽」が7.5%であるのに対し、「満

足度」は4.01%であった。

第4群は「講義への興味」が31.4%と、第5群(34.8%)に次いで高い科目であるにも拘らず、「満足度」が3.04と全群中下から3番目となっている。この結果は学生の期待度が高かったことの裏返しとして解釈することができる。

同様のことは自然科学系の科目から成る第7群、第8群、第9群についても言える。この3つの群は「講義への興味」が、それぞれ25.6%、27.3%、33.6%と比較的高い値を示しているのに対し、「満足度」は1.14、1.23、1.29とあまり高くない。特に第9群に配当されている科目は「環境と人間」という群名にあるように、現代人にとって喫緊の課題を取り扱っているものが多い。学生の「講義への興味」の高さもそれゆえのことであろう。授業担当者には学生の期待を裏切らないような授業の工夫が求められる。または学生にとってC系列の科目の「単位の必要」度は総じて高く、同系列の科目は「時間帯が空いているから」受講したという数値が低くなっているという特徴も指摘しておく。

第2群、第3群、第5群、第6群は「授業の内容・進め方」および「学生の満足度」に関わる多くの項目が中位を占めている。ただ、すべての群について言えることだが、アンケート結果は年度ごとの変動が激しく、入学してくる学生のレベルや関心に左右される面も大きい。

第10群は「授業の内容・進め方」および「学生の満足度」に関わる、ほぼすべての項目において最上位を占めており、この結果は、履修者数の制限を行っているという点を考慮に入れても、授業担当者の努力なしには考えられない成果であろう。課題としては、「予習・復習」の項目の値の低さ(1.51)をどう改善していくか、という点を挙げることができる。

(IV) まとめ

教養教育科目は大教室での多人数による講義の授業が中心であり、この点で少人数・クラス別授業形態をとる科目に比べて不利な条件を背負いながら、比較的健闘していると言える。他方、年度比較のグラフから明らかなように、教養教育科目はここ数年、現状維持もしくは若干の下降傾向が見られる。前述したように「満足度」が、平成24年度をピークにして、25、26、そして27年度と、下降し続けていることは看過できない。

平成27年度からは商学部・政経学部の文京キャンパスへの全面移転に伴い、教養教育科目は文京と八王子国際の二つのキャンパスで行われることとなった。教養教育科目のアンケート結果の分析の場合、「キャンパス別」という項目を加える必要も出てくるだろう。いずれにせよ、アンケートの結果のこのような分析を機会に、授業担当者には授業内容、配列、方法、教材さらには評価などのさらなる創意工夫を求めたい。

以 上

6. 教養教育科目（外国語科目）

1. アンケートの実施状況

本年度の「授業改善のためのアンケート」は平成年27月11日16(月)から12月22日(火)に行われた。ここでの「外国語科目」とは、商学部、政経学部、外国語学部、工学部の12言語の授業を意味する。科目の内訳は、英語、アラビア語、ブラジル・ポルトガル語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、インド・パキスタン語（実施科目なし）、インドネシア・マレーシア語、ロシア語、スペイン語、日本語である。

2. 項目別における集計結果（設問項目別に全体の平均値と比較）

I -1「学生の出席状況」

昨年の平均値が4.47であったのに対し、今年は4.57と0.10上回ったものとなった。一昨年の4.58よりも若干であるが下回っているもののほぼ同数である。後期実施分については、前期実施分と比べ平均値が減少する傾向にあると考えられたが、キャンパス移転によりこの傾向に変化が出ている可能性はある。

今年の全体の平均値4.51（昨年の全体平均値4.49）も上回っている。英語を含め第二外国語開講科目の中で二言語以外は全体の平均値を上回っている。韓国語の4.71が、最も高い値となった。

I -2「ノート・メモ」

外国語科目は4.05となり、昨年の平均値4.10から0.05の減少となった。昨年と同様、今年も全体の平均値（3.89）を上回っている。ただし第二外国語が比較的高い数値を出しているのに対し、英語は全体平均値と同じにとどまっており、昨年度の英語の平均値（3.96）を下回ったことになるため、改善が望まれる。

I -3「予習・復習」

今年度の外国語科目の値は1.89となっており、全体の平均値1.78と比較して0.11と、昨年度同様上回っている。しかし2.00の値は毎回の予習・復習が30分以上であることを意味しており、決して十分な値とは言えない。また前年度の値が1.94であったので、数値は下がっている。予習・復習の内容をより一層具体的に指示することが求められる。

I -5「質問・オフィスアワー等」

今年度の値は1.63で、全体の平均値1.61と比較し、0.02上回った。しかし実体としては、ほとんど質問が行われていないことになる。平均を上回っているのは日本語(2.73)に次いでブラジル・ポルトガル語(2.18)、そしてロシア語、中国語だが、他の言語は平均を下回っているため、改善が求められる。

II -1 「狙いの明確さ」

全体の平均値4.00に対し、外国語科目の平均値は4.05となっている。昨年は全体が3.99、外国語科目は4.04であったため、全体の平均値に対する外国語科目の値の差は0.05と同じである。両方とも値が僅差であるが、狙いを明確にするという点においては、学生に対する教員側の更なる働きかけが必要であることに注意しなければならない。

II -3 「講義要項との進み具合」

全体の平均値が4.05であるのに対して、4.10となった。僅差ではあるが、全体を上回る結果となった。

II -5 「声の大きさ」

全体の平均値4.13に対し、外国語科目の平均値は4.19となっており、0.06上回っている。昨年の外国語科目平均値も4.19であったため、前年と同じで横ばいとなっているが、外国語学習にとって、「声の大きさ」は発音練習等で重要な要素となるので、全体の平均値を大きく上回ることを目標とすべきである。

II -6 「教材などの効果」

外国語科目の平均値は4.09で、全体の平均値4.04に対し0.05上回る結果となった。昨年の外国語科目の平均値は4.03、全体の平均値は4.01であったため、両者とも昨年より評価が若干上昇している。外国語科目にとって教材の効果は重要な要素となるので、一層の改善を期待したい。

II -7 「教室内の雰囲気」

外国語科目の平均値は4.11で、全体の平均値4.04を0.07上回った。昨年の値(外国語科目4.13、全体4.06)を下回ったが、全体の平均値との差は同じ結果となっている。

外国語科目は一昨年の値から0.02ずつ2年連続で低くなっている。昨年に比べ今年度値が低くなっている特に6言語に関しては、学生が不安なく発話できる教室の環境作りを心がけるよう、改善が望まれる。

II -8 「宿題・課題」

全体の平均値が3.84であったのに対し、外国語科目の平均は3.99であった。昨年の値(全体3.80、外国語科目4.00)と比較すると、全体の平均値は上がったが、外国語科目の平均は僅かながら0.01下がっている。毎回の予習・復習が平均30分程度なので、学生の意識改革も必要であるが、外国語科目の平均を下回る4言語については、適切な宿題・課題を課すことが求められる。

II -9 「理解しやすさ」

外国語科目の平均値が3.82、全体の平均値3.78で、外国語科目が0.04上回っている。初めて学習する外国語において、理解しやすさは重要な項目となる。昨年の外国語科目の平均値は3.84であり、一昨年は3.77であり、後期実施分については、前期実施分と比べ平均値が上昇する傾向にある。また昨年度は特にスペイン語が3.31と値が低かったが、今年度は一昨年度の値3.29に後戻りして依然として低い値となっているため今後の改善が望まれる。

II -10 「見方・考え方が深まる」

外国語科目の平均値3.69は、全体の平均値は3.79であった。昨年度も外国語科目が全体の平均値よりも若干低かったが(外国語3.70、全体3.77)、今年は外国語科目と全体の平均値の差が昨年に比べて更に広がった。この項目でもスペイン語の値が低く(3.42)、改善が必要である。

III 「満足度」

全体の平均値3.99に対し、外国語科目の平均値は4.02となり、0.03上回った。しかしながら昨年の外国語科目の値と同じである。平均値に及ばない特に3言語については昨年よりも値が低くなっているため、スタッフ全員が現状を認識した上で、改善に取り組む必要がある。

3の回答が適切である項目

II -2 「難易度」

全体の平均値が3.42で、外国語科目も3.42、両方とも前年比を上回った。(全体3.41、外国語科目3.38) この項目は値が低いほど難易度が下がることになるが、昨年と比較して外国語科目は難しいと判断されたことになる。

II -4 「進度」

全体の平均値が3.24であったのに対し、外国語科目の平均値は3.22で、両方とも前年比を僅かに上回った。(昨年全体平均値3.23、外国語科目平均値3.19) レベルに合った進度調整が必要とされる。

I -4 「受講動機」 回答の分布

多くの言語において、昨年度同様、「単位が必要」と「時間帯が空いている」が多くのパーセンテージを占めている。「教員にひかれて」また「講義への興味」の値が低いのは、必修の第二外国語が入学前に選択されるため、事前の情報が入手困難であることに起因すると思われる。

3. 本年度の集計結果の評価について

- ① 「学生の出席状況」、「狙いの明確さ」、「講義要項との進み具合」、「教材等の効果」は、前年度の値を上回っており、今後もこの傾向を維持すべきである。
- ② 「ノート・メモ」、「予習・復習」、「質問(オフィスアワー等)」、「教室内の雰囲気」、「宿題・課題」、「理解しやすさ」、「見方・考え方が深まる」の項目が、昨年の値を下回った。
- ③ 「声の大きさ」、「満足度」については、昨年度と同じ結果となった。
- ④ 昨年度は、一昨年度を上回った項目と下回った項目があったが、上回った項目の方が多かった。しかし今年度は昨年度と比べ、下回る項目の方が多かった。中には低水準の項目は改善の兆しが見えていないものもある。今後に期待したい。

4. 課題

- ① 「学生の出席状況」の値については、僅かながら状況が好転しつつあるように見受けられる。これはキャンパスが文京に移転になったことが有利に働いていると考えられる。しかし昨年は、特に第二外国語が通年科目から半期科目に変更されたことで、前期で単位を取得できなかった学生が後期に出席を取りやめ、全体の出席率を押し下げたものと思われる結果も出たため、今後も学生の出席状況を観察することが必要である。同時に、ドイツ語が実施しているように、数回欠席した時点で欠席者に連絡を取るといった試みを全体的に広げていき、脱落しかけた受講者の授業復帰支援を行うことを他の言語にも勧めたい。この取り組みは、外国語科目の出席状況の改善のみならず、大学全体の退学者問題の改善にも寄与できるのではないかと考える。

- ② 「ノート・メモ」の項目が全体の平均値を上回っているが、これは語学という科目の性質上によるものと考えられる。外国語科目で比較すると、今年は昨年の値を下回る結果となっている。「ノート・メモ」の改善に関しては、教員の板書のやり方も関係している。「自由記述欄」で板書の改善に対する要望もしばしば挙げられており、組織的な改善への取り組みが必要である。
- ③ 「予習・復習」については、全体の平均を上回っているものの、毎回の予習復習が30分程度であるのは、明らかに少ない。専門科目の学習時間または個々の学生の生活状況も勘案しながら、現実的にどれ程より多くの学習時間を確保できるか検討する必要がある。
- ④ 「質問・オフィスアワー等」の値が低い点については、多くの授業を講師（非常勤）に委託している現状では解決が難しい問題である。授業の最後の分を質問時間に当てる、講師控室の場所を周知させることなどが、当面の改善策として考えられる。
- ⑤ 「狙いの明確さ」、「講義要項との進み具合」については、全体の平均値、および前年度の値を上回った。教員の中でシラバスとの授業の整合性に対する意識が高まってきていることの表れと推察でき、今後もこの傾向を維持していくことが望まれる。
- ⑥ 「声の大きさ」、「教材などの効果」は概ね昨年度を上回るか同値で、全体値を僅かに上回る結果となった。「教室内の雰囲気」の値は昨年より低くなっているが、伸び悩む要因として、昨年まではハード面の問題が推定されていた。「自由記述欄」で教室の狭さや座席数の少なさが指摘されており、文京キャンパスでこの点は改善されるだろうと期待されたが、ハード面だけの問題ではないことも示されたこととなる。教員・学生、そして学生同士が協働しやすい環境作りに取り組む必要がある。
- ⑦ 「宿題・課題」については、「予習・復習」の場合と同じように、昨年に比べ数値は下がっており、実質的な学習時間は短くなっている。③で示した通り、他の科目等とのバランスを考えながら、現実的な学習時間の提示を行う必要がある。
- ⑧ 「理解しやすさ」は全体の平均値を僅かに上回り、「見方・考え方が深まる」については、全体の平均値を下回る結果となっている。両方ともに、外国語科目の値としては昨年度の値より低い数値となっている。スペイン語の値が依然として低いため、まずはスペイン語スタッフがこの状況を把握し、具体策を講じるよう提案したい。
- ⑨ 「満足度」については、昨年と同じ値となっている。しかし「集計結果」で示した通り、言語間でばらつきがあるので、個別の数字を各言語の担当責任者に周知し、改善を促す必要がある。
- ⑩ 「難易度」、「進度」については、それぞれ昨年は改善されつつあったが、今年は適切な値から遠ざかった値となっている。特に値が高い言語についてはクラス間で差が出

ることのないように調整を促す必要がある。

- ⑪ 「受講動機」の回答の分布については、昨年度同様消極的理由、すなわち「単位が必要」と「時間帯が空いている」が多くのパセンテージを占めている。改善策としては大学のホームページで情報を提供するという方法が考えられる。これについては昨年度から、履修の手引きの内容をホームページに掲載した。今後は授業の様子や海外の提携大学、個人研修奨学金の情報などを掲載し、受講生が入学前により多くの情報を得られるように工夫したい。
- ⑫ 昨年度の全体値と比較すると、全体的に数値の改善が見られた。しかし外国語科目では改善された項目は15項目中4項目、同値2項目で、要改善項目は9項目となっているため、多くの課題が残されている。上記で示した個々の課題を各自が認識し、改善に取り組み、着実に実行し、その成果を積み上げていくことが重要であると思われる。

以 上

6. 教養教育科目（スポーツ・トレーニング科目）

(A) 評価

I. 受講する姿勢や動機について

I-1 「学生の出席状況」

平均値 4.58（平成 26 年度調査は 4.59、平成 25 年度 4.65、平成 24 年度 4.51、平成 23 年度 4.58、平成 22 年度 4.51、平成 21 年度 4.47、平成 20 年度 4.53）。出席率 80%以上と答えた学生は 88%であった。平成 26 年度調査 88%、平成 25 年度 91%、平成 24 年度 88%、平成 23 年度 90%、平成 22 年度 88%、平成 21 年度 88%、平成 20 年度 90%であった。工学部は必修科目である。商・政経学部は平成 26 年度より必修科目からははずれている。直近 8 年間の数値にほぼ変化はない。非常に高い出席状況である。

I-2 「健康・運動への関心」

平均値 4.13（平成 26 年度調査は 4.23、平成 25 年度 4.27、平成 24 年度 4.21、平成 23 年度 4.15、平成 22 年度 4.20、平成 21 年度 4.08、平成 20 年度 4.11）。平成 26 年度は「強く関心を持つが 51.34%、そう思うが 26.82%」で 78%、平成 25 年度は「強く関心を持つが 51.69%、そう思うが 29.98%」で 81%、平成 24 年度 78%、平成 23 年度 78%、平成 22 年度 80%である。昨年度までの過去 5 年間は約 80%の学生が「健康・運動」に関心を持っていると回答した。平成 27 年度も「強くそう思う 45.03%、そう思う 31.41%」で 76%の学生が自身の健康・運動に強い関心を持っている。大変に良い傾向である。

I-3 「積極的参加」

平均値 4.52（平成 26 年度調査は 4.40、平成 25 年度 4.48、平成 24 年度 4.37、平成 23 年度 4.30、平成 22 年度 4.35、平成 21 年度 4.28、平成 20 年度 4.21）。「強くそう思う 64.06%、そう思うが 25.52%」で 90%、平成 26 年度は「強くそう思う 58.20%、そう思うが 27.34%」で 86%、平成 25 年度は「強くそう思う 60.82%、そう思うが 29.13%」で 90%、平成 24 年度では 87%、平成 23 年度調査も 87%と、今年度を含めて数値はここ数年間ほぼ変化していない。非常に高い数値である。

I-4 「受講動機の回答比率」

③の「単位が必要だから」が 50%と最も高かった。次いで⑤の「興味を持ったから」が 32%で、③と⑤で 82%を占めた。工学部の必修科目であるため、③の数値が高くなることは当然であると思えるが、⑤の「興味を持ったから」の数値も健闘したと考える。

II. 授業の内容や進め方について

II-1 「狙いの明確さ」

平均値 4.34(平成 26 年度調査は 4.37、平成 25 年度 4.36、平成 24 年度 4.33、平成 23 年度 4.25、平成 22 年度 4.33、平成 21 年度 4.23、平成 20 年度調査 4.21)。「強くそう思う 53.13%、そう思う 29.17%」で 82%、平成 26 年度調査では「強くそう思う 54.41%、そう思う 30.65%」で 85%、平成 25 年度調査では「強くそう思う 53.30%、そう思う 31.30%」で 85%、平成 24 年度は 83%、平成 23・22 年度も 84%と、ほぼ同様の数値が継続している。平成 21 年度も 84%であった。狙いの的確さについては学生の理解は非常に高い。

Ⅱ－２ 「難易度」

平均値 3.10 (平成 26 年度調査は 3.08、平成 25 年度 3.18、平成 24 年度 3.15、平成 23 年度 3.17、平成 22 年度 3.26、平成 21 年度 3.20、平成 20 年度 3.20)。「ちょうど良い」が 79%、平成 26 年度は「ちょうど良い」が 74%、平成 25 年度は「ちょうど良い」が 70%、平成 24 年度は「ちょうど良い」が 73%、平成 23 年度が 72%で、今年度調査では「ちょうど良い」と感じている人は昨年度に続きかなり増加した。

Ⅱ－３ 「進度」

平均値 3.14 (平成 26 年度調査は 3.05、平成 25 年度 3.15、平成 24 年度 3.09、平成 23 年度 3.06、平成 22 年度 3.19、平成 21 年度 3.14、平成 20 年度 3.12)。「ちょうど良い」が 88%、平成 26 年度は「ちょうど良い」が 86%、平成 25 年度は「ちょうど良い」が 83%、平成 24 年度は「ちょうど良い」が 89%、平成 23 年度は 87%であった。今年度も大変に良好な数値を示しているが、今後もまだ改善していかなければならないと思われる。

Ⅱ－４ 「説明方法・分かりやすさ」

平均値 4.20 (平成 26 年度調査は 4.17、平成 25 年度 4.15、平成 24 年度 4.22、平成 23 年度 4.11、平成 22 年度 4.23、平成 21 年度 4.02、平成 20 年度 4.08)。「強くそう思う 48.96%、そう思う 25.00%」で 74%、平成 26 年度は「強くそう思う 51.91%、そう思う 18.70%」で 71%、平成 25 年度は「強くそう思う 45.75%、そう思う 26.36%」で 72%、平成 24 年度では 74%、平成 23 年度では 71%、平成 22 年度は 77%、平成 21 年度 69%、平成 20 年度 71%と、ここ数年ほぼ横ばい状態となっている。もちろん良好な傾向がうかがえるわけだが、まだまだ教員自身の改善努力が必要な項目になっていると考えられる。より良い変化の兆しを来年度は見せられるようにしたいものである。

Ⅱ－５ 「話し方や声の聞き取りやすさ」

平均値 4.50 (平成 26 年度調査は 4.52、平成 25 年度 4.45、平成 24 年度 4.48、平成 23 年度 4.38、平成 22 年度 4.45、平成 21 年度 4.36、平成 20 年度 4.41)。「強くそう思う 66.67%、そう思う 18.23%」で 85%、平成 26 年度は「強くそう思う 65.10%、そう思う 23.14%」で 88%、平成 25 年度は「強くそう思う 61.73%、そう思う 23.30%」で 85%、平成 24 年度は「強くそう

思う 65.84%、そう思う 23.47%」で 89%、平成 23 年度は 86%、平成 22 年度 89%であった。この項目の値も今後ともまだ教員各自が努力し、設定目標値に到達させなければいけないと考えられる。

Ⅱ－6 「学生とのコミュニケーション」

平均値 4.34（平成 26 年度調査は 4.37、平成 25 年度 4.25、平成 24 年度 4.38、平成 23 年度 4.32、平成 22 年度 4.44、平成 21 年度 4.29、平成 20 年度 4.30）。「強くそう思う 56.48%、そう思う 23.32%」で 80%、平成 26 年度は「強くそう思う 58.30%、そう思う 23.94%」で 82%、平成 25 年度は「強くそう思う 49.58%、そう思う 29.78%」で 79%、平成 24 年度は「強くそう思う 56.74%、そう思う 26.59%」で 83%、平成 23 年度は 82%、平成 22 年度は 86%の学生が「学生とのコミュニケーション」の項目を高く評価している。例年と比べ大きな変化はないが、この項目の目標値はまだクリアできていない。

Ⅱ－7 「リーダーシップ」

平均値 4.42（平成 26 年度調査は 4.42、平成 25 年度 4.36、平成 24 年度 4.42、平成 23 年度 4.36、平成 22 年度 4.46、平成 21 年度 4.32、平成 20 年度 4.32）。「強くそう思う 62.50%、そう思う 20.31%」で 83%、平成 26 年度は「強くそう思う 59.39%、そう思う 24.14%」で 84%、平成 25 年度は「強くそう思う 54.08%、そう思う 29.76%」で 84%、平成 24 年度は「強くそう思う 56.85%、そう思う 29.27%」で 86%である。平成 23 年度は 85%で、平成 22 年度は 87%であった。悪い数値ではないが、未だに一度も設定目標値をクリアできていない。「民主的・協調的リーダーシップ」は指導スキルには欠かせないものであるため、今後とも鋭意向上を目指さなければいけない項目と考えられる。

Ⅱ－8 「授業の雰囲気」

平均値 4.55（平成 26 年度調査は 4.42、平成 25 年度 4.42、平成 24 年度 4.48、平成 23 年度 4.37、平成 22 年度 4.46、平成 21 年度 4.34、平成 20 年度 4.36）。「強くそう思う 68.75%、そう思う 18.75%」で 88%、平成 26 年度は「強くそう思う 60.54%、そう思う 23.75%」で 84%、平成 25 年度は「強くそう思う 55.93%、そう思う 31.36%」で 87%、平成 24 年度は「強くそう思う 58.80%、そう思う 30.15%」で 89%、平成 23・22 年度も 86%であり、この項目も過去と比較してみてもあまり変化はない。毎年高い水準はキープしている。この項目に影響を与える要素は、学生間の集団力学、施設設備、備品などであると考えられるが、教員の指導スキルが最も影響する項目でもある。設定目標値は高く 90%である。しかし、未だに達成できていない。鋭意努力し、更に向上を目指す必要がある項目と考えられる。

Ⅱ－9 「理解しやすさ」

平均値 4.44（平成 26 年度調査は 4.41、平成 25 年度 4.38、平成 24 年度 4.37、平成 23 年度

も 4.37、平成 22 年度 4.41、平成 21 年度 4.29、平成 20 年度 4.30)。「強くそう思う 59.07%、そう思う 26.94%」で 86%、平成 26 年度は「強くそう思う 59.39%、そう思う 24.52%」で 84%、平成 25 年度は「強くそう思う 53.73%、そう思う 31.53%」で 85%である。平成 24 年度は「強くそう思う 55.09%、そう思う 31.13%」で 86%、平成 23 年度は 84%、平成 22 年度は 86%であった。平成 24 年度、平成 22 年度に続き達成目標値の 85%をクリアした。実技が中心の授業であるから「理解しやすさ」は当然であるとの認識もあろうが、トレーニングに関する知識には若干複雑な要素があり、説明に工夫が必要である。今後とも高い数値をキープしていくために、さらに努力していかねばならない項目であろう。

Ⅱ－１０ 「知識・技術が身につく」

平均値 4.30(平成 26 年度調査は 4.27、平成 25 年度 4.25、平成 24 年度 4.23、平成 23 年度 4.26、平成 22 年度 4.28、平成 21 年度 4.13、平成 20 年度 4.16)。「強くそう思う 52.08%、そう思う 27.08%」で 79%、平成 26 年度は「強くそう思う 51.92%、そう思う 26.92%」で 79%、平成 25 年度は「強くそう思う 47.63%、そう思う 32.20%」で 80%、平成 24 年度は「強くそう思う 44.74%、そう思う 37.59%」で 82%、平成 23・22 年度はともに 82%であった。前回、前々回同様、高い数値をキープしている。重要な項目であるのでさらに数値が向上するように努力する必要がある。継続して目標値を達成していたが、昨年度と同様今年度もわずかに目標値を下回ってしまった。来年度は再び目標値 80%をクリアしたいと考えている。

Ⅱ－１１ 「健康・体力維持に役立つ」

平均値 4.42 (平成 26 年度調査は 4.38、平成 25 年度 4.33、平成 24 年度 4.33、平成 23 年度 4.36、平成 22 年度 4.38、平成 21 年度 4.22、平成 20 年度 4.19)。「強くそう思う 59.90%、そう思う 23.44%」で 83%、平成 26 年度は「強くそう思う 58.08%、そう思う 25.77%」で 84%、平成 25 年度は「強くそう思う 50.93%、そう思う 33.79%」で 85%、平成 24 年度は「強くそう思う 50.47%、そう思う 35.08%」で 85%、平成 23 年度 85%、平成 22 年度が 86%であった。以前は約 80%前後の数値であったが、4 年前より継続して数値は達成目標値 85%前後をクリアしている。今後とも継続していききたい数値であるとする。しかし、今年度は達成目標値を 2%下回っている。現在目標値は 85%に設定しているが、90%以上を目標値に設定しなおすべき項目かもしれない。高い数値をキープできるように今後とも鋭意努力していききたい。

Ⅲ総合的に見て、この授業に満足していますか

平均値 4.53(平成 26 年度調査は 4.47、平成 25 年度 4.42、平成 24 年度 4.43、平成 23 年度 4.39、平成 22 年度 4.46、平成 21 年度 4.34、平成 20 年度 4.35)。「強くそう思う 65.63%、そう思う 22.40%」で 88%、平成 26 年度は「強くそう思う 64.23%、そう思う 21.92%」で 86%、平成 25 年度は「強くそう思う 59.22%、そう思う 26.62%」で 86%、平成 24 年度は「強くそう思う 60.04%、そう思う 26.45%」で 86%である。昨年までの過去 3 年間は 86%であった。達成目標

値は 90%である。90%に近い数値が今回の調査でも得られているが、未だに達成目標値はクリアされていない。継続して鋭意努力していきたいと考えている。

IV. スポーツ・トレーニング用の独自の設問項目

IV-1 「希望種目」

平均値 4.47(平成 26 年度調査は 4.49、平成 25 年度 4.35、平成 24 年度 4.28、平成 23 年度 4.15、平成 22 年度 4.19、平成 21 年度 4.09、平成 20 年度 4.22)。この調査項目に関しては、体育の実技科目が工学部は継続して必修科目であり、商・政経学部は今年度より配当なし、また外国語学部は自由科目とその扱いが異なっているため、データとして正しい評価は出来ないと考える。恐らく、工学部の学生はあらかじめ定められた受講時間であるがゆえに、種目選択に学生個人の意思があまり反映されていない。したがって「単位取得のため」の科目となり、種目選択の動機の特定は困難となる。しかし「スポーツ種目」はなるべく希望種目が選べるように、継続して出来得る限りの配慮を考えていきたい

IV-2 「時間帯」

平均値 4.44(平成 26 年度調査は 4.36、平成 25 年度 4.06、平成 24 年度 3.92、平成 23 年度 3.93、平成 22 年度 3.97、平成 21 年度 3.80、平成 20 年度 3.92)。数値は高いが必修科目として時間帯が設定されてしまっている学生がほとんどである。時間帯は学生の満足は十分には得ていないと考えている。特に 1 時限目の体育実技授業は運動するのに相応しいとは思われない。しかしこの考え方はもちろん決定的なものではない。現在の授業時間設定は必修科目としての体育実技ということを考えればやむをえないものである。また、今後の改善課題でもあると考えられる。

IV-3 「次年度の履修希望」

平均値 3.82 (平成 26 年度調査は 3.81、平成 25 年度 3.68、平成 24 年度 3.47、平成 23 年度 3.56、平成 22 年度 3.60、平成 21 年度 3.51、平成 20 年度 3.54)。1 年次を終了して 2 年次以降に履修したい学生の比率が、前年度と比べ今年度もわずかだが上昇していた。良い傾向を示している。「希望種目」「時間帯」の設問と同様に 1 年生のみに限定して調査する必要性を感じる。

2) 課題

- ① 平成 17 年度の達成値を参考にして、平成 18 年度以降の「達成する目標値」を設定した(表 1 参照)。この数値は努力目標値であり決して義務目標値ではない。また数字の根拠となる理論も明確には無い。しかし、「努力目標数値」と考え、時間をかけて努力していくと根拠のある数値を見つけることができるであろうという前提のもとで設定している。「希望種目」「時間帯」「次年度履修希望」には「達成目標値」を設定してはいない。
- ② 表 1 の達成値はアンケートの調査項目で、「⑤強くそう思う、④そう思う」、と回答した学生の割合である。但し、「難易度」「進度」については、「③ちょうど良い」と解答した

学生の割合である。また、表の項目の「達成・未達成・増減」は、達成目標値を達成した項目は◎印、未達成は×印で表し、そして、今回の調査が前年度に比べて増加した場合は↑、減少した場合は↓、横這いは→で表している。数値は小数点以下は四捨五入している。

表 1 「年度別達成値」と「達成目標値」の推移

	調査項目	22年度 達成値	23年度 達成値	24年度 達成値	25年度 達成値	26年度 達成値	27年度 達成値	達成 目標値	◎達成
I-1	学生出席状況	88%	90%	88%	91%	88%	88%	95%	×→
I-2	健康・運動関心	80%	78%	78%	81%	78%	76%	80%	×↓
I-3	積極的参加	87%	87%	87%	90%	86%	90%	85%	◎↑
II-1	狙いの明確さ	84%	84%	83%	85%	85%	82%	80%	◎↓
II-2	難易度	72%	71%	73%	70%	74%	79%	80%	×↑
II-3	進度	85%	87%	89%	83%	86%	88%	85%	◎↑
II-4	説明方法	77%	71%	74%	72%	71%	74%	75%	×↑
II-5	話し方・声の大きさ	89%	86%	89%	85%	88%	85%	87%	×↓
II-6	コミュニケーション	86%	82%	83%	79%	82%	80%	85%	×↓
II-7	教員のリーダーシップ	87%	85%	86%	84%	84%	83%	88%	×↓
II-8	授業の雰囲気	86%	86%	89%	87%	84%	88%	90%	×↑
II-9	理解しやすさ	86%	84%	86%	85%	84%	86%	85%	◎↑
II-10	知識・技術の習得	82%	82%	82%	80%	79%	79%	80%	×→
II-11	健康・体力維持	86%	85%	85%	85%	84%	83%	85%	×↓
III	総合的な満足度	86%	88%	86%	86%	86%	88%	90%	×↑
IV-1	希望種目								
IV-2	時間帯								
IV-3	次年度履修希望								

総括

- ① 「達成目標値」をクリアした項目：4項目
- ② 「達成目標値」をクリアできなかった項目：11項目
- ③ 「達成目標値」に一層の努力を要する項目：「学生出席状況」、「健康・運動関心」、「コミュニケーション」、「教員のリーダーシップ」の4項目

備考

◆ 平成 28 年度の努力目標設定

平成 27 年度と平成 26 年度を比較すると、達成目標値をクリアした項目数は同じであった。現状維持であった。教員が共通意識を持ち、努力をした結果は数値に正確に表れると思える。更なる努力次第で未達成項目の達成は可能と前向きに考え、来年度もまた頑張りたい。平成 27 年度も「体育教員室」に努力目標として「説明方法を改善しよう」のポスターを継続して掲示した。学生の評価結果としては十分に効果があったと思える。文教キャンパスにおける体育実技授業は平成 27 年度より教職科目履修者のみである。トレーニング場としては少々狭い空間であるが、素晴らしい施設が文京キャンパスには整えられている。近い将来、教職科目履修者だけではなく一般学生の履修も可能にならないかと考えている。

◆ 討議のための参考資料として「表 2」を作成した。「表 1」の補完として利用できる。

表 2 「各年度の平均値の推移」

	調査項目	21 年度 平均値	22 年度 平均値	23 年度 平均値	24 年度 平均値	25 年度 平均値	26 年度 平均値	27 年度 平均値
I-1	学生出席状況	4.47	4.47	4.58	4.51	4.65	4.59	4.58
I-2	健康・運動関心	4.08	4.08	4.15	4.21	4.27	4.23	4.13
I-3	積極的参加	4.28	4.28	4.30	4.37	4.48	4.40	4.52
II-1	狙いの明確さ	4.23	4.23	4.25	4.33	4.36	4.37	4.34
II-2	難易度	3.20	3.20	3.17	3.15	3.18	3.08	3.10
II-3	進度	3.14	3.14	3.06	3.09	3.15	3.05	3.14
II-4	説明方法	4.02	4.02	4.11	4.22	4.15	4.17	4.20
II-5	話し方・声の大きさ	4.36	4.36	4.38	4.48	4.45	4.52	4.50
II-6	コミュニケーション	4.29	4.29	4.32	4.38	4.25	4.37	4.34
II-7	教員のリーダーシップ	4.32	4.32	4.36	4.42	4.36	4.42	4.42
II-8	授業の雰囲気	4.34	4.34	4.37	4.48	4.42	4.42	4.55
II-9	理解しやすさ	4.29	4.29	4.37	4.37	4.38	4.41	4.44
II-10	知識・技術の習得	4.13	4.13	4.26	4.23	4.25	4.27	4.30
II-11	健康・体力維持	4.22	4.22	4.36	4.33	4.33	4.38	4.42
III	総合的な満足度	4.34	4.34	4.39	4.43	4.42	4.47	4.53
IV-1	希望種目	4.09	4.09	4.15	4.28	4.35	4.47	4.47
IV-2	時間帯	3.80	3.80	3.93	3.92	4.06	4.36	4.44
IV-3	次年度履修希望	3.51	3.51	3.56	3.47	3.68	3.81	3.82

以上

7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の対象となる教職課程・社会教育主事・日本語教員養成基礎講座の科目数は教職課程講座25科目、社会教育主事講座2科目、日本語教員養成基礎講座4科目であり、全体では31科目であった。

「Ⅲの満足度」について3講座全体で見ると、昨年度の平均値4.24、本年度が平均値4.23であり、ほとんど変わりがなかった。⑤「強くそう思う」が47.31%（昨年44.74%）、④「そう思う」が33.24%（昨年は38.41%）で全体的に満足度が上がっている。例年、後期の学生アンケートでは高めになる傾向がみられるが、それだけではなく各講座の授業改善がすすんだ結果と考えたい。

教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目の評価及び課題について

○教職課程について

I 受講する姿勢や動機について

I-1 教職科目全体での「学生の出席状況」を見ると、平均値は4.55（標準偏差0.66）であり、昨年の4.45（標準偏差0.70）より上がっており、出席率が90%以上の学生が63.45%（昨年57.74%）、及び80%以上の学生が28.83%（昨年30.69%）であった。出席状況は、90%以上が増え、80%以上が減る傾向がみられ、教職科目の履修学生の出席状況は全体的に良好であるといえる。現状では、大多数の学生は履修できているので心配する状況ではない。

このことは教員免許を取得し教師を目指すという明確な目標があり、目的意識の高い学生が多いことによると考えられる。しかし、一方、途中で履修を放棄したり、欠席しがちな学生も若干みられる。また、運動部学生では試合等でやむ負えない欠席もみられる。

I-2 「授業内容についてノートやメモをとるか」についての回答は、昨年度は平均値4.11（標準偏差0.99）、本年度は平均値4.14（標準偏差1.04）であり、昨年よりわずかではあるが上がっている。出席状況と同じく、ノートやメモをとる学生が「90%以上」及び「80%以上」の受講者の合計で見ると、昨年（76.3%）とほぼ同じの77.6%と4分の3以上の学生がとっている。

I-3 「予習・復習」をするかについては、一昨年度は平均値1.65（標準偏差0.94）、昨年度は平均値1.63（標準偏差0.91）、今年度は平均値1.59（標準偏差0.85）と年々減少傾向にある。学生の大半が予習・復習をやらず（1時間以内87.31%）に授業に臨んでいることになる。教職履修学生であることを考えるとこの傾向は深刻である。課題や事前学習を宿題として課すなど、授業に工夫を凝らすことが求められている。

- I-4 「受講の動機」は③「単位が必要だから」70.67%が圧倒的に多く（昨年 69.58%）、次いで⑤「教員にひかれて」が 13.31%である。昨年は2番目には⑤「講義要項を読んで」が 14.2%であり、今年度は 11.24%で3番目であった。やはり、教員免許取得の資格講座などのため教職にかかわる科目の単位取得が多いと思われるが、講義要項の内容を読んで履修する学生も増えてきてはいる。
- I-5 「質問に行く（オフィスアワー等）」は、今年度は平均値 1.52（標準偏差値 0.97）であり、昨年度は平均値 1.46（標準偏差値 0.91）と、ほとんどの学生が行っていない実態がわかる。教職課程等の講座は全学部を対象とする講座が多く、担当教員も講師の先生が多いためと考えられる。指導教員は学生とのコミュニケーションを密にし「履修カルテ」などを用いて相談等に気軽に応える関係を築くことが必要になってくると考える。

II 授業の内容や進め方について

- II-1 「授業の狙いの明確さ」については、一昨年度は平均値 4.04（標準偏差 0.93）、昨年度は平均値 4.21（標準偏差 0.86）、本年度は平均値 4.22（標準偏差 0.91）と、授業の狙いが多く多くの学生に理解されていることを示している。
- II-2 「授業の難易度」については、一昨年度は平均値 3.39（標準偏差 0.65）、昨年度は平均値 3.29（標準偏差 0.60）、本年度は平均値 3.34（標準偏差 0.62）であり、③「ちょうどよい」という学生（66.13%）がほとんどであるが、④「やや難しい」も 28.23%おり、わかりやすい授業を心掛ける必要があるように思われる。
- II-3 「講義要項に沿った授業」は、昨年度は平均値 4.21（標準偏差 0.82）であり、今年度は平均値 4.27（標準偏差 0.84）であり、ほぼ講義要項に沿って授業がなされていたことがわかる。
- II-4 「授業の進度」については、一昨年度は平均値 3.18（標準偏差 0.59）、昨年度は平均値 3.13（標準偏差 0.49）、本年度は平均値 3.11（標準偏差 0.51）と、ここ数年ほぼ同様である。③「どちらとも言えない」が 85.48%であり、ほぼ理解できる進捗と思われる。
- II-5 「話し方や声の聞き取りやすさ」では、一昨年度は平均値 4.21（標準偏差 0.38）、昨年度は平均値 4.15（標準偏差 1.02）、本年度は平均値 4.34（標準偏差 0.88）と、高い傾向にあり特段問題ないと考えられる。
- II-6 「教材等の有効性」では、昨年度は平均値 4.11（標準偏差 0.96）、本年度は平均値 4.21（標準偏差 0.91）とほとんど変わらない。八王子国際キャンパスでは電子黒板を導入した講義も行われたが、今後も教育機器を活用した授業の改善がのぞまれるところである。
- II-7 「学習にふさわしい雰囲気」では、一昨年度は平均値 4.22（標準偏差 0.88）、昨年度は平均値 4.28（標準偏差 0.89）、本年度は平均値 4.34（標準偏差 0.87）となって

いる。教職課程の授業であり、静謐な教育環境は欠かせない。

- Ⅱ－8 「宿題・課題の適切さ」は、昨年度が平均値 3.96（標準偏差 1.02）であり今年度は平均値 3.98（標準偏差 0.98）と、ほとんど変わらない。Ⅰ－3「予習・復習」と関連する項目であるが、宿題・課題がないので大変でないのか、あっても負担になっていないのか、今後検討する必要がある。①「全くそう思わない」（50.81%）、②「そう思わない」（26.83%）となり 77.6%の学生が思わない、と回答している。
- Ⅱ－9 「学習内容の理解」では、一昨年度は平均値 3.80（標準偏差 0.96）、昨年度は平均値 4.01（標準偏差 0.91）、本年度は平均値 4.05（標準偏差 0.91）でわずかではあるが向上しつつある。⑤（36.78%）と④（36.64%）の学生が全員になるよう、分かり易く理解しやすい授業を心掛けることが必要である。
- Ⅱ－10 「ものの見方や考え方が深まる」では、一昨年度は平均値 3.86（標準偏差 0.92）、昨年度は平均値 3.86（標準偏差 1.02）、本年度は平均値 4.08（標準偏差 0.96）であり向上している。教職課程の履修学生であることを考えるともっと高い平均値がのぞまれる。視野の広い、高い志をもった教員養成を心掛ける必要がある。
- Ⅲ 「総合的な満足度」は、授業改善にむけての最重要な評価項目であるが、一昨年度は平均値 3.96（標準偏差 0.94）、昨年度は平均値 4.24（標準偏差 0.86）、本年度は平均値 4.23（標準偏差 0.88）であり一昨年度とほぼ同じになっている。⑤「強くそう思う」が 47.31%、④「そう思う」が 33.24%であり、⑤と④の回答が多いことがわかり、教職科目の授業に満足している学生が多いことがわかる。しかし、5人に1人は満足していないのであり、今後は、学生全員が満足できるような授業を目指して、工夫改善を行うよう心掛ける必要がある。

教職課程等の科目においては、今年度は、昨年の調査と全体的にはほぼ同じ平均値であるが、いくつかの調査項目において昨年よりも平均値が向上する傾向がみられた。

Ⅱの『授業の内容や進め方について』においては、1「授業の狙いの明確さ」（4.22）、3「講義要項に沿った授業」（4.27）、5「声の大きさ」（4.34）、6「教材等の効果」（4.21）、7「学習環境の雰囲気」（4.34）、9「理解しやすさ」（4.05）、10「見方・考え方が深まる」（4.08）などは平均値が4以上であり、全体的に見れば授業は適切に行われていると判断できる。

しかし、Ⅰ『受講する姿勢や動機について』の3「予習・復習」をするかについては 58.62%の学生が「①しない」と答え、5「質問に行く」は 71.65%の学生が「①行かない」と答えており、このことを踏まえた教員側の積極的な働きかけが、今後の授業改善に結びつくものとする。

このことを強く意識しながら一層の授業改善に努めたい。

○日本語教員養成基礎講座について

日本語教員養成基礎講座の科目は全部で 12 あり、そのうち、2015 年度後期に授業が行

われたものが5科目、そのうち、「授業改善のための学生アンケート」が実施されたものは4科目であった。

アンケート結果を見ると、Ⅲ「総合的に見て、この授業に満足していますか。」の平均値が4.44（標準偏差0.71）であり、例年同様、総合的に見て、本講座の授業が高い評価を得ていることがわかる。

以下、アンケート結果を項目別に見ていく。

I 「受講する姿勢や動機について」

1 「あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。」、2 「あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。」については、ともに平均値が4.0を超えており（1の平均値は4.47（標準偏差0.79）、2の平均値は4.21（標準偏差1.01））、授業態度が熱心な受講生が多いことがうかがえる。

一方、3 「あなたはこの科目について、毎回どのくらい予習あるいは復習をしていますか。」については、平均値が1.48（標準偏差0.79）であり、これは、ほぼまったく予習・復習をしていないか、していても1時間に満たないものが多いことを示している。また、4 「授業時間以外に先生へ質問に行くこと（オフィスアワー等）がありますか。」については、平均値が1.80（標準偏差1.25）であり、多くの者が質問に行っていないようである。ただし、質問に行く者がまったくいないわけではないようである（標準偏差の高さにそれが現れている）。

4 「この授業を受講した動機はなんですか。」については、「この時間帯が空いていたから」を選んだものが最も多く（41.5%）、続いて「単位が必要だから」（36.9%）、「単位取得が楽だから」（15.4%）、「講義要項を読んで興味を持ったから」（6.2%）となっている（「教員にひかれて」は0.0%）。この結果を、教職課程・社会教育主事講座と比べてみると、「単位が必要だから」が際立って低く（教職課程は73.7%、社会教育主事講座は80.0%）、「この時間帯が空いていたから」が比較的高い（教職課程は8.4%、社会教育主事講座は10.0%）といえる。

この結果から、本講座の受講生は、それほど強い動機づけがあつて授業をとっているわけではないようすがうかがえる。そもそも日本語教員については公的な資格（免許）制度がなく、本講座を修了しても必ずしも日本語教員の資格をとったと認められるわけではない。そのことが「単位が必要だから」の数字の低さに現れているように思うが、見方によっては、それでも、「この時間帯が空いていたから」と言つて、一定の受講生が集まり、比較的熱心に授業に参加し、授業の満足度も高いというのは、本講座の需要の高さを物語るものではないかと思う。

II 「授業の内容や進め方について」

ここの設問については、いずれも評価が高く、本講座の授業が高い評価を得ていることがうかがえる。

細かく見ると、2・4以外の設問では（2・4では、選択肢③が「ちょうど良い」とな

る)、平均値が 4.0 を超えている。1 「授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。」は平均値 4.22 (標準偏差 0.90)、3 「講義要項に沿って授業が行われていますか。」は平均値 4.19 (標準偏差 0.86)、5 「話し方や声は聞き取りやすいですか。」は平均値 4.58 (標準偏差 0.67)、6 「教材等 (教科書・配布資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ) は授業内容を理解するのに有効ですか。」は平均値 4.33 (標準偏差 0.82)、7 「教室内は学習にふさわしい雰囲気に保たれていますか。」は平均値 4.65 (標準偏差 0.58)、8 「この授業は、宿題・課題等が適切に出されていると思いますか。」は平均値 4.32 (標準偏差 0.77)、9 「内容はよく理解できましたか。」は平均値 4.44 (標準偏差 0.74)、10 「この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。」は平均値 4.17 (標準偏差 1.15) となっている。

2 「授業の難易度はどうですか。」、4 「授業の進度はどうですか。」については、選択肢③が「ちょうど良い」であるが、これを選んだ者が多く(2の平均値は 3.21(標準偏差 0.49)、4の平均値は 3.00 (標準偏差 0.27))、ほとんどの者が難易度・進度ともに「ちょうど良い」と思っている様子が見える。

以上をまとめると、本講座は、受講生の動機づけがそれほど高くないにもかかわらず、学習に熱心な者が多く、授業に対する評価も高いといえる。これは、担当教員の授業に対する工夫や努力によるところも大きいのではないかと考える。

今後の課題は、授業内容をきちんと理解し、ものの見方や考え方をさらに深めるためにも、予習や復習、教員への質問などを積極的に行うように、受講生に働きかけていくことであろう。これが、さらなる授業改善につながると思う。

以上

参考資料－実施要領

実施要領

1. 目的

教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること。

2. 対象科目

担当科目のうち、履修登録者数の多い科目（原則として履修登録者20名以上のもの）の中から2科目程度を選択し実施する。講師（非常勤）の場合は、1科目以上とする。

専門教育及び教養教育等（教職・社教・日語を含む）の両分野の科目を担当している場合は、それぞれ1科目以上を実施する。

なお、国際学部では、従来どおり原則として全科目を対象に実施する。

3. 実施期間：平成27年11月16日（月） ～ 平成27年12月22日（火）

（予備日：平成28年1月6日（水） ～ 平成28年1月12日（火）

4. 実施科目の届出

教員は、実施届出用紙に必要事項（実施科目、実施日等）を記入し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。（国際学部開設科目は、原則として全科目を実施対象とするため、届出は不要。）

5. アンケート用紙

アンケート用紙は、「講義等科目用」、「スポーツ・トレーニング科目用」、「工学部実験・実習科目用」の3種類とする。（添付のアンケート様式参照）

6. 実施当日の手順

（1）アンケート用紙及び回収用封筒を学務課・教員控室等から受け取る。

（2）授業時間の一部（30分程度）を利用し、アンケートを実施・回収する。

アンケートの回収は、受講生個人を特定できないようにするため、受講生の協力を得て行う。アンケートの実施・回収、枚数の確認・枚数記載、および封筒の厳封は受講生によって行う。

（3）回収用封筒に必要事項（アンケート枚数等）を記入し、実施日中に学務課・八王子学務課へ提出する。原則として後日提出は受け付けない。

7. 科目別集計表の作成

- (1) 集計作業は、外部の業者に委託する。
- (2) 実施科目については、科目別集計表を作成する。
- (3) 科目別集計表は、担当教員に学生が記入したアンケート用紙（自由意見欄を含む）とともに送付する。

8. 実施結果のとりまとめ

- (1) 担当教員は、科目別集計表の「科目別集計結果に対する所見」欄を作成し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。
- (2) FD委員会は、実施結果報告書 第Ⅰ部 全体集計、第Ⅱ部 科目別集計を作成する。
- (3) 各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書にまとめるにあたって、学部、学科、コース、分野等別において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。

実施結果報告書第Ⅰ部の記載項目は、「Ⅱ実施状況」、「Ⅲ全体集計」及び「Ⅳコース・分野・学科別集計」をもとに、各学部等の「Ⅴ評価及び課題」をA4サイズ7枚程度（11,000字程度）にまとめる。

9. 活用方法

- (1) 実施報告書を教員に配布し、教員は自己の授業の改善に役立てる。
- (2) 各学部自己点検・評価委員会（または「FD委員会」）においてアンケートの結果をもとに、組織的に授業改善の方策を検討する。
- (3) 学長は、アンケートの結果をもとに、必要な改善策を検討する。

以 上

アンケート様式

アンケート様式（講義等科目用）

アンケート様式（スポーツ・トレーニング科目用）

平成27年度 「授業改善のための学生アンケート」 工学部・実験・実習科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をよりよいものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答え下さい。

授 業 科 目 等		担 当 教 員 名	
--------------	--	--------------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学 年	1年	2年	3年	4年	その他									
	○	○	○	○	○									
学 科	経営	国語	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	電子	情工	デザイン	国際	その他
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-3	授業の進捗はどうか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	II-4	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①
I-2	あなたはこの授業のために事前準備を行っていますか。	⑤	④	③	②	①	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	⑤	④	③	②	①
I-3	あなたはこの授業のレポート作成にまじめに取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①	II-6	教材等(実験機材・教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ・模型)は授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
I-4	あなたの受講態度(遅刻状況、授業への集中度、私語の有無などの総合評価)はどうか。 ⑤非常に良かった ④良かった ③普通 ②悪かった ①非常に悪かった	⑤	④	③	②	①	II-7	教材(実験機材・テキスト・配付資料・OHP・ビデオ・模型など)の使用は適切ですか。	⑤	④	③	②	①
							II-8	教室内は学習にふさわしい雰囲気 に保たれていますか。	⑤	④	③	②	①
II-9							II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	II-10	この授業のテーマに関する知識 あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
II-1	授業の狙いや重要なポイントは 明確に示されていますか。	⑤	④	③	②	①	II-11	この授業を通じてものの見方や 考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
II-2	授業の難易度はどうか。 ⑤難すぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさすぎる	⑤	④	③	②	①	III	総合的に見て、この授業に満足 していますか。	⑤	④	③	②	①

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

科目別集計様式

平成27年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（講義等科目用）

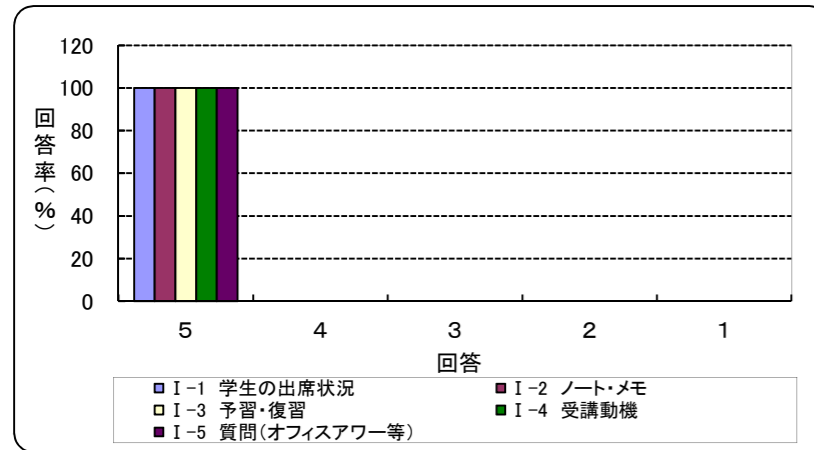
整理番号	1-E-***				科目名	*****												科目コード	*****			
実施年月日	****/**/**		教室コード		****	キャンパス	****	曜日	*	時限	*	期別	前期	科目分類	**:******							
学年	1年	2年	3年	4年	その他	学科	経営	国産	会計	法政	経済	英米	中国	スベ	機械	電子	情工	デザ	国際	その他	回答者	履修者
件数	7	0	0	0	4	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	11	***

1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

設問項目	有効回答数	エラー件数	5	4	3	2	1	0	標準偏差	全体平均値	注)参照
I-1 学生の出席状況	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-2 ノート・メモ	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-3 予習・復習	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-4 受講動機 (複数回答)	11	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-5 質問(オフィスアワー等)	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-1 狙いの明確さ	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-2 難易度	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-3 講義要項との進み具合	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-4 進捗	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-5 声の大きさ	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-6 教材等の効果	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-7 教室内の雰囲気	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-8 宿題・課題	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-9 理解しやすさ	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-10 見方・考え方が深まる	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
III 満足度	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
IV-1 開始・終了時間	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
IV-2 出欠確認	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
IV-3 学生の私語	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
IV-4 進級・所属コース	10	0	10	0	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0

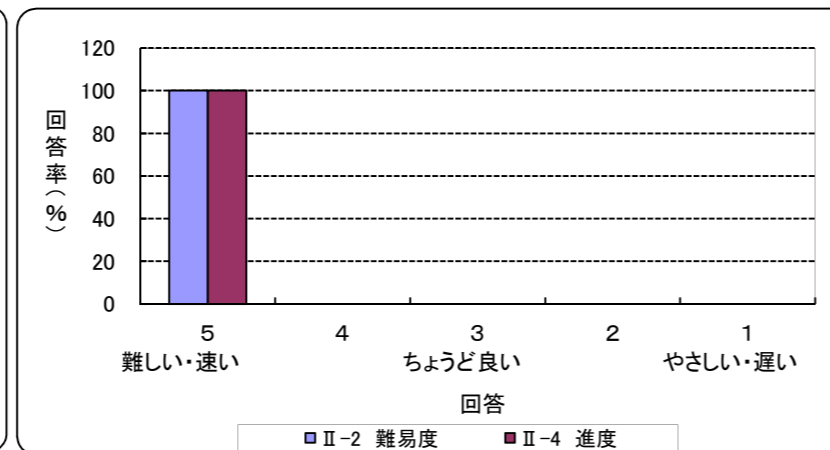
注)平均値:授業の出席率が90%以上の学生による回答
 【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

2. 受講する姿勢や動機について(回答の分布)



3. 授業の内容や進め方

1) 難易度・進捗(回答の分布)



2) 内容・進め方(平均値)



3) 授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



所属	***	身分	**	フリガナ	*** **
所属コード	***	身分コード	**	担当教員名 教員コード	*** ** ****

科目別集計に対する担当教員の所見

1. 自由意見欄での主な要望・指摘

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

3. 改善に向けた今後の取組方針

※字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入してください。

平成27年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（スポーツ・トレーニング科目用）

整理番号	1-F-***				科目名	*****														科目コード	****		
実施年月日	****/**/**		教室コード		****	キャンパス	***		曜日	*	時限	*	期別	*	科目分類				**:****				
学年	1年	2年	3年	4年	その他	学科	経営	国ビ	会計	法政	経済	英米	中国	スベ	機械	電子	情工	デザ	国際	その他	回答者	履修者	
件数	10	0	0	0	2	件数	5	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	**

所属	****	身分	**	フリガナ	**** ****
所属コード	***	身分コード	**	担当教員名 教員コード	**** **** ****

科目別集計に対する担当教員の所見

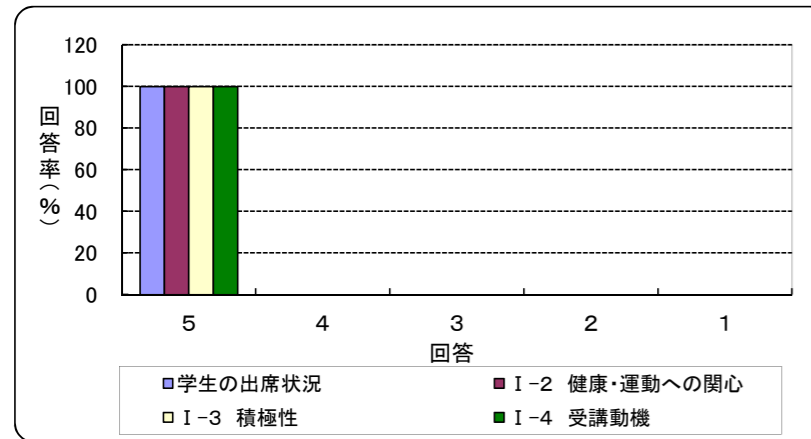
1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

設問項目	有効回答数	エラー件数	5	4	3	2	1	標準偏差	全体平均値	注)参照
I-1 学生の出席状況	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-2 健康・運動への関心	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-3 積極性	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-4 受講動機 (複数回答)	12	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-1 狙いの明確さ	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-2 難易度	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-3 進捗	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-4 説明方法	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-5 声の大きさ	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-6 学生とのコミュニケーション	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-7 リーダーシップ	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-8 授業の雰囲気	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-9 理解しやすさ	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-10 知識・技術が身につく	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-11 健康・体力維持に役立つ	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
III 満足度	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
IV-1 希望種目	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
IV-2 時間帯	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
IV-3 次年度の履修希望	100	0	100	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0

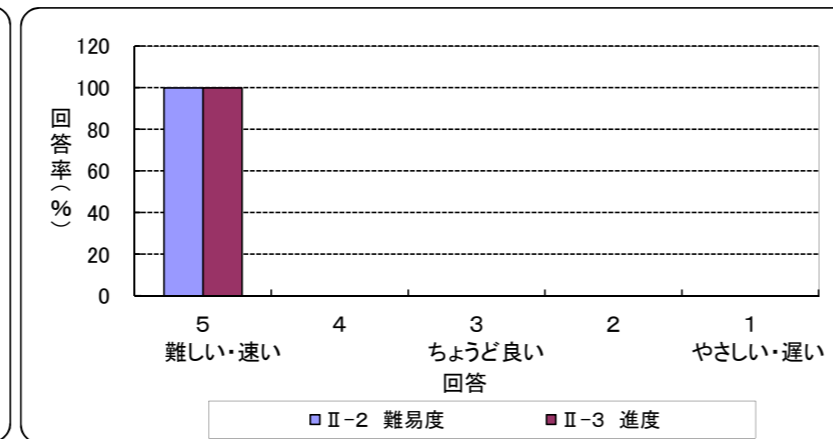
注) 平均値: 授業の出席率が90%以上の学生による回答

【選択肢の凡例】 5: 強くそう思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: そう思わない 1: 全くそう思わない

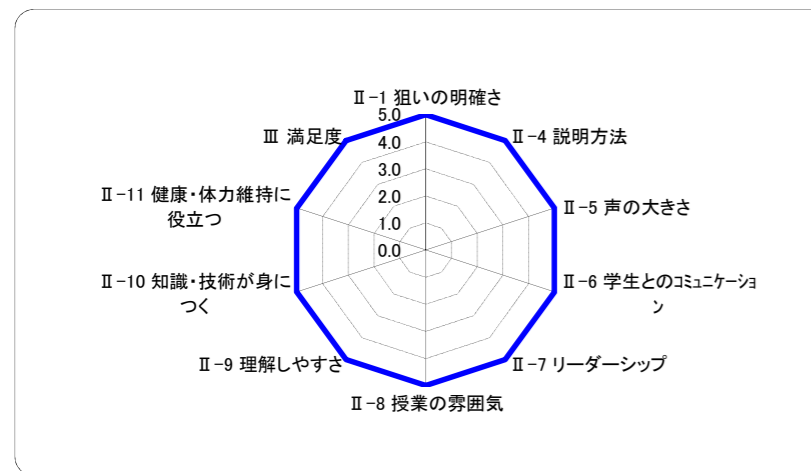
2. 受講する姿勢等について(回答の分布)



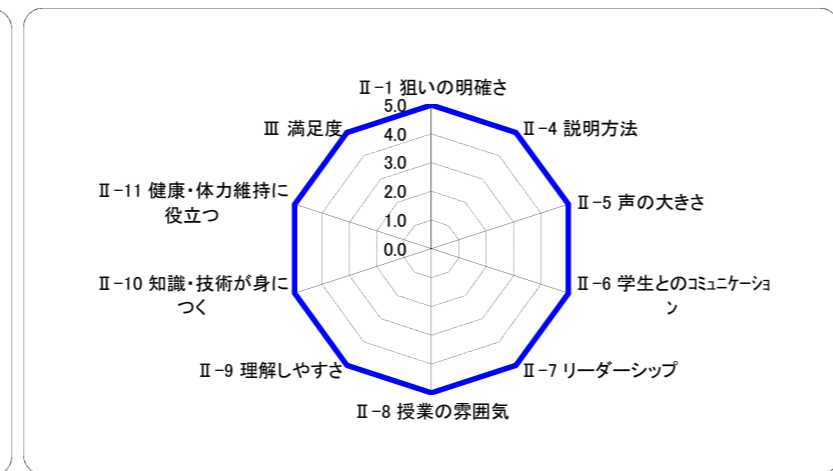
3. 授業の内容や進め方
1) 難易度・進捗(回答の分布)



2) 内容・進め方(平均値)



3) 授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



1. 自由意見欄での主な要望・指摘

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

3. 改善に向けた今後の取組方針

※字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入してください。

平成27年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（工学部・実験・実習科目用）

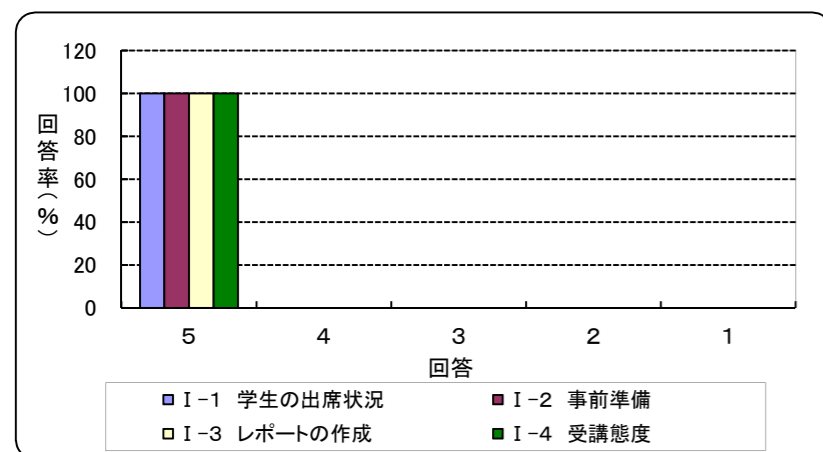
整理番号	1-D-***				科目名	*****														科目コード	****	
実施年月日	****/**/**	教室コード			****	キャンパス	***	曜日	*	時限	*	期別	*	科目分類				**:*****				
学年	1年	2年	3年	4年	その他	学科	経営	国ビ	会計	法政	経済	英米	中国	スベ	機械	電子	情工	デザ	国際	その他	回答者	履修者
件数	0	20	2	0	3	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	3	25	***

1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

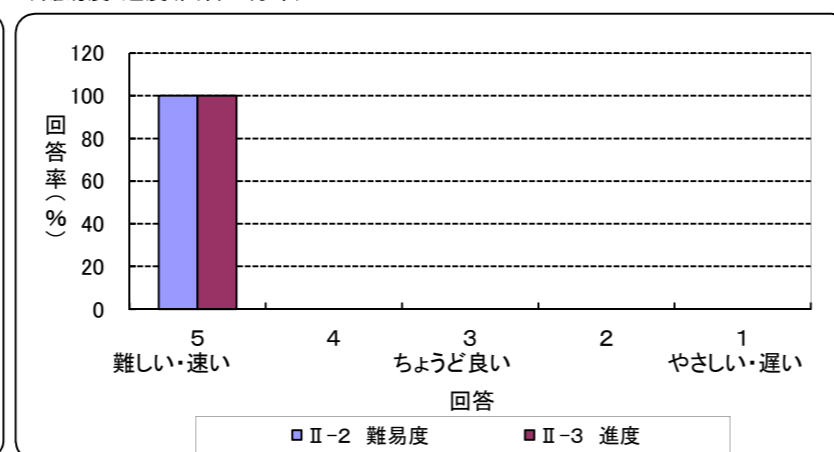
設問項目	有効回答数	エラー件数	5	4	3	2	1	標準偏差	全体平均値	注)参照
I-1 学生の出席状況	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-2 事前準備	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-3 レポートの作成	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
I-4 受講態度	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-1 狙いの明確さ	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-2 難易度	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-3 進度	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-4 説明方法	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-5 声の大きさ	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-6 教材等の効果	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-7 教材の適切性	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-8 教室内の雰囲気	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-9 理解しやすさ	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-10 知識・技術が身につく	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
II-11 見方・考え方が深まる	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0
III 満足度	25	0	25	0	0	0	0	0.0	5.0	5.0

注)平均値:授業の出席率が90%以上の学生による回答
 【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全く思わない

2. 受講する姿勢等について(回答の分布)



3. 授業の内容や進め方
1) 難易度・進度(回答の分布)



2) 内容・進め方(平均値)



3) 授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



所属	***	身分	***	フリガナ	*** **
所属コード	***	身分コード	**	担当教員名 教員コード	*** **

科目別集計に対する担当教員の所見

1. 自由意見欄での主な要望・指摘

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

3. 改善に向けた今後の取組方針

※字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入してください。

平成27年度
授業改善のための学生アンケート報告書
－全体集計－
第I部

平成28年3月発行

編集・発行 拓殖大学 FD委員会

〒112-8585 東京都文京区小日向3丁目4番14号

電話 03-3947-7299 (学務部 学長事務室)